

どんなとき
どう使う
**日本語
表現文型
200**

初・中級

200 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

どんなとき
どう使う
日本語
表現文型
200

初・中級

200 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

どんなとき
どう使う
日本語
表現文型
200

初・中級

200 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

はじめに

アルク社から初級文型の教材作成のご依頼をいただいたのは1997年のことでした。初めは、初級の教材は優れたものがすでに数多く出版されており、わざわざ加えるものはないように思われました。しかし、現状をもう少し細かく見ると、日本国内では多くの場合、授業が日本語による直接法で行われているため、学習者のわかる言葉での文法説明が十分とは言えない状況があるように思えます。特に、文法の構造・形式の全く異なる言語を母語として持っている学習者からは、わかる言葉での文法解説がほしいという要望が寄せられているのも事実です。そこで、何かお役に立つようなものが作れないかということになりました。

さて、本書は、1996年に出版した『どんな時どう使う日本語表現文型500 中・上級』の姉妹編で、初級文法・初級文型の整理を目標としています。

本書の作成にあたって、方針としたことは以下のような点です。

1. 本書は、学習者に対して初級文法・初級文型の整理をするためのお手伝いをするを目的とする。そのために最後に「まとめ」の項目を設ける。
2. 説明の部分に英語と中国語の翻訳をつける。また、なるべく絵や図をつけ、わかりやすいものにする。説明は誤文を生み出さないようにという方針で書く。
3. 初級の学習者が日本語の「文法的な特質」について理解することを助けるために、「コラム」欄を作る。
4. 初級文型であっても、初級でも中級でも素通りされてしまうことのある、発展的な使い方を「*」マークをつけて盛り込む。

例文の言葉は初級の範囲のものだけとしましたので、すでに初級の半ば・150時間ぐらいまでを学習した方々から初級を終了して中級に入ろうという方々まで使っていただけるかと思っています。

今回も、塩崎宏編集長には大変お世話になり、ありがとうございました。高橋秀明副編集長には多くの貴重なアドバイスをいただき、ありがとうございました。また、編集員の工藤弓さんは編集に終始熱心に取り組んでくださいました。工藤さんの卓越した能力と忍耐なくしてはこの本の完成はなかったと思っています。ほんとうにありがとうございました。

本の内容についてはまだまだ至らない点、使いにくい点もあるかと思っています。お使いになった方々からお気付きの点、ご批判などをお寄せいただければ幸いです。

2000年1月 友松悦子・宮本淳・和栗雅子

目次 CONTENTS

はじめに…… 3

このテキストを使って学習する方々へ…… 6

For everyone who uses this text…… 8

致读者……11

1. 時間関係 食べる前に、手をあらいます／今、帰るところです……13

Time Relationships／时间关联

2. 比較・対比 大阪は東京より古いです／漢字はむずかしいですが、ひらがなはやさしいです……24

Comparisons; Contrasts／比较・对比

3. I 並列 飲んだり食べたりします……32

Enumerations／并列

II 経験 北海道へ行ったことがあります……36

Experiences／经验

4. I 原因・理由 大雪のために電車がおくれました／時間がないから、急ぎましょう……39

Causes; Reasons／原因・理由

II 逆接 日曜日ののに、会社へ行きます……45

Contrary Results／逆接

5. I 希望 ワインを飲みたいです……49

Expectations／希望

II 目的 くつを買いに行きます……55

Objectives／目的

6. 可能・難易 テニスができますか／このボールペンは書きにくいです……60

Potentials; Degrees of Difficulty／可能・難易

7. 依頼・命令 ドアを閉めてください／止まれ！……69

Requests; Orders／请求・命令

8. I 勧誘・申し出 お茶を飲みましょう／てつだいましょうか……77

Invitations; Offers／劝诱・提出

II 提案 薬を飲んだほうがいいですよ……82

Proposals／提案

9. 許可・禁止・義務・不必要 入ってもいいです／入ってはいけません／行かなければなりません／行かなくてもいいです……87

Permission; Prohibition; Obligations; Lack of Necessity／許可・禁止・义务・不必要

10. 変化 寒くなりました……95

Changes／变化

11. I 伝聞・引用 雨が降るそうです／「おはよう」と言いました……101

Hearsay; Quotes／传闻・引用

II 説明 どうしたんですか……106

Explanations／说明

12. I 意志 山にのぼろうと思います……110

Volition／意志

.....
II 決定 パソコンを買うことにしました……116

Determination/決定

13. I 意図的行動 くつをはいてみました……121

Intentional Actions/有意识的行动

II 開始・終了 日記を書きはじめました/コピーは全部とりおわりました……125

Beginnings; Endings/开始・終了

14. I 様子・状態 このケーキはおいしそうです/花が咲いています……129

Appearances; Situations/样态・状态

II 比況・例示 手が氷のように冷たいです/京都のような古い町に住みたいです……138

Likeness; Illustrations/比況・例示

15. 推量 パーティーがあるらしいです……143

Conjectures/推量

16. 条件 天気がよければ、行きます……154

Conditionals/条件

17. 授受 友だちにタイ語を教えてもらいました……166

Giving and Receiving/授受

18. 使役 子どもにへやをそうじさせます……177

Causatives/使役

19. 受け身・使役受け身 母にしかられました/課長におそくまで仕事をさせられました……184

Passive; Causative Passive/被动・使役被动

20. 敬意 先生がいっぱいしました/お荷物をお持ちしましょう……193

Honorifics/敬意

まとめ Important Grammatical Points/小结

1 こ・そ・あ……206

2 「は」と「が」……210

3 Vて・Vないで・Vずに・Vなくて……217

4 Vている……220

5 Vていく・Vてくる……225

コラム Column/专栏

1 継続動詞か、瞬間動詞か Verbs of Continuation? Verbs of Momentariness?/持续动词・瞬间动词……22

2 名詞を説明するときは——名詞修飾 When Explaining Nouns...Nominal Modifiers/说明名词时——名詞修飾……67

3 主語が三人称の文には気をつけよう Watch Out for Sentences in Which Subjects Are in the Third Person/注意主语是第三人称的句子……75

4 する動詞の名詞化 Nominalization of する Verbs/する动词的名词化……93

5 意志か、無意志か Volition? Non-Volition?/意志・非意志……99

6 他動詞・自動詞 Transitive Verbs; Intransitive Verbs/他动词・自动词……142

7 助詞「は」「が」「を」が消える! The Particles は, が and を Disappear!/助词「は」「が」「を」的消失……152

8 文末に気をつけよう Watch Out for Sentence Endings/注意句尾变化……204

索引 INDEX……230 練習問題の解答 ANSWERS……235 参考文献 REFERENCES……237

このテキストを使って学習する方々へ

本書は、日本語の初級の学習が半分（150時間ぐらい）ぐらいまで進んだ段階から、初級がひととおり終わって、これから中級に進もうという段階までの学習者のために作られました。

<目的>

本書の目的は大きく分けて次の3つです。

1. 初級の文法項目と機能別の表現形式（文型）を整理し、学習者が基本的な表現形式を身につけられるようにしました。
2. 学習者が文法学習の後半でつまづきことがないように、特に初級の中ほどから後半にかけての文法項目や文型に重点を置きました。ごく初歩的な文型や、動詞や形容詞の基本的な活用形の作り方などは省いてありますから、自分でしっかり復習してください。
3. 初級の項目であるがより高度な使い方や、初級から中級に進む段階の文法項目で一般の中級教科書ではあまり取り上げていない項目（*をつけた例文や項目）を意識的に取り上げて、中級の学習がよりスムーズに始められるようにしました。

<構成と使い方>

1. 本書は本課20課と「まとめ」の5課からなっています。本課は意味機能別および文法項目別に20課に分けました。「まとめ」では、意味や使い方がたくさんある文法項目や文型を整理してまとめました。
2. 各課の始めには「うでだめし」のページがあります。 はいろいろな文型をどのくらい知っているかをチェックするものです。いちばんいい言葉を選んで _____ の上に記号を書いてください。1つの言葉は1回しか使いません。次に に進んでください。これは正しい使い方ができるかどうか、間違った覚え方をしていないかを問うものです。使い方の適切な文のほうに○をつけてください。
3. 本文の始めにはその課で学習する項目のリストがあります。項目番号の上に*があるものは、上の<目的>3.で述べたようにより高度な項目です。時間に余裕がない人や、今、学習する必要がないと思う人は、後回しにしてください。また、形が同じでも意味がいろいろある項目には、短い例文がつけてあります。

項目の記号や文法用語の見方		例
N	名詞	りんごはみかんより
Vる	動詞の辞書形	行くつもりです
Vない	動詞のない形	見ないでください
Vた	動詞のた形	会ったことがあります
V(ます)	動詞の(ます)形	歌いながら
Vて	動詞のて形	あらってから
Vよう	動詞の意志形	帰ろうと思います
V(さ)せます	使役の動詞	読ませます
V(ら)れます	受け身の動詞	呼ばれます
イA	イ形容詞	寒くなります
ナA	ナ形容詞	元氣になります
～	文型につくいろいろな品詞や普通形	～から(理由)／～そうです(伝聞)、 など
…	引用部分など	…と(言います)、など
動詞Ⅰ	5段動詞	行く、取る、会う、など
動詞Ⅱ	1段動詞	着る、寝る、食べる、など
動詞Ⅲ	不規則動詞	する、来る
する動詞		食事する、散歩する、など
する動詞のN		食事、散歩、そうじ、など
丁寧形		行きます、行きません、行きました、 行きませんでした、など
普通形		さむい、さむくない、さむかった、 さむくなかった、など

4. 項目を勉強するときは、まず [] に示した大体の意味をつかんでから、例文を読んでください。例文の下に「ポイント」には、その項目の文法的な性質、わかりにくいところや特に注意する必要があるところについて説明してあります。*がついた例文や「ポイント」の番号も、3.で述べた*と同じ意味です。
5. ㊦ のついた例文は、縮約形を含む例文や特に口語的な言い方であることを示します。
6. 英語訳や中国語訳の中に◆があるときは、日本語の同じ番号の中にある◆を参照してください。

7. では、文型の前にくる言葉をどんな形にして続けなければよいかを示しました。ただし、初級で勉強する形に限ってあります。
8. 本文中の適当なところに8つのコラムがあります。コラムには、いろいろな文型に共通にかかわる大切な情報が詰まっています。その内容は、文法や文型の正しい理解や適切な使い方を知るには欠かせないものです。例文や**ポイント**に「→コラム」があるときは、必ず参照してください。
9. 各課の終わりに練習があります。学習して理解したことをチェックしてください。巻末に解答例があります。
10. 「まとめ」では、初級の大切な文法項目や文型を整理して解説しています。
11. 見たい項目が何課にあるか知りたいときは、50音順索引を引いてください。複数の使い方があるものや項目だけではわかりにくいものには、短い例文がついています。
12. いろいろな記号やマークは、表紙の裏にまとめてあります。活用してください。
-

For everyone who uses this text:

This text is designed for students of the language ranging from those who have completed half of the elementary level of Japanese (about 150 hours) to those who have completed the elementary stage and are ready to advance to the intermediate level.

[Objectives]

This text has the following three main objectives:

1. We have organized elementary level grammatical items and forms of expression (patterns) by function to enable students to master those basic forms of expression.
2. In order to prevent students from stumbling over the latter half of their study of grammar, we have put special emphasis on grammatical items and patterns that would be encountered midway to the latter half of the elementary level of Japanese language study. We have omitted the simplest patterns and basic methods of conjugating verbs and adjectives, etc. Please review these areas on your own.
3. We have intentionally included fairly advanced usage of some basic items and elementary to intermediate level grammatical items (these usage and items are marked with an asterisk) that are not normally treated in general intermediate textbooks. This is to ensure your smooth transition to the intermediate level.

[Structure and Use of this Text]

1. The text is comprised of twenty main chapters and five chapters on Important Grammatical Points. The main chapters are divided into twenty chapters categorized by the functions of meaning and grammatical items. In the chapters on Important Grammatical Points, we have included grammatical items and patterns that have many meanings or usages.
2. At the beginning of each lesson there is a "challenge page." The parts marked  are to check how well you know the various patterns. Choose the best word and write it on the line. You can only use a word once. Next move on to the . This section allows you to find out whether or not you know proper usage or if you are using patterns incorrectly. Mark the appropriate sentence with a circle.
3. There is a list at the beginning of each text that shows what items will be studied in that lesson. Items that have asterisks above the item number are at an advanced level, as explained in "Objectives 3." above. People who do not have much time or think they do not need to study the items now should leave these points for later. Further, we have provided short examples for items that have the same form but a variety of meanings.

Symbols for Items and How to Decipher Grammatical Nomenclature		Examples
N	noun	りんごはみかんより
Vる	dictionary form of verb	行くつもりです
Vない	negative form of verb	見ないでください
Vた	"た" form of verb	会ったことがあります
V(ます)	"ます" form of verb	歌いながら
Vて	"て" form of verb	あらってから
Vよう	volitional form of verb	帰ろうと思います
V(さ)せます	causative verb	読ませます
V(ら)れます	passive verb	呼ばれます
イA	イ-adjective	寒くなります
ナA	ナ-adjective	元気になります
～	various parts of speech and plain forms that append to sentence patterns	～から (reason) / ～そうです (hearsay) , etc.
…	quotations, etc.	…と (言います) , etc.
動詞Ⅰ	GroupⅠ -verbs (-u verbs)	行く, 取る, 会う, etc.
動詞Ⅱ	GroupⅡ -verbs (-ru verbs)	着る, 寝る, 食べる, etc.
動詞Ⅲ	GroupⅢ -verbs (irregular verbs)	する, 来る
する動詞	"する" verbs	食事する, 散歩する, etc.
する動詞のN	nominal of "する" verbs	食事, 散歩, そうじ etc.
丁寧形 ていねいけい	polite form	行きます, 行きません, 行きました, 行きませんでした, etc.
普通形 ふつうけい	plain form	さむい, さむくない, さむかった, さむくなかった, etc.

4. When you study the items, read the examples after you have grasped fairly well the meaning indicated in brackets. In the **ポイント** section below the examples, the grammatical nature of the items, sections difficult to understand or that need particular attention are explained. Examples and **ポイント** numbers marked with asterisks have the same meaning as the asterisk explained in 3. above.
 5. Examples marked with a @ indicate that abbreviated forms are included or that the examples are especially colloquial.
 6. When a ◆ is included within the English or Chinese translations, please refer to the ◆ with the same number in the Japanese.
 7. At the **〇〇** mark, we have indicated what form of the word preceding the pattern should be used as a connective. This is true only for forms studied at the elementary level.
 8. There are eight "columns" at appropriate locations within the text. The columns are filled with important information common to various sentence patterns. The information contained therein is indispensable for correct understanding of grammar and sentence patterns and for knowing appropriate usage. When you see a reference to a column at an example or at a **ポイント**, make sure to refer to it.
 9. There are drills at the end of each chapter. Please check off the points you have studied and understood. There are answer examples at the back of this volume.
 10. In the Important Grammatical Points section, we have organized and explained important elementary level grammatical items and sentence patterns.
 11. When you want to know in which chapter to find the item you wish, please check the index, which is arranged in the order of the Japanese syllabary. We have included short examples for items with complex usage and ones that are difficult to understand only by referring to the grammatical items.
 12. The various symbols and marks are listed at the back of the cover. Please make good use of them.
-

致读者

本书面向学完日语初级课程的一半或者学完日语初级课程，将要进入日语中级课程学习的读者编辑而成。

〈目的〉

编辑本书的目的主要有以下三点。

1. 将初级语法条目和表达法(句型)分类整理，帮助读者掌握基本用法。
2. 为了不使读者在以后学习语法时遇到麻烦，我们将语法和句型的重点放在初级的后半部分，省略了入门的句型以及动词、形容词的基本活用形式等，请读者自己复习。
3. 本书列举的虽然是初级语法条目，但均为难度较大的部分，并且有意识地列举了一般中级教材不加解释的由初级进入中级阶段的语法条目(标有*的例句和条目)，使读者能够顺利地开始中级语法的学习。

〈结构和用法〉

1. 本书由20课讲义和5课「小结」组成。讲义根据意思用法和语法条目分为20课。「小结」部分综合整理了意义和用法较多的语法条目和句型。
2. 每课开始的部分加入了「考一考」栏目。检查对各种句型的了解情况。选择最合适的词语填在_____上。一个词语只能使用一次。之后进入部分。这一部分检查读者是否掌握了语法、句型的正确用法。给用法正确的句子划○。
3. 每课讲义开始之前列有该课学习的项目。序码前标有*的项目是上边〈目的〉3.中提到的难度较大的部分。这一部分可以放到以后学习。形式相同而有许多不同意义和用法的条目都附列了简短的例句。

条目的记号和语法用语的凡例		例
N	名词	りんごはみかんより
Vる	动词的辞典形	行くつもりです
Vない	动词的否定形	見ないでください
Vた	动词的た形	会ったことがあります
V（ます）	动词的（ます）形	歌いながら
Vて	动词的て形	あらってから
Vよう	动词的意志形	帰ろうと思います
V（さ）せます	使役动词	読ませます
V（ら）れます	被动动词	呼ばれます
イA	イ形容词	寒くなります
ナA	ナ形容词	元気になります
～	接句型的各种词类和普通形	～から（理由）／～そうです（传闻）、等
…	引用部分等	…と（言います）、等
動詞Ⅰ	五段动词	行く、取る、会う、等
動詞Ⅱ	一段动词	着る、寝る、食べる、等
動詞Ⅲ	不规则动词	する、来る
する動詞	サ变动词	食事する、散歩する、等
する動詞のN	サ变动词的词干	食事、散歩、そうじ、等
丁寧形	礼貌形	行きます、行きません、行きました、行きませんでした、等
普通形	普通形	さむい、さむくない、さむかった、さむくなかった、等

- 使用本书学习时，先抓住〔 〕中的大体意思，然后阅读例句。例句下面的（ポイント）就该条语法的性质、难懂的地方和需要特别注意的要点加以说明。标有*的例句和（ポイント）与上面3.中提到的*意思相同。
- 标有㊦的例句表示含有缩略形的例句和口语表达方式。
- 英语译文和汉语译文中标有◆时，请参照日语相同编号中的◆。
- ∞表示句型前接词语的活用形式。但只限于初级语法的形式。
- 在讲义部分中适当加入了8个专栏。专栏中刊登有关各种句型的重要信息，是正确理解、适当使用语法句型不可缺少的知识。例句、（ポイント）中有「→专栏」的标识时，请阅读参考。
- 每课后附练习，用于检查学习理解效果。书后附有答案，供参考使用。
- 「小结」中，对初级语法的重要语法项目和句型进行了整理和解释。
- 查找想要学习的条目在第几课时，可以使用50音顺序索引。对于较难掌握的有多种用法的句型、语法条目，附加了简短的例句。
- 封二整理了各种记号、符号，请参考使用。



知っていますか

a とき b ばかり c ところ d 前に e ながら

1. わたしはテレビを見_____ご飯を食べます。
2. わたしは10歳の_____、はじめて飛行機にのりました。
3. わたしは社会人になった_____だから、まだわからないことが多いです。
4. わたしは小学校に入る_____、3回引っ越しをしました。
5. この番組はもう終わる_____です。終わったら、お風呂に入ります。



使えますか

1. 何かおいしい料理を { a 作って
b 作ってから } 食べよう。
2. ご飯を { a 食べるとき
b 食べたとき } 「ごちそうさま」と言います。
3. あの人は、いすに { a すわって
b すわりながら } 本を読んでいます。
4. 今、野球の試合が { a 終わっているところです。
b 終わったところです。 } 人がおおぜい出てきました。
5. わたしが旅行している間、 { a 子犬が生まれました。
b うちの犬はずっととなりのうちにいました。

答えはつぎのページにあります。

時間関係

[Time Relationships / 时间关联]



1. ～とき

2. Vながら

3. ～^{まえ}前に

4. ～^{あと}後で・～^{あと}後

5. Vてから

(1) 手をあらってから、食べます。

(2) 日本に来てから、3年たちました。



6. Vるところです・Vているところです・

Vたところです

7. Vたばかりです

8. ～^{あいだ}間・～^{あいだ}間に

🌸 1. ～とき [When... / ...时, ...的时候]

① 母は本を読むとき、めがねをかけます。

② わたしが結婚したとき、祖母は泣きました。

③ うれしいときもさびしいときも、わたしはよくこの音楽を聞きます。

④ 地震のときは、すぐに火を消しなさい。

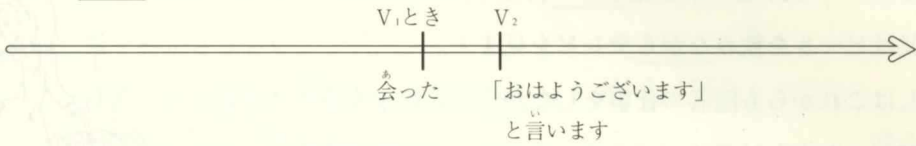
ポイント

1. 「～とき」の前にくる動詞 (V₁) が「Vる」になるか、「Vた」になるかは、主文の時制 (V₂) に関係ない。「～とき」の前の動作・作用 (V₁) が完了後に主文の動作・作用 (V₂) が行われる場合は、「Vたとき」を使う。完了前または同時に主文の動作・作用 (V₂) が行われる場合は、主文が過去の文でも「Vるとき」を使う。

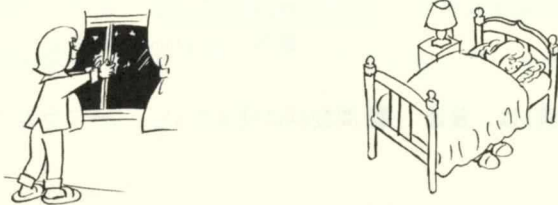
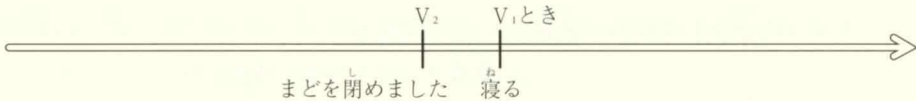
- ◆ {
- ・朝、人にあったとき、おはようございます」といいます。
V₁
V₂
 - ・きのう、ねるとき、まどをしめました。
V₁
V₂



◆
V₁た とき、V₂ たる



V₁る とき、V₂ たる



2. → まとめ 2 「『は』と『が』」 ㊦ 9 (p215)

1. Whether the verb that comes before とき (V₁) becomes V-る or V-た is unrelated to the tense of the main clause. In cases where the motion or action (V₁) that precedes とき is already complete and there is a second action (V₂), use the form V-たとき. In cases where the motion or action (V₁) is either incomplete or simultaneous with a second action (V₂) in the main clause, use the form V-るとき even when the clause itself is in the past tense. → ◆

2. → Important Grammatical Points 2: (は and が), ㊦ 9, p.215

1. 「～とき」前边的动词(V₁)以「Vる」的形式或者「Vた」的形式出现,与主句的时态无关。「～とき」之前的动作、作用(V₁)完成后进行主句的动作、作用(V₂)时,使用「～Vたとき」。「～とき」之前的事项尚未完成或与主句的动作、作用(V₂)同时进行时,主句即使是过去时态也使用「～Vるとき」。

→ ◆

2. → 小结 2 「“は”和“が”」 ㊦ 9 (p215)



普通形
plain form

+とき

例外 ナA~~だ~~→ナAな/N~~だ~~→Nの +とき

✎ 2. Vながら [While doing (verb) / 一边...一边...]

- ① わたしはいつも料理の本を見ながら料理を作ります。
- ② 毎晩父はビールを飲みながらテレビを見ます。
- ③ わたしはこれからも医者^{いしや}の仕事^{しごと}をしながら、この子^こを育てます。
- ④ 学生時代^{がくせいじだい}、わたしはアルバイトをしながら、日本語学校に通っていた。



ポイント

1. 1人の人が2つの動作^{どうさ}を同時^{どうじ}に行^{おこな}うことを表す。③④のように、長い時間^{ながいじかん}のことにも使える。

2. 「Vながら」の後ろに、話の重点^{じゅうてん}がある。

- ◆ { ×日本語^{にほんご}の勉強^{べんきょう}をしながら、発音^{はつおん}のテープを聞いた。
重点^{じゅうてん}? [Emphasis? / 重点?]
- 発音^{はつおん}のテープを聞きながら、日本語^{にほんご}の勉強^{べんきょう}をした。
重点 [Emphasis / 重点]

3. 「Vながら」のV(動詞^{どうし})は、普通^{ふつう}、瞬間動詞^{しゅんかんどうし}は使えない。 →コラム1「継続動詞^{けいぞくどうし}か、瞬間動詞^{しゅんかんどうし}か」(p22)

- ◆ { ×電車^{でんしゃ}に乗りながら本^{ほん}を読みました。
- 電車^{でんしゃ}の中で本^{ほん}を読みました。

1. This expression is used to indicate that one person is performing two actions simultaneously. It can also be used for long periods of time, as in numbers ③ and ④.
2. Emphasis is placed on what is said after the V-ながら pattern. →◆
3. Verbs in the construction V-ながら cannot usually use "momentary verbs." →◆
→ Column 1, Verbs of Continuation?
Verbs of Momentariness? p.22

1. 表示一个人同时进行两个动作。象例句③④等表示长时间行为的句中也可使用。
2. 「Vながら」句型,重点放在后边的句子里。
→◆
3. 「Vながら」的V(动词),一般情况下不能使用瞬间动词。 →◆ →专栏1「持续动词・瞬间动词」(p22)

〇〇 V~~ま~~ + ながら

3. ～前に [Before.../...之前]

- ① 食事の前に手をあらいましょう。
- ② 寝る前に歯をみがきなさい。
- ③ わたしは日本へ来る前に、少し日本語を勉強しました。
- ④ きのお会社に行く前に、歯医者に行った。

🔗 Vる/Nの +前に

4. ～後で・～後 [After.../...之后・...以后]

- ① 食事の後で、少し散歩しませんか。
- ② この薬はご飯を食べる前に飲みますか、食べた後で飲みますか。
- ③ このビデオ、あなたが見た後で、わたしにも貸してください。
- ④ まつりの後、ごみがいっぱいだった。
- ⑤ 祖父はみんなとお茶を飲んだ後、ずっとへやで本を読んでいます。

ポイント

1. 3.「～前に」、4.「～後(で)」の言い方は2つの動作のどちらを先に、どちらを後に行うかを表す。
2. ④⑤のように、後に、継続している行為や状態を表す文がくる場合は「後で」は使わない。

◆ { ×退院した後で、ずっと元気です。
○退院した後、ずっと元気です。

1. The constructions 3. (～前に) and 4. (～後で, ～後) indicate which two actions occur before or after them.

2. In cases such as numbers ④ and ⑤, when a clause indicating a continuing action or state follows afterwards, 後で is not used.

→◆

1. 3.「～前に」、4.「～後で、～後」表示两个动作的先后。

2. 象例句④⑤这样的句子,后续表示持续行为或者状态的表达方式时,不使用「後で」。

→◆

🔗 Vた/Nの +後

㊦ 5. Vてから(1) [After doing (verb)(1) / …后(1)]

- ① この仕事をぜんぶやってからビールを飲みます。
- ② 新しい家を買うときは、よく調べてから買いましょう。
- ③ 先にお金を払ってから、3番の窓口に行ってください。
- ④ バスが止まってから席を立ってください。

ポイント

1. 「～後で」と同じように使うが、「Vてから」の前のことを先に、または必ずする、ということ**を強調する言い方**。
2. 「Vてから」の後ろには動作を表す動詞がくる。
 ◆ { ×みんなが帰ってから、ごみがいっぱいだった。
 ○みんなが帰ってから、そうじをしよう。
3. 前後関係がはっきり決まっていることについては使わない。
 ◆ { ×ドアを開けてから、外に出た。
 ○ドアを開けて、外に出た。
4. 1つの文の中で「Vてから」を2度以上使うことはできない。

1. This is used the same way as ～後で, but is an expression that emphasizes the agent will do the action that precedes V-てから first, or will definitely do the action.
2. Verbs that express action come after the V-てから construction. →◆
3. This pattern is not used when time contexts are clearly defined. →◆
4. The V-てから form cannot be used over twice in one sentence.

1. 和「～後で」用法相同。「Vてから」更强调前边的行为在先或者一定进行。
2. 「Vてから」后续表示动作的动词。→◆
3. 不用在先后关系明确确定的句子中。→◆
4. 在一个句子中不能多次重复使用「Vてから」。

㊦ 5. Vてから(2) [After doing (verb) (2) / …后(2)]

- ① わたしが日本に来てから、もう3年たちました。
- ② 林さんがこの会社に入ってきてから、会社の中が明るくなりました。
- ③ たばこをやめてから、体重が急に増えた。
- ④ 赤ちゃんが生まれてから、わたしは毎日とてもいそがしいです。

ポイント

ある^{へんか}変化や、^{けいぞくてき}継続的なことの^{きてん}起点を表す。

This construction indicates the starting point of a certain change or continuing state. 表示某个变化或者持续行为的起点。



6. Vるところです・Vているところです・Vたところです

[About to do (verb); just doing (verb); have just done (verb) / 正要…・正在…]

- ① A: もうレポートのコピーをしましたか。
B: いいえ、これからするところです。
- ② ^{かいじょう}会場に着いたのは3時だった。ちょうど会議が始まるところだった。^ま間に合ってよかった。
- ③ ^{おんがくかい}音楽会は6時に^{はじ}始まります。今、^{かいじょう}会場の用意をしているところです。
- ④ A: マリアさん、お茶を飲みますか。
B: 今、手紙を^{てがみ}書いているところなので、後で飲みます。
- ⑤ A: このニュース、もう^{やまだ}山田さんに知らせましたか。
B: ええ、今ファックスを^{おく}送ったところです。
- ⑥ A: もしもし、^{なつこ}夏子さんですか。わたし、ゆりこ。
B: あ、ちょうどよかった。わたし、今、^{かえ}帰ってきたところなの。

ポイント

1. ある^{どうさ}動作、作用の流れの中で、^{なご}行為や^{こうい}変化のどの^{へんか}時点であるかを^{とく}特に言いたいときに使う。①
②は^{ちよくぜん}直前の時点、③④は^{しんこうちゆう}進行中、⑤⑥は^{ちよくご}直後の時点であることを^{しめ}示す。
2. 「Vるところです」は、そうするだろう、そうなるだろうと^{よそう}予想する場合には^{つか}使わない。^い意図のある^{こうい}行為やはっきりそうなるとわかっている^{へんか}変化を表す場合に^{つか}使う。

- ◆ {
- ×あの^{ふたり}2人は今けんかをするところです。
 - ×シャツのボタンがとれるところです。
 - ×今、雨が^ふ降るところです。
 - (時報の前に) ^{じこう}時刻はまもなく4時になるところです。

3. 「Vているところです」は、状態性のこと、意図のない行為などには使わない。

- ◆ { × 今日本に住んでいるところです。
× 彼は今せきをしているところです。

㊦ (車の中で) A: ホテル、どのへんかなあ。

B: ちょっと待って。今地図で調べてるところだから。

1. These expressions are used when one wants specifically to indicate a certain point in time of an act or change within the context of an action or motion. Numbers ① and ② indicate action shortly before the point in time, ③ and ④ are used during the process, and ⑤ and ⑥ are used after the point in time.

2. The construct V-るところです is not used in cases when one supposes something or someone will do something. It is used for intentional acts or when one knows definitely that a change will occur. →◆

3. The form V-ているところは not used for conditionality or unintentional acts. →◆

1. 强调在某个动作、作用的过程中,行为、变化发生的时间点时使用。例句①②表示即将开始的时间点;例句③④表示正在进之中;例句⑤⑥表示刚刚结束的时间点。

2. 「Vるところです」不能用于要做什么、会成为什么样子等表示预测的句中。可以用于表达有意识的行为或者明确事物变化趋向的句中。→◆

3. 「Vているところは」不用于表示状态性的事物、没有意识的行为的句子里。→◆

7. Vたばかりです [Just did (verb)/刚…]

① A: もしもし、夏子さん、わたしが送った写真、もう見ましたか。

B: あ、ごめんなさい。今、うちに帰ってきたばかりなので、まだ見ていないんです。

② 入社したばかりなのに、毎日とてもいそがしいです。

③ 日本に来たばかりのころは、日本語がぜんぜんわかりませんでした。

④ うちには生まれただばかりの子犬が3匹います。

ポイント

1. 「Vたところです」は、6. 「Vたところです」の⑤⑥のように直後の時点であるということだけを示すが、「Vたばかりです」は、動作が終わってからの時間が短いことを特に言いたいときに使う。①②のように「Vたばかりなので、……。」「Vたばかりなのに、……。」という形で、そのことによって引き出される状況を言いたいときによく使う。

2. 「Vたところです」より、時間の幅がある。

- ◆ { ×わたしはきょねん日本に来たところです。
○わたしはきょねん日本に来たばかりなので、まだ敬語がじょうずに使えません。

1. The pattern V-たところ indicates only the point in time immediately following the action, as in numbers ⑤ and ⑥ of 6. (V-たところ). The expression V-たばかりです is used when one wants particularly to say that the period of time since the action has been short. It is often used when one wants to express conditions that are deduced from the brevity of the period of time in such constructions as "V-たばかりなので、……." and "V-たばかりなのに、…….", as in numbers ① and ②.

2. Here time is defined in a broader sense than in V-たところ. →◆

1. 「Vたところ」象 6. 「Vたところ」的例句⑤⑥一样, 只表示刚刚结束的时间点, 「Vたばかりです」更强调动作结束之后时间的短暂。例句①②中的「Vたばかりなので、……」、「Vたばかりなのに、……」等形式多在表示由此造成的结果时使用。

2. 与「Vたところ」相比, 时间上有余地。

→◆

8. ～間・～間に [During…; while…/…时・…的时候]

- ① わたしは夏の間、ずっと北海道にいました。
② 両親が旅行をしている間、ぼくが毎日食事を作りました。
③ 兄がゲームをしている間、弟はそばで見えています。
④ 夏休みの間に引っ越ししたいです。
⑤ わたしがいない間にだれか来たのでしょうか。門が少し開いています。

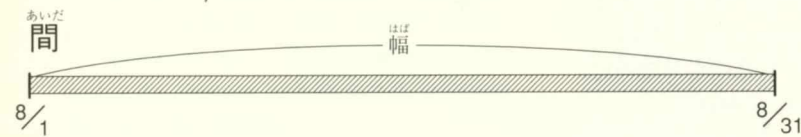
ポイント

「～間」は、始めと終わりがある一定時間の幅を表す。「～間」の後ろには、継続する動作や状態を表す言葉がくる。「～間に」は「その時間幅が終わる前に」という意味だから、後ろには瞬間性の表現がくる。→コラム1「継続動詞か、瞬間動詞か」(p22)

あいだ
～間 indicates the breadth of a defined amount of time that has a beginning and an end. After ～間 comes a word that expresses a continuing action or condition. Since the expression ～間に means "before that breadth of time is over," it is followed by an expression of momentariness.

→ Column 1, Verbs of Continuation? Verbs of Momentariness?, p.22

「～間」表示开始和结束的一定时间范围。「～間」后续表示持续动作或者状态的词语。「～間に」表示「某时间范围结束之前」的意思,所以后续瞬间性词语。→专栏 1 「持续动词・瞬间动词」(p22)



なつやす ほっかいどう
夏休みの間、北海道にいました。(8/1から8/31までずっと)

[(From August 1 straight through August 31) / (从8月1日到8月31日一直)]



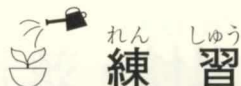
夏休みの間に引っ越したいです。(8/1から8/31のある日)

[(Some time during the interval between August 1 and August 31) / (8月1日到8月31日之间的某一天)]

コラム 1

けいぞくどう し しゆんかん
継続動詞か、瞬間動詞か [Verbs of Continuation? Verbs of Momentariness? / 持续动词・瞬间动词]

けいぞくどう し 継続動詞 [Verbs of Continuation] ／持续动词	ある時間続く動作・作用を表す動詞。 These verbs indicate actions or effects which continue over time. / 表示动作、作用在一段时间里持续进行的动词。	例 あらう、歌う、使う、待つ、作る、読む、書く、働く、泳ぐ、走る、歩く、飛ぶ、眠る、降る、着る
しゆんかん どう し 瞬間動詞 [Verbs of Momentariness] ／瞬间动词	瞬間に終わってしまう動作・作用を表す動詞。 These are verbs that indicate actions or effects that end in a moment. / 表示动作、作用在一刹那之间结束的动词。	例 結婚する、開く、始まる、咲く、入る、晴れる、起きる、落ちる、止まる、消える、乗る、乾く、立つ、取れる、壊れる、割れる、着る



問題Ⅰ の中から適当なことばを選んで書きなさい。1つのことばは1回しか使いません。

あいだ 間 あと 後で から ところ ながら ばかり まえ 前に

1. 日本にいる①_____、ずっと横浜に住んでいました。
2. マキさんはコーヒーを飲み②_____、新聞を読んでいます。
3. 買った③_____のカメラがもうこわれました。
4. ゆりさんは今、旅行の準備をしている④_____です。
5. 説明をよく聞いて⑤_____、しごとを始めてください。
6. 寝る⑥_____、お風呂に入ります。
7. 食事の⑦_____、ゲームをしました。

問題Ⅱ () の中のことばを適当な形にして書きなさい。

1. わたしは学校へ⑧_____とき、いつもこの道を通ります。(行く)
2. あしたゆうびんきょくへ⑨_____とき、きれいな切手をたくさん買います。(行く)
3. わたしは病気に⑩_____ときは、いつも大木医院に行きます。(なる)
4. 母はいつも歌を⑪_____ながら、そうじをします。(歌う)
5. ご飯を⑫_____前に、「いただきます」と言います。(食べる)
6. あきこは薬を⑬_____後、すぐ元気になりました。(飲む)
7. 手がきたないですね。手を⑭_____から、食べましょう。(あらう)
8. A：もしもし、田中です。今、ちょっといいですか。
B：すみません。今から⑮_____ところなんです。2時ごろもどります。(出かける)
9. A：もしもし、みちこさんはまだうちにいますか。
B：みちこはもういません。たった今、うちを⑯_____ところです。(出る)
10. さっき食事を⑰_____ばかりですが、もうおなかがすきました。(する)
11. わたしがピアノの練習を⑱_____間に、雨が止みました。(する)



知っていますか

a ほど b ほう c より d いちばん e どちら

1. 兄は、いつもわたし ^{はや}早く ^お起きます。
2. 日本では牛肉と豚肉と ^{やす}が安い ^{です}か。
3. 1週間の中で、何曜日が ^{いそが}いそがしい ^{です}か。
4. A: このケーキとあのケーキと、どちらがいい ^{です}か。
B: こちらの ^がいい ^{です}。
5. スーパーの品物は、デパートの品物 ^{たか}高くない ^{です}。



使えますか

1. きょうはきのうほど { a ^{あつ}暑い ^{です}。
b ^{あつ}暑くない ^{です}。
2. このアパートは前のアパートより { a ^{べんり}べんり ^{です}。
b ^{べんり}べんりでは ^{あり}ません。
3. じろう君はだれよりも ^{うた}歌が { a ^{じょうず}じょうず ^{です}。
b ^{いちばん}いちばん ^{じょうず}じょうず ^{です}。
4. 山田さんとヤンさんと { a ^{だれ}だれ ^が } ^{としうえ}年上 ^{です}か。
b ^{どちら}どちら ^が }
5. A: このケーキ、わたしが ^{つく}作り ^{まし}ました。 ^{どうぞ}どうぞ。
B: ありがとう。あ、おいしい、 { a ^{ほんとう}ほんとう ^{におい}しい。
b ^{おい}おい ^しすぎ ^{ます}よ。

ひ かく たい ひ 比較・対比

[Comparisons ; Contrasts / 比較・対比]



1. N_1 は N_2 より
2. N_1 より N_2 のほうが
3. N_1 と N_2 とどちら
4. N_1 は N_2 ほど～ません
5. N_1 の中で N_2 がいちばん
6. ～すぎます
7. N_1 は～が、 N_2 は

1. N_1 は N_2 より [(Noun)₁ is more or less...than (noun)₂ / N_1 比 N_2]

- ① きょうはきのうよりあたたかいです。
- ② このアパートは前のアパートより便利べんりです。
- ③ 水は空気くうきより重おもい。

- ④ 先生：かたかなのことは、漢字かんじのことはよりやさしいですか。

学生1：そうですね。かたかなのことは漢字のことはよりむずかしいです。

学生2：わたしは、かたかなのことも漢字のことも同じぐらいむずかしいと思います。

- ⑤ 父は家族かぞくの中でだれよりも早くはや起きます。
- ⑥ 人間のいのちは何よりなんげんたいせつです。

ポイント

1. 話す人があるものを話題として取り上げ (N_1 は)、その状態を、ほかのものを基準きじゆんにして (N_2 より)、比較して言いたいときの言い方。

2. 比較を表すこの文型は、否定の形では言わないのが普通である。

- ◆ { ×バスは電車より速はやくないです。
×わたしは兄あにより早くはや起きません。

3. ⑤⑥のように、「疑問詞＋より」の形で、最上級さいじょうきゅうを表す。



1. c

2. e

3. d

4. b

5. a



1. b

2. a

3. a

4. b

5. a

1. This construction is used when the speaker takes up a certain topic (N_1 は) and wants to compare the state of that subject based on something else (N_2 より).
2. Normally, this construction, which indicates comparisons, is not used in the negative. →◆
3. When the construct "interrogative + より" is used, as in numbers ⑤ and ⑥, it expresses the superlative degree.

1. 说话人提起某个话题(N_1 は),就其状态以其他的事物(N_2 より)为基准进行比较时使用的说法。
2. 表达比较的句子,一般不使用否定形式。
→◆
3. 使用「疑问词+より」的形式表示最高级(如:例句⑤⑥)。



2. N_1 より N_2 のほうが

[($Noun$)₂ is more or less than ($noun$)₁ / 与 N_1 相比, N_2]

- ① デパートの品物^{しなものの}よりスーパーの品物^{やす}のほうが安い。
- ② わたしは海^{うみ}より山^すのほうが好きです。
- ③ この店は、日曜日^{みせ}より月曜日^{にちようび}や火曜日^{かつ}のほうがお客さん^{きやく}が多い^{おお}です。
- * ④ 1人^{ひとり}で食べるより、みんなといっしょに食べる^{たの}ほうが楽しいです。
- * ⑤ 東京駅^{とうきょう}に行くときは、バスで行くより電車^{でんしゃ}で行くほうが早い^{はや}です。

ポイント

1. 2つのものを^と取り上げて^あ比べ、一方が(N_2 のほうが)^{いっばう}程度^{ていど}が上(下)であると言^いいたいときに使う。否定の形では言^いわないのが普通^{ふつう}である。

◆×りんごよりみかんのほうが大きくない。

- * ④や⑤のように、名詞^{めいし}以外^{いそ}につく形^{かたち}もある。

1. This pattern is used when one compares two things and wants to say that one item (N_2 のほうが) is a greater or lesser degree of some attribute than the other. It is usually not used in the negative. →◆
2. There are constructs, like those in numbers ④ and ⑤, where this pattern is appended to parts of speech other than nouns.

1. 提起两个事物进行比较,表示一方(N_2 のほう)程度较高(低)时使用这个句型。一般不使用否定形式。→◆
- * 2. 也可以象例句④⑤那样接续名词以外的词类。

3. N₁ と N₂ とどちら [Which is... (noun)₁ or (noun)₂? / N₁和N₂哪个更...]

- ① A: あなたは紅茶とコーヒーとどちらが好きですか。
 B: 紅茶のほうが好きです。
- ② A: 土曜日と日曜日とどちらがつごうがいいですか。
 B: どちらでもいいですよ。
- ③ A: あなたはスポーツをするのと見るのとどちらが好きですか。
 B: どちらも好きです。

ポイント

2つのものを話題として取り上げて、それを比べる聞き方。この形の比較の質問には、普通、

2. 「N₁よりN₂のほうが」の「N₁より」を省略して、「N₂のほうが」で答える。

- ㊦ A: このセーターとあのセーターとどっちがいい?
 B: あっちのほうがきれいよ。

This pattern is used to ask about a comparison between two items that are taken up in conversation. Usually, the response to this pattern of question omits the phrase "N₁より" from 2. (N₁より N₂ のほうが) and uses only the pattern "N₂ のほうが" instead.

作为话题提起两个事物,就其进行比较的问话方式。在回答这种比较形式的问话时,一般将2.「N₁よりN₂の方が」的「N₁より」省略,用「N₂の方が」来回答。

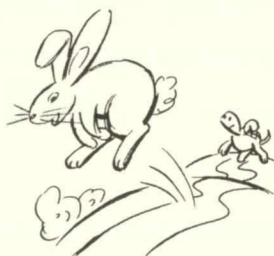
4. N₁ は N₂ ほど～ません [(Noun)₁ is not as...as (noun)₂ / ...没有...那么]

- ① きょうも風が強いですが、きょうはきのうほど寒くないです。
- ② わたしはテイさんほど速く走れません。
- ③ この町は今も人が多いですが、むかしほどにぎやかではありません。
- ④ A: こんどの社長はきびしいですか。
 B: ええ、でも、前の社長ほどではありません。
- * ⑤ この番組は思っていたほどおもしろくはなかったです。
- * ⑥ この問題はあなたが考えているほどやさしくないです。

ポイント

2つのものの程度は大きくは違わないが、話題にしたものは(N₁は)、もう一方に(N₂ほど)及ばないと言いたいときに使う。程度が全く違うものの比較には使わない。

◆×かめはうさぎほど速く走れません。



This pattern is used when the degree of two items is not very different from each other, and when one wants to say that the topic (N₁) is not quite as...as the other item (N₂). It is not used when the degree of the two items is completely different. →◆

表达两个事物程度相差不大,但是作为话题的事物(N₁は)不如另一方(N₂ほど)时使用。不用于程度完全不同的事物之间的比较。

→◆

5. N₁の中でN₂がいちばん [(Noun)₂ is the most...of (noun)₁ / 在N₁里,N₂最...]

① A: リーさんはくだものの中で、何がいちばん好きですか。

B: オレンジがいちばん好きです。

② この課の中でだれがいちばん早く会社に来ますか。

③ ケーキがいろいろありますが、この中でどれがいちばんおいしいでしょうか。

④ A: 一年中でいちばんいそがしいのはいつですか。

B: そうですねえ。12月の終わりごろです。

⑤ 世界でいちばん有名な人はだれでしょうか。

ポイント

1. ③のように具体的にものをあげて質問するときは、「どれがいちばん〜」という形になる。

2. いろいろある中でいちばんのものを言うときは、「〜の中で」を使う。一つ一つ分けられない

全体の中でいちばんのものを言うときは、「〜で」の形になる。

- ◆ {
- ・ 春、夏、秋、冬の中では、春がいちばん好きです。
 - ・ 世界でいちばん高い山はエベレストです。

1. When something concrete is asked about a particular topic, as in number ③, the construct どれがいちばん～ is used.

2. The phrase ～の中で is used when something has the most or least of some attribute among a variety of items.

When the items are indistinguishable from each other, ～で is used. →◆

1. 象例句③那样举出具体的事物进行提问时, 使用「どれがいちばん～」这一表达方式。

2. 指出在各种事物中程度最高的事物时使用「～の中で」。表达不能具体分开的事物全体中程度最高的事物时使用「～で」这种形式。→◆

6. ～すぎます [Too…/太…]

① このケーキはちょっと^{あま}甘すぎます。

② わあ、このスーツ10万円ですか。高すぎますよ。

③ 食べすぎておなかがいっぱいです。

④ あの人はまじめだけれど、ユーモアがなさすぎますよ。

ポイント

程度がちょうどいい線を超えていると言いたいときに使う。マイナスの評価。

This expression is used when the speaker wants to indicate that something has exceeded a certain perfect balance. It is a negative evaluation.

表示超出一般适度的界限时使用的表达方式。含贬义。

∞ V~~ます~~/IA~~ます~~/NA +すぎます 例外 ない→なさすぎます

7. N₁ は～が、N₂ は [(Noun)₁ is…but (noun)₂ is…/N₁…,N₂…]

① この本はもう読みましたが、あの本はまだです。

② わたしたちの学校では、春は^{はる}遠足^{えんそく}に行きますが、秋^{あき}は行きません。

③ 机^{つくえ}の上には本がたくさんありますが、本だにはあまりありません。

④ タンさんにはプレゼントをあげましたが、カンさんにはあげませんでした。

⑤ わたしは図書館^{としょかん}へは自転車^{じてんしゃ}で行きますが、学校^{ある}へは歩いて行きます。

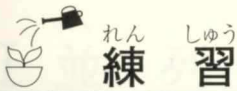
ポイント

2つのことを^{ないひ}対^い比^{つか}して言うときに使う。 → まとめ2 「『は』と『が』」 ㊦ 5 (p212)

This is used to contrast two items.

→ Important Grammatical Points 2: (は
and が) ㊦ 5, p.212

対比两个事物时使用。 → 小结2 「“は”
和“が”」 ㊦ 5 (p212)



問題 の中から適当なことをば選んで書きなさい。

は より と ほど

1. (料理の話をしています)

A: 日本料理① 西洋料理②、どちらが好きですか。

B: わたしは日本料理のほうが好きです。日本料理は西洋料理③ 油を使わない から。

C: わたしは日本料理④ 西洋料理のほうが好きです。でも、料理の中では、中国料理がいちばん好きです。

A: いつもどんなところで食事をしますか。

C: 昼ご飯⑤ 外で食べますが、晩ご飯⑥ うちで食べます。 自分で料理を作ります。料理⑦ 勉強⑧ ずっと楽しいです。

A: わたしも食べることが何⑨ 好きです。

のほうが どちら いちばん

2. (電器店で)

客: N社のプリンターとS社のプリンターと、⑩ がいいでしょうね。

店員: ⑪ もいいですよ。 でも、大きさは、このN社のプリンター⑫ ちょっと大きい ですね。

客: そうですね。わたしはもっと小さいプリンターがほしいんですが。

店員: では、こちらはどうか。これがN社のプリンターの中で、⑬ 小さい いプリンターです。

客: そうですねえ。でも、これよりS社の、あのプリンター⑭ いいです。 あれにします。

I 並列 II 経験

I. Enumerations II. Experiences

I. 并列 II. 经验



知っていますか

a 行く b 行かない c 行った d 行ったり e 行っただけ

1. A: 松下さんは京都へ_____ことがありますか。

B: ええ、1、2度あります。

2. 日曜日には公園へ_____、うちでテレビを見たりします。

3. わたしはきょねん、外国へ何回も行きました。中国へも_____、ブラジルやアフリカへも行きました。

4. わたしはこのごろご飯を食べないで会社へ_____ことがあります。

5. わたしは日曜日にはたいいていスポーツセンターへ行くのですが、朝ねぼうをして_____こともあります。



使えますか

1. 中川さんはいつも明るいし、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a} \text{ まじめによくがんばります。} \\ \text{b} \text{ とくどき暗い顔をします。} \end{array} \right.$

2. パーティーの前に、みんなでへやをそうじしたり、花をかざったり、

料理を $\left\{ \begin{array}{l} \text{a} \text{ 作りました。} \\ \text{b} \text{ 作ったりしました。} \end{array} \right.$ 3. わたしはおととい日本のすもうを $\left\{ \begin{array}{l} \text{a} \text{ 見ました。} \\ \text{b} \text{ 見たことがあります。} \end{array} \right.$ 4. 山道は、雨の日は $\left\{ \begin{array}{l} \text{a} \text{ すべることが} \\ \text{b} \text{ すべったことが} \end{array} \right.$ ありますから、注意してください。5. わたしは今までに $\left\{ \begin{array}{l} \text{a} \text{ 入院することはありません。} \\ \text{b} \text{ 入院したことはありません。} \end{array} \right.$

答えはつぎのページにあります。

I 並列 へい れつ [Enumerations/并列]



1. V₁ たり V₂ たりします

(1) 本を読んだり、テレビを見たりします。

(2) 出たり入ったりしています。

* 2. ～たり～たりします

暑かったり寒かったりします。

3. N₁ も～し、N₂ も

✎ I - 1. V₁ たり V₂ たりします(1)

[Do (verb)₁ and (verb)₂ and other things (1) / 又 V₁, 又 V₂ (1)]

- ① 日曜日には、本を読んだり、テレビを見たりします。
- ② 子どものころ、野球をしたり、魚をとったりして、よく外であそびました。
- ③ このごろ雨が降ったり、強い風が吹いたりして寒い日が続きます。
- ④ 公園で子どもたちがボール投げをしたり、水あそびをしたりしています。

ポイント

いろいろなことをするとき、またはいろいろなことが起こるとき、そのうちの2、3を取り上げて並べて示すときの言い方。①②のように、1人がいろいろな動作をする場合と、④のように、複数の人がいろいろな動作をする場合がある。

This expression is used when listing up two or three of a variety of things that one does, or that occur. There are such cases, as in numbers ① and ②, when one person is doing various activities, and there are cases, as in number ④, where several people are doing a variety of actions.

从各种动作、行为中选取二、三个列举时使用这一句型。可以象例句①②那样表示一个人的各种动作,也可以象例句④那样表示几个人的各种动作。



1.c

2.d

3.e

4.a

5.b



1.a

2.b

3.a

4.a

5.b

☞ I - 1. V₁ たり V₂ たりします(2)

[Do (verb)₁ and (verb)₂ and... (2) / 又 V₁, 又 V₂ (2)]

- ① 子どもたちがプールから出たり入ったりしています。
- ② 退院してから1週間ぐらひは毎日寝たり起きたりしていました。
- ③ あの人は門の前を行ったり来たりしています。どうしたのでしょうか。
- ④ バスの運転手：バスの中では立ったりすわったりしないでください。危ないですから。



ポイント

反対の動作・作用が反復することを表す言い方。2つの対立する動詞（出る・入る、行く・来る、上がる・下がるなど）を使う。

This pattern expresses a repetition of opposite actions or effects. Two contrasting verbs (such as 出る・入る, 行く・来る, 上がる・下がるなど) are used.

表达相反的动作、作用反复进行的句型。使用意义相反的对立动词（如：出る、入る；行く、来る；上がる、下がる等）。

*

☞ I - 2. ～たり～たりします [Sometimes ...and sometimes ... / 有时...有时...]

- ① 庭のそうじは父がしたり、母がしたり、兄がしたりします。
- ② うちでは夕食の時間は7時だったり8時だったりして、決まっています。
- ③ 1週間に1度かならず来てください。来たり来なかったりでは困ります。
- ④ このごろの天候は暑かったり寒かったりですから、かぜをひきやすいです。

ポイント

一定していないことを表す。動詞以外の品詞にも使う。③④のように「～たり～たりです」の形で使うことも多い。

This pattern shows that something is not fixed. It is also used for parts of speech other than verbs. It is often used in the form ～たり～たりです, as in numbers ③ and ④.

表示不一定的事物。也可以后接动词以外的词类的。象例句③④那样,也经常使用「～たり～たりです」这种形式。

♪ I-3. N₁ も～し、N₂ も [(Noun)₁ is...and (noun)₂ is also... / 又N₁, 又N₂]

- ① この服はデザインもいいし、色もいいです。
- ② あしたは遠足です。お弁当も作ったし、飲み物ももう買いました。
- ③ わたしのアパートは狭いし、駅から遠いし、日当たりもよくないです。けれども、家賃は安いです。
- ④ きのは市役所へも行ったし、図書館へも行って、いそがしい1日でした。

ポイント

1. 同類の性質のことを重ねて述べる言い方。
2. 「N₁もN₂も…。(今週も来週もひまです。)」という言い方より、「N₁も～し、N₂も…。(今週もひまだし、来週もひまです。)」という言い方のほうが、気持ちを重ねる意識が強い。
3. ③のように、「Nも」がない形もある。→4課I-4.「～し」(p44)
4. 助詞「は、が、を」の後ろに「も」がつくと、「は、が、を」は消える。→コラム7「助詞『は』『が』『を』が消える！」(p152)

1. This pattern is used to list items of similar quality.
2. The expression N₁ も～し、N₂ も…。(This week I'm free and next week I'm also free) carries a stronger emphasis of repetition than N₁ も N₂ も…。(I'm free both this week and next).
3. There are constructs, as in number ③, where Nも is not used. → Lesson 4, I-4. (～し), p.44
4. When も is appended after the particles は, が and を, は, が and を are eliminated. → Column 7, The Particles は, が and を Disappear!, p.152

1. 重复叙述相同性质的事物时使用的表达方法。
2. 比起「N₁もN₂も…」(这周下周都有空。)」这种说法,「N₁も～し、N₂も」(这周有空・下周也有空。)」重复意识更强。
3. 可以象例句③那样省略「Nも」。→第4課I-4.「～し」(p44)
4. 助词「は、が、を」后续「も」时,「は、が、を」消失。→专栏7「助词“は”“が”“を”的消失」(p152)

🔗 N₁ も + 普通形 (plain form) + し、N₂ も

Ⅱ 経験

[Experiences / 经验]



1. Vたことがあります
2. Vることがあります・Vないことがあります

Ⅱ-1. Vたことがあります [Have had the experience of doing (verb) / …过…]

- ① わたしは3年前に1度日本へ来たことがあります。
- ② わたしは子どものとき、北海道に住んでいたことがあります。
- ③ てんぷらはレストランで食べたことはありますが、自分で作ったことはありません。
- ④ あの人には前にどこかで会ったことがありますが、名前が思い出せません。
- ⑤ A: 病気で入院したことがありますか。
B: いいえ、ありません。
- * ⑥ 学生時代、お金がなくて、必要な本が買えなかったことがあります。
- * ⑦ 5年前にこの地方で山火事が起こったことがあります。
- * ⑧ 1度だけこの町がにぎやかだったことがあります。4年前のオリンピックのときです。

ポイント

1. 「子どものころ」「前に」「むかし」「今までに」などのような言葉といっしょに使うことが多い。
2. あまり近い過去の時を表す言葉とはいっしょに使わない。また、「いつも」「たいてい」「よく」などの言葉といっしょに使うこともない。

- ◆ { ×わたしはおととい、さしみを食べたことがあります。
○わたしはおととい、はじめてさしみを食べました。

- * ③ ⑥⑦⑧のように、過去に特別なことがあったという意味にも使う。

1. This pattern is often used with expressions such as 子どものころ(in childhood), 前に(before), むかし(long ago), and 今までに(up until now).

2. This construction is not used with expressions that refer to the immediate past; neither is it used with words such as いつも(always), たいてい(usually), and よく(often). →◆

* 3. This expression, as in numbers ⑥, ⑦ and ⑧, is used to show that something special happened in the past.

1. 经常和「子どものころ(小时候)」「前に(以前)」「むかし(过去)」「今までに(迄今为止)」等词语一起使用。

2. 不和表示最近刚刚过去的时间词一起使用, 也不和「いつも(总是)」「たいてい(大都)」「よく(经常)」等词语一起使用。

→◆

* 3. 也可以象例句⑥⑦⑧那样表示过去发生的特殊事情。

II-2. V ることがあります・V ないことがあります

[There are times when the agent does (verb) and there are times when he doesn't (verb). / 有…的时候・有不…的时候]

- ① 会社まで近いので、ときどき自転車で行くことがあります。
- ② たいてい家で勉強するのですが、たまに友だちの家で勉強することもあります。でも、図書館で勉強することはありません。
- ③ おそく帰ったときは、おふろに入らないで寝ることもあります。
- ④ あの人、あいさつしても、返事をしないことがあります。
- ⑤ 大雪のときは、電車がおくれることがあります。

ポイント

「いつもではないが、ときどきそうする、そうなる」と言いたいときに使う。

This is used when one wants to say that something doesn't happen all the time, but happens or is done sometimes.

用于表达「不经常发生、有时候…」的意思。



問題Ⅰ () の中のことばを適当な形にして書きなさい。

- すみません。ろうかの電気が① _____ ② _____ しています。^{あた}新しいのとかえてください。(つく・消える)
- きのうは遠足^{えんそく}に行きました。天気も③ _____ し、お弁当^{べんとう}もおいしかったです。(いい)
- あ、この音楽^{おんがく}、どこかで④ _____ ことがあります。(聞く)
- A: 夜^{よる}はいつもうちにいますか。
B: いいえ、⑤ _____ ことがあります。そのときは留守番電話^{るすばん}にメッセージをおねがいします。(いる)
A: わたしも夜^{よる}⑥ _____ ことがあります。そのときは携帯電話^{けいたい}におねがいします。(出かける)

問題Ⅱ () の中のことばを適当な形にして、 中のことばといっしょに使って書きなさい。

たり し

- A: ハワイ旅行^{りょこう}はどうでしたか。
B: 海^{うみ}で⑦ _____、山に⑧ _____ して、とても楽しかったです。(泳ぐ、のぼる)
A: 買い物^{かもの}もしましたか。
B: ええ、買い物も⑨ _____、おいしい料理^{りょうり}もたくさん食べました。(する)
A: それはいい旅行^{りょこう}でしたね。
- A: 先生、このごろはご飯^{はん}もよく⑩ _____、夜^{よる}もよく寝^ねられます。もう薬^{くすり}を飲^のまなくてもいいですか。(食べられる)
医者^{いしや}: もう少し飲^{すこ}んでください。⑪ _____ ⑫ _____ するのはいけません。(飲む、飲まない)

4

げんいん りゆう
I 原因・理由ぎゃくせつ
II 逆接

I. Causes; Reasons II. Contrary Results

I. 原因・理由 II. 逆接



知っていますか

a ので b のに c て d から e が

1. いい天気です____、散歩に行きましょう。
2. このアパートは駅から遠く____、不便です。
3. 犬がご飯を食べない____、心配しています。
4. 雨が降っています____、試合は始まりました。
5. ハンさんはうちが近い____、いつも学校におくれます。



使えますか

1. テープがなくて { a 録音できませんでした。
b テープを持ってきてください。
2. ジャズはリズムが { a いいし、
b いいので、 } 楽しいから大好きです。
3. 高い熱のため { a 旅行に行けませんでした。
b 病院に行きましょう。
4. 料理がおいしかったため { a たくさん食べました。
b 食べすぎてしまいました。
5. 山田さんは歌がじょうずなのに、 { a カラオケではあまり歌いません。
b カラオケではよく歌います。

答えはつぎのページにあります。

I 原因・理由

[Causes; Reasons / 原因・理由]



1. ～から
2. ～て・～で・～なくて



3. ～ので
4. ～し
5. ～ため (に)

✿ I-1. ～から [Because... / 由于..., 因为...]

- ① スープが熱いから、気をつけて持っていきなさい。
- ② 納豆はきらいだから、食べたくないんです。
- ③ (駅のホームで) 電車がまいりますから、ご注意ください。
- ④ A: どうして冬が好きなんですか。
B: スキーができるからですよ。
- ⑤ この箱、捨てないでね。後で使うから。

ポイント

1. **原因、理由** から、...。文末には、話す人の意志を表す文(「～たいです」「～つもりです」など)や、働きかけの文(「～なさい」「～てください」など)がくることが多い。

→コラム8「文末に気をつけよう」(p204)

2. 依頼や断りの話を始めるときには、強く聞こえるので「～から」は使わないほうがいい。

- ◆ { △辞書を忘れたから、ちょっと見せてくださいませんか。
○辞書を忘れたんですが、ちょっと見せてくださいませんか。



1. **Causes or reasons** から、**...**。 In many instances, sentences end with phrases that indicate the speaker's will, (～たいです; ～つもりです, etc.) or demands and requests (～なさい; ～てください, etc.). → Column 8, Watch Out for Sentence Endings, p.204
2. It is best not to use ～から when making or turning down a request at the beginning of a conversation as the impact will be too strong. →◆

1. **原因、理由** から、**...**。 句尾多为表示发话人意志(「～たいです」「～つもりです」等)、指示(「～なさい」「～てください」等)表现。→专栏 8「注意句尾变化」(p204)
2. 提出请求或表示拒绝时,听起来比较强硬,所以最好不用「～から」表示原因。→◆

普通形
plain form丁寧形
polite form

+から

🍷 I - 2. ～て・～で・～なくて

[Since; because; and so... / 由于..., 因为..., 由于没..., 由于不...]

- ① 前に大きい人がいて、見えません。
- ② きょうはお話ができ、うれしかったです。
- ③ 田中さんの声は小さくて、よく聞こえません。
- ④ 母の病気のことが心配で、眠れませんでした。
- ⑤ きのは、夜おそくまで仕事が終わらなくて、たいへんでした。
- ⑥ 歯が痛かったので、ご飯が食べられなくて困った。



ポイント

1. 「～て」の前が原因・理由を表す。原因・理由を表す「～て」の前の文と後ろの文の主語が違っていてもいい。
2. 「～て」の後ろの文には不可能表現や心的または身体的な状態を表す表現(困る、たいへんだ、疲れた、など)がくることが多い。話す人の意志を表す文や、相手への働きかけの文はこない。→コラム 8「文末に気をつけよう」(p204)

- ◆ { ×疲れて、休みましょう。
×暑くて、まどを開けてください。

3. 下のよう^きなもの^{ひょうげん}を決^きまった表^{ひょうげん}現^{げん}としてよく使^{つか}う。

- ◆ {
- ・合格^{ごうかく}して、よか^よったね。
 - ・おくれ^{おくれ}て、すみ^{すみ}ません。
 - ・てつだ^{てつだ}ってくれ^{くれ}て、ありが^あとう。
 - ・行^いけな^なくて、ごめ^{ごめ}んなさい。

4. 動詞^{どうし}の「て形^{けい}」の否定形^{ひていけい}には「V^{ない}なくて」「V^{ない}ないで」と2つあるが、理由^{りゆう}を表^{あらわ}す場合^{ばあい}は「V^{ない}なくて」を使う。どんな状^{じょう}態^{たい}で動^{どう}作^さしたかを表^{あらわ}すときは「V^{ない}ないで」を使う。

- ◆ {
- ×森^{もり}さんは上着^{うわぎ}を着^きな^なくて、出^でてい^いった。
 - 森^{もり}さんは上着^{うわぎ}を着^きない^{ない}で、出^でてい^いった。

5. →まとめ3「V^て・V^{ない}ないで・V^ずに・V^なくて」(p217)

1. What is expressed before ～て is a cause or reason. The subject of the clause before the ～て that expresses causes or reasons can be different from the succeeding clause.

2. In many instances, the second clause expresses impossibility or emotional or physical situations (such as 困^{こま}る, 大^{たい}変^{へん}だ, 疲^{つか}れた, etc.). Clauses with the speaker's intention or pressure toward the listener do not follow. →◆ → Column 8, Watch Out for Sentence Endings, p.204

3. Set expressions as in the following, are often used. →◆

4. When the verb is in the て form, there are two negative constructions: V^なくて and V^{ない}ないで, but when a reason is being given, V^なくて is used. When expressing how the action was done, use V^{ない}ないで.

→◆

5. → Important Grammatical Points 3: (V^て, V^{ない}ないで, V^ずに and V^なくて), p.217

1. 「～て」の前边表示原因、理由。表示原因、理由的「～て」前句和后句主语不一致也没有关系。

2. 后边的句子多是表达不可能、心理或者身体状态的表现形式(如:困る、大変だ、疲れた等),而不出现表示说话人意志或者支配听话人的表达法。→◆→专栏8「注意句尾变化」(p204)

3. 下面的固定说法经常使用。→◆

4. 动词「て形」的否定形式有「V^なくて」和「V^{ない}ないで」两种。表示理由时使用「V^なくて」;表示以何种状态发生行为时要使用「V^{ない}ないで」。→◆

5. →小结3「V^て・V^{ない}ないで・V^ずに・V^なくて」(p217)

🌸 I - 3. ～ので [Since.../因为...]

① き^きのう^うは2時^にまで寝^ねられな^なかった^{ので}、け^けさは早^{はや}く起^おきられ^{られ}ませんでした。

② おふ^おろ^ろが熱^{あつ}い^{ので}、少^{すこ}し水^{みづ}を入^いれまし^{まし}た。

- ③ 冬休みに家族に会いました。みんな、元気だったので、安心しました。
- ④ あしたは休みなので、友だちと映画を見に行きます。
- ⑤ すみません。ちょっと寒いので、まどを閉めてくださいませんか。
- * ⑥ 今、調べていますので、少しお待ちください。

ポイント

1. 原因・理由 ので、…。後ろの文で結果やなりゆきを言うことが多い。文末が命令形や禁止形の文はこない。→コラム8「文末に気をつけよう」(p204)

◆ { ×うるさいので、やめろ。
○うるさいから、やめろ。

2. 個人的な言いわけを述べる場合には、「～ので」のほうが「～から」より改まった柔らかい表現である。

3. 「～のでです」の形では使わない。

◆ { A: どうして冬が好きなのですか。
× B: スキーができるのでです。
○ B: スキーができるからです。

- * 4. ⑥のように、より丁寧に言いたいときは、丁寧形に接続することもある。

1. Cause or reason ので、…。There are many times when the succeeding clause contains the result or direction of the first clause. Imperatives and prohibition do not appear at the end of the sentence. →◆
→ Column 8, Watch Out for Sentence Endings, p.204
2. In cases where personal justifications are given, ~ので is a more formal and softer expression than ~から.
3. The form ~のでです is not used. →◆
- * 4. When the speaker wants to be more polite, as in number ⑥, he or she can append the polite form.

1. 原因、理由 ので、…。后句多为表示结果、趋势的表现。句尾不出现表示命令、禁止的说法。→◆ →专栏8「注意句尾变化」(p204)
2. 为个人进行辩解时,用「～ので」比用「～から」更正式,更柔和。
3. 不能使用「～のでです」形式。→◆
- * 4. 象例句⑥那样,要更有礼貌地表达时,可以接续礼貌形。



普通形
plain form

+ ので 例外 ナA~~だ~~→ナAな/N~~だ~~→Nな + ので

🌸 I - 4. ～し [And… / 由于…]

① A: 木村さんはどうして夏が好きなんですか。

B: そうですね。夏休みがあるし、泳げるし……。

② きょうは仕事もあるし、雨も降っているし、ジョギングはやめよう。

③ A: どうして引っ越すんですか。

B: 今のアパートは駅から遠いし、好きじゃないんです。

④ きょうはひまだし、天気もいいから、公園に行きましょう。



ポイント

1. 理由を重ねて言うときに使う。I - 1. 「～から」、I - 3. 「～ので」より因果関係は弱い。③のよ
うに「～し」が1つの場合は、ほかにも理由があるという気持ちがある。

2. → 3課 I - 3. 「N₁も～し、N₂も」(p35)

1. This is used when listing reasons. The causal relationships are weaker than in the constructs I - 1. (～から) and I - 3. (～ので). When there is only one ～し, as in number ③, the nuance is that there are other reasons as well.

2. Lesson 3, I - 3. (N₁も～し、N₂も), p.35

1. 用于表示多重理由。但不如 I - 1. 「～から」、I - 3. 「～ので」的因果关系密切。例句③虽然只用了一个「～し」,但是包含还有其他理由的意思。

2. 第3課 I - 3. 「N₁も～し、N₂も」(p35)



普通形
plain form

+し

🌸 I - 5. ～ため(に) [Owing to… / 由于…]

① (駅のホームで) 大雪のため、電車がおくれています。

② 田中さんは出席日数が足りなかったために、卒業できませんでした。

③ この町は交通が不便なため、バイクを利用する人が多い。

④ 数学の問題は数が多かったため、時間が足りなかった。

ポイント

1. 原因 ため(に)、…。普通ではない結果となった原因について言う。書き言葉でよく使う。普通のことに使うと不自然な文になる。

- ◆ { △おいしかったため、たくさん食べました。(普通の事実) [Normal Facts / 一般的事实]
○おいしかったため、食べすぎてしまいました。(普通ではない事実) [Abnormal Facts / 非同一般的事实]

2. 「～ため」の後ろには、話す人の意志を表す文や依頼などの表現はこない。→コラム 8

「文末に気をつけよう」(p204)

- ◆ { ×うるさいため、静かにしてください。
○うるさいから、静かにしてください。

1. **[Cause]** ため(に)、…。 This construct is used to explain that a result is not what would normally be expected. It is often used in writing. If used for normal results, it sounds unnatural. →◆

2. Clauses that express the speaker's will or requests do not follow ～ため. →◆
→ Column 8, Watch Out for Sentence Endings, p.204

1. **[原因]** ため(に)、…。 表示非同寻常的结果的原因。多用于书面语。用于一般事物会使句子变得不自然。→◆

2. 「～ため」后边不出现表示说话人的意志的句子,也不出现表示请求的表现。→◆
→专栏 8 「注意句尾变化」(p204)



普通形
plain form

+ため(に)

例外 ナA~~が~~→ナAな/N~~が~~→Nの +ため(に)

II 逆接

[Contrary Results/逆接]



1. ～が



2. ～のに

Ⅱ-1. ～が [But.../但是...]

- ① 9月になりましたが、まだ毎日暑い^{あつ}です。
② このへやはきれいですが、せまいです。
③ 読み方を辞書で調べたが、わからなかった。

ポイント

1. 逆の意味や対立する意味をもつ2つの文をつなぐ。
2. 次のように2つの文をつなぐだけの使い方もある。「話の前置き」としてよく使われる。

- ◆ { ・きのう、林^{はやし}さんに会ったんですが、元気^{げんき}でしたよ。
・(電話で) もしもし、田中^{たなか}ですが、鈴木^{すずき}さんいらっしゃいますか。

3. 下の例のように「話の切り出し」や余韻を残す言い方としてもよく使われる。

- ◆ { ・ ちよっとうかがいたいんですが……。駅へはどう行くんでしょうか。
・ わたしはそうは思いませんが……。

4. 口語では「～が」の代わりに「～けれども」の縮約形「～けど」をよく使う。

② ・ ABCデパートへ行ったんだけど、休みだった。

・ きのう、林さんに会ったけど、元気だったよ。

1. This conjunction joins two opposite or contrasting clauses.

2. There are cases, such as the following, when が is used simply to join two clauses. It is often used to preface what the speaker is going to say. →◆

3. It is also often used as an expression with which to broach a subject or as a way to subtly leave the sentence open-ended as in the following examples. →◆

4. In colloquial speech, the abbreviated form of ～けれども (～けど) is often used in place of ～が.

1. 将意思相反或者对立的两个句子连接在一起。

2. 也可以象下边的例句一样只将两个句子连接在一起，经常作为「说话的前言」使用。

→◆

3. 也可以象下边的例句一样，用于留下余韵的表达方式，经常作为「话题的提起」使用。

→◆

4. 在口语中经常用「～けれども」的缩略形式「～けど」代替「～が」。



丁寧形
polite form

普通形
plain form

＋が



Ⅱ-2. ～のに

[Even though... / ...却...、...倒...]

- ① わたしがケーキをやいたのに、だれも食べません。
② ひろしは暑いのに、まどを開けないで勉強しています。
③ 冬の山は危険なのに、どうしてものぼるんですか。
④ 夜の12時なのに、電車にはおおぜいの人が乗っていました。
⑤ マリさんはもう帰りましたか。会いたかったのに……。

ポイント

1. **事実** **のに**、**順当でないこと**。 話す人の意外な気持ち、不満、非難、残念な気持ちを表すことが多い。

2. 文末に話す人の意志を表す文や依頼などの表現はこない。→コラム8「文末に気をつけよう」

(p204)

- ◆ { ×いそがしいのに、手紙を書きなさい。
○いそがしくても、手紙を書きなさい。

1. Fact のに、something unexpected。

In many cases, the speaker's feelings of surprise, dissatisfaction, criticism or regret are conveyed.

2. Clauses that express the speaker's will or requests do not come at the end of the sentence. →◆ → Column 8, Watch Out for Sentence Endings, p.204

1. 事実 のに、非顺理成章の結果。多用于表达说话人的意外、不满、非难、遗憾等感情。

2. 句尾不出现表示说话人意志的表达方式，也不出现表示请求的表达方式。→◆
→专栏8「注意句尾变化」(p204)



普通形
plain form

＋のに

例外

ナA~~な~~→ナAな／N~~な~~→Nな ＋のに



問題Ⅰ [なくて ないで] のどちらかを書きなさい。

1. きょねんの秋、日本に来ました。はじめは日本語が①わから 困りました。
2. きのは、おふろに②入ら 寝ました。
3. 試験のときは、朝まで③寝 勉強します。
4. いいかばんがあったのに、お金を④持ってい 、買えませんでした。
5. 田中さんに会いに行ったのに、⑤会え さんねんでした。

問題Ⅱ () の中のことばを適当な形にして、 の中のことばといっしょに 使って書きなさい。

ので のに で

1. きのは小学校のクラス会でした。
 マリさんは用事が⑥ 、来られませんでした。(ある)
 マキさんは電車の⑦ 、30分ぐらいおそく来ました。(事故)
 田中先生は、⑧ 、しごとがあったので来ませんでした。(夏休み)
 でも、わたしはほかの友だちに会えて、楽しかったです。

から し のに

2. (学生が寮の事務室へ来て、話しています。)
 学 生：暑くて勉強⑨ 、エアコンを入れてください。(できる)
 事務員：暑いですね。でも、エアコンは7月1日からなんですよ。
 学 生：えっ、毎日30度も⑩ 、エアコンを入れないんですか。(ある)
 このごろは夜も⑪ 、となりのへやもうるさいから、眠れな
 いんです。(暑い)



知っていますか

a たい b ように c に d ほしい e ために

1. わたしは日本の歴史を勉強する____、日本に来ました。
2. 上野へ絵の展覧会を見____行きました。
3. よく見える____、漢字を大きく書いてください。
4. ああ、寒い、寒い。何かあたたかい飲み物が____です。
5. ああ、寒い。何かあたたかいものが飲み____です。



使えますか

1. わたしはあしたは一日中買い物 { a したいです。
b がほしいです。 }
2. 3歳のジュンは、いつもお兄ちゃんが持っているものを { a ほしいです。
b ほしがります。 }
3. 安くていいコンピューターが { a 買うと
b 買えると } いいですね。
4. 12時ごろ { a 食堂で
b 食堂へ } ご飯を食べに行きます。
5. この太いペンはまんがをかく { a のに
b ように } 使います。

答えはつぎのページにあります。

I 希望

[Expectations / 希望]



1. Nがほしいです
2. Vたいです



3. ～がります
4. ～といいです・～たらいいです・
～ばいいです
- * 5. Vてほしいです・Vないでほしいです

✎ I-1. Nがほしいです [Want (noun) ... / 想要 ...]

- ① わたしはノートパソコンがほしいです。
- ② 若いときは洋服やくつがたくさんほしかったですが、今はあまりほしくないです。
- ③ A: 今、いちばんほしいものは何ですか。
B: そうですね。寝る時間がほしいです。
- ④ タンさんは日本人の友だちがほしいと言っています。



ポイント

1. 第一人称 (わたし) の欲求や希望を表す。相手の欲求や希望を聞く場合にも使うが、直接目上の人に使わないほうがいい。I-2. 「Vたいです」も同じ。

- ◆ { (レストランで)
△先生、何がほしいですか。
○先生、何を召し上がりますか。



2. イ形容詞と同じように活用する。
3. 第三人称が主語の文の文末にはそのまま使えない。→コラム3「主語が三人称の文には気をつけよう」(p75)

◆ ×タンさんは日本人の友だちがほしいです。 → I-3. 「～がります」



1. This pattern expresses desire or expectation on the part of the first person (I). It is also used to ask the desires or expectations of others, but it is better not to use this construct directly toward superiors. This also holds true for the I-2. (V-たいです) pattern. →◆
2. This pattern is conjugated in the same way as an イ-adjective.
3. This construct cannot be used at the end of sentences where the subject is in the third person. →◆ → Column 3, Watch Out for Sentences in Which Subjects Are in the Third Person, p.75

1. 表示第一人称(我)的要求、愿望。也可以用于询问听话人的要求、愿望,但是不能直接用于询问上级。I-2.「Vたいです」也是如此。→◆
2. 活用法与イ形容词相同。
3. 不能直接用于主语是第三人称的句子的句尾。
→◆ →专栏3「注意主语是第三人称的句子」(p75)

㊦ I-2. Vたいです [Want to do (verb)…/想…]

- ① 夏休みには富士山にのほりたいです。
- ② すみません。バスにのりたいんですが、……。バス停はどこですか。
- ③ 森さんは林さんに会いたくないと言っていますが、どうしたんでしょう。
- ④ ああ、暑い。冷たいビールが飲みたいなあ。
- ⑤ きのうはアニメの映画を見に行きました。わたしは見たくなかったんですが、友だちが見たいと言ったので……。

ポイント

1. 第一人称(わたし)の行為の欲求、希望を表す。相手の欲求や希望を聞く場合にも使うが、直接目上の人に使わないほうがいい。→I-1.「Nがほしいです」の㊦ 1.
 ◆ { (おみやげ屋で)
 △課長、何が買たいですか。
 ○課長、何をお買になりますか。
2. イ形容詞と同じように活用する。
3. 他動詞の場合は④のように「ビールを飲む」→「ビールが飲みたい」のように「を」が「が」に変わることが多い。
4. 第三人称が主語の文の文末にはそのまま使えない。→I-1.「Nがほしいです」の㊦ 3.

5. ②のように人に聞いたり頼んだりする会話の始めによく使う。

・ Vたいんですが……。Vでもいいでしょうか。

1. This pattern is used to express desire or expectation to do something on the part of the first person (I). It is also used to ask the desires or expectations of others but it is best not to use this pattern directly toward superiors. →◆ → **ポイント**1. in I-1. (Nがほしいです).

2. This pattern is conjugated the same way as an イ- adjective.

3. In the case of transitive verbs, as in number ④, ビールを飲む→ビールが飲みたい (drink beer... want to drink beer), the particle を is often changed to が.

4. This pattern cannot be used at the end of sentences in which the subject is in the third person. → **ポイント**3. in I-1. (Nがほしいです).

5. This pattern, as in number ②, is often used at the beginning of a conversation to ask or request something.

Examples: V-たいんですが……。V-でもいいでしょうか。

1. 表示第一人称(我)行为上的要求、愿望。

也可以用于询问听话人的要求、愿望,但是不能直接用于询问上级。→◆ →I-1.「Nがほしいです」的**ポイント**1.

2. 活用法与イ形容词相同。

3. 谓语是他动词时,如:例句④「ビールを飲む」→「ビールが飲みたい」,经常用「が」代替「を」。

4. 不能直接用于主语是第三人称的句子的句尾。→I-1.「Nがほしいです」的**ポイント**3.

5. 象例句②那样,经常用于询问他人,请求他人的会话的开头。

例 Vたいんですが……。Vでもいいでしょうか。

〇〇 V~~ます~~ +たいです

I-3. ～がります [Tend to want to.../想...]

- ① 赤ちゃんがミルクをほしがって、泣いています。
- ② 弟はオーストラリアの大学に行きたがっています。
- ③ 父が帰ってくると、犬はうれしがってへやの中を走りまわります。
- ④ このごろ、たばこの煙をいやがる人が多くなりました。
- ⑤ 子どもはほかの子どもの持っているものをほしがります。



ポイント

1. 「ほしい・Vたい・痛い・うれしい・悲しい・残念だ・いやだ」などについて、第三人称の要望・希望、身体的感覚や感情を表す。I-1.「Nがほしいです」I-2.「Vたいです」と同様、主語が目上の人の場合は使わないほうがいい。→I-1.「Nがほしいです」の**ポイント**1.、3.

→コラム3「主語が三人称の文には気をつけよう」(p75)

- ◆ { △先生は中国の切手をほしがっています。
○先生は中国の切手がほしいとおっしゃっています。

2. 「～がります」は動詞 I (5 段動詞) と同じように活用する。
3. 助詞に注意。 わたしは N がほしいです。→弟は N をほしがっています。
4. 普通は「～がっています」の形で使うが、⑤のように一般的な傾向を言う場合は、「～がります」の形で使う。

1. The sentence suffix ～がります is appended to such words as ほしい, V-たい, 痛い, うれしい, 悲しい, 残念だ, いやだ, and is used to indicate desires, expectations, physical sensations and emotions in the third person.

As in I-1. (N がほしいです) and I-2. (V-たいです), it is best not to use this pattern when the subject is a superior. →◆

→ 例インド1., 3. in I-1. (N がほしいです).

→ Column 3, Watch Out for Sentences in Which Subjects Are in the Third Person, p.75

2. The sentence suffix ～がります is conjugated in the same way as a Group I-verb (-u verb).

3. Watch out for particles. わたしは N がほしいです。→弟は N をほしがっています。

4. This is normally used in the form ～がっています but in cases where general tendencies are expressed as in number ⑤, it is used in the form ～がります.

1. 表示第三人称的「ほしい、Vたい、痛い、うれしい、悲しい、残念だ、いやだ」等要求、希望、感覚と感情等等。与 I-1.「N がほしいです」I-2.「V たいです」相同, 最好不用于主语是自己上级的句中。→◆

→I-1.「N がほしいです」的 例インド1.、3. →专栏3「注意主语是第三人称的句子」(p75)

2. 「～がります」の活用形式与I类动词(5段动词)相同。

3. 注意助词的用法。 わたしは N がほしいです。→弟は N をほしがっています。

4. 一般使用「～がっています」这种形式。但象例句⑤表示一般倾向时, 用「～がります」结束句子。

Ⓞ V た~~ず~~/イ A ~~ず~~/ナ A +がります

🌸 I - 4. ～といいです・～たらいいです・～ばいいです

[It would be good if...; it would be nice if...; it would be best if.../要是…就好了]

① (スポーツ大会の前の日)

A: あした、雨が降らないといいですけど。

B: そうですね。いい天気になるといいですね。

② ことしの夏は試験勉強をしなければならぬから、あまり暑くなく**ばいい**と思っています。

③ 寮の食事がもう少しおいしかったらいいのになあ。

④ A：赤ちゃん、男の子と女の子とどっちがいい？

B：そうだなあ、今度は女の子だといいな。

ポイント

1. そのようになってほしいという希望や願望がある場合に使う。話し言葉。文末には詠嘆の気持ちを表す「～なあ」を加えることが多い。実現が難しいと感じている場合には、①③のように「～のに、～が、～けど」などをつけることが多い。

2. 「～」には話す人の意志を含む言葉はこない。

◆ { ×あした、マリさんに会ったらいいなあ。
○あした、マリさんに会えたらいいなあ。

3. 「～といいです」「～たらいいです」「～ばいいです」は互いに言い換えが可能である。

1. These expressions are used when the speaker wishes something would turn out a certain way. It is colloquial. There are many cases when the interjection ～なあ is appended to the end of the sentence for exclamation. Often, ～のに, ～が, and ～けど are appended, as in numbers ① and ③, when the reality seems difficult to achieve.

2. No words to include the speaker's intentions are used before these expressions. →◆

3. It is possible to interchange the three patterns ～といいです, ～たらいいです and ～ばいいです.

1. 用于表示想要成为某种状态的希望、愿望。

口语。句尾经常加上表示感叹的「～なあ」。感到难于实现时，经常象例句①③那样加上「～のに、～が、～けど」等。

2. 「～」中不出现表示说话人意志的表达法。

→◆

3. 「～といいです」「～たらいいです」「～ばいいです」可以互相换用。



I - 5. Vてほしいです・Vないでほしいです

[Want (second or third person) to do (verb); Want (second or third person) not to do (verb) / 想要…・不要…]

① クラス会の予定が決まったら、すぐ知らせてほしいのですが……。よろしくおねがいします。

② (手紙) 毎日、寒い日がつづいています。早く暖かくなつてほしいですね。

③ このことはほかの人に言わないでほしいのです。

ポイント

第一人称(わたし)が相手やほかの人、ものごとに対して要望がある場合に使う。

This expression is used when the speaker (I) wants the second or third person, or a thing to do something.

表示第一人称(我)对听话人或其他人、事物有要求、希望时使用。

II 目的

[Objectives / 目的]



1. Vに (行きます)



2. Vするため (に)

3. Vるのに

4. Vるように・Vないように

5. Nのため (に)



II-1. Vに (行きます)

[(Go) do (verb) / 去...]

- ① あした、デパートへくつを買いに行きます。
- ② 昼休みには、寮へ食事にもどります。
- ③ ひろし君は何をしに来たの。何もしないで帰ったけど。

ポイント

1. 移動の目的に「行きます、来ます、帰ります、もどります」などの移動動詞。
2. 目的が重い場合には「Vに」はあまり使わずに、II-2. 「Vるために」を用いる。
 - △国際会議に出席しにパリへ行きます。
 - ◇ { ○国際会議に出席するためにパリへ行きます。
3. ②のように、する動詞の名詞の部分にもつく。 → コラム4 「する動詞の名詞化」(p93)

1. **Purpose of movement** に **verbs of movement** (to go, come, return, go back, etc.) 。
2. In cases where the objective is serious, the pattern V-に is not usually used; rather, II-2. (V-るために) is used. →◆
3. It is also appended to the nominal portions of する verbs, as in number ②. → Column 4, Nominalization of する Verbs, p.93

1. **移動的目的** に 「去、来、回、返」等 **移动动词** 。
2. 强调目的时一般不使用「Vに」, 而使用 II-2. 「Vるために」。→◆
3. 象例句②那样, 接する动词的名词部分。
→专栏4 「する动词的名词化」(p93)

🔗 V ~~ます~~ / する ^{どうし} 動詞のN + に (行きます)

🌸 II-2. Vるため (に) [In order to... / 为... · 为了...]

- ① フランス料理を勉強^{りょうり べんきょう}するために、フランス語^{なら}を習っています。
- ② 田中^{たなか}さんはサッカーの試合^{しあい}に勝つ^かために、毎日10キロ走^{はし}っています。
- ③ 国際会議^{こくさいかいぎ}に出席^{しゅっせき}のため、オランダへ行きます。
- ④ 人は何の^かために生きているのでしょうか。

ポイント

1. **行為的目的** ^{こうい もくてき} ために、... 。
- II-1. 「Vに」より目的をはっきり言いたいときに使う。
- ③のように「する動詞^{どうし}の名詞^{めいし}十の十^{かたち}ため (に)」の形で使う。
2. 意志^{いし}を含む動詞^{どうし}につく。
- ◆ { ×先生^{はなし}の話^{はなし}がよく聞^{きこ}こえるために、前^{まえ}の方にすわります。
- 先生^{はなし}の話^{はなし}をよく聞^{きこ}くために、前^{まえ}の方にすわります。
3. → 4課 I-5. 「～ため (に)」(p44)

1. **Purpose of action** ために、... 。
- It is used when the speaker wants to express his or her objective more directly than in the pattern II-1. (V-に). It is also used in the form "nominal of the する verb + の + ため (に)", as in number ③.
2. This is appended to verbs of volition.
→◆
3. → Lesson 4, I-5. (～ため (に)), p.44

1. **行为的目的** ために、... 。
- 比 II-1. 「Vに」更强调目的的明确。也可以象例句③那样使用「する動詞^{どうし}の名詞^{めいし}部分 + の + ため (に)」这一形式。
2. 接意志动词。→◆
3. → 第4課 I-5. 「～ため (に)」(p44)

II-3. Vるのに [In order to do (verb)/为…]

- ① このナイフはチーズを切るのに便利です。
- ② 電子辞書はことばの意味を急いで調べるのに役に立ちます。
- ③ 外国旅行をするのにはパスポートが必要です。
- ④ ここから空港へ行くのには1時間かかります。
- ⑤ わたしは買い物に、いつもバイクを使っています。
- ⑥ 東京駅へ行くにはこのバスが便利です。

ポイント

1. 用途や目標 のに 「必要です、使います、便利です、役に立ちます、かかります」など。
2. ⑤のように「する動詞の名詞+に」の形でも使う。
3. ⑥のように動詞の後ろの「の」がない形もある。

1. Uses or objectives のに (necessary, use, convenient, useful, take time or money), etc.。

2. As in number ⑤, in cases of する nominals, this pattern is also in the construct "nominal of the する verb + に."

3. There are occasions when, as in number ⑥, the の following the verb is omitted.

1. 用途、目的 のに 「必要、使用、便利、起作用、花费」等。

2. 象例句⑤那样也可以使用「する動詞的名詞部分+に」这种形式。

3. 也可以象例句⑥一样，动词后不加「の」。

II-4. Vるように・Vないように

[To do (verb); not to do (verb)/为… 为了不…]

- ① 子どもにもわかるように、やさしいことばで話してください。
- ② 先生の声がよく聞こえるように、前の席にすわりました。
- ③ かぜをひかないように注意してください。
- ④ 約束の時間を忘れないように、メモをします。

ポイント

目標

ように、…。 「ように」の前には話す人の意志を含む言葉はこない。可能動詞

や無意志動詞、動詞の否定形がくることが多い。→コラム5「意志か、無意志か」(p99)

- ◆ { ×鳥の声を聞くように、まどを開けましょう。
○鳥の音が聞こえるように、まどを開けましょう。

Objective

ように、…。 The speaker's volition is not included in what precedes ように. In many cases, potential verbs, non-volition and verbal negatives are used.

→◆ → Column 5, Volition? Non-Volition?, p.99

目的

ように、…。 「ように」の前边不出现表示说话人意志的表现,而经常为可能动词、非意志动词、动词的否定形式。→◆

→专栏5「意志与非意志」(p99)



II - 5. Nのため(に)

[For (noun) / 为了]

- ① これは子どものための本です。
② わたしはこの会社のために40年間働きました。
③ お年寄りのためにもっと大きい字で書いてください。

ポイント

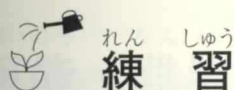
人や団体などの「利益になるように」という意味を表す。→4課I-5.「～ため(に)」(p44)

This expresses the idea of something being "for the benefit" of an individual or group.

→ Lesson 4, I-5. (～ため(に)), p.44

表示「为了」他人、集体的「利益」的意思。

→第4课I-5.「～ため(に)」(p44)



問題Ⅰ () の中のことばを^{なか}適切な形^{てきとう かたち}にして書きなさい。^か

1. 駅^{えき}の前のパン屋^やにサンドイッチを① _____ に行きます。(買う)
2. 寒^{さむ}いですね。早^{はや}く、春^{はる}が② _____ といいいですね。(来る)
3. ことしの夏^{なつ}は富士山^{ふじさん}に③ _____ たいです。(のぼる)
4. 父は日本のカメラを④ _____ がっています。(ほしい)
5. これはお湯^ゆの温度^{おんど}を⑤ _____ のに^{つか}使います。(はかる)
6. ほかに人に⑥ _____ ように小^こさい声^{こゑ}で話^わしました。(聞こえる)
7. わたしはコンピューターを⑦ _____ ために日本へ来^{べんきょう}ました。(勉強する)
8. 兄^{あに}は新^{あたら}しいコンピューターを⑧ _____ がっています。(買^かいたい)

問題Ⅱ () の中のことばを^{てきとう かたち}に変えて、 の中のことばといっ
しよに^{つか}使^{つか}って書きなさい。1つのことばは1回^{かい}だけ使^{つか}います。

たがって たい

1. A: もうすぐ夏^{なつ}休み^{やす}ですね。夏^{なつ}休み^{やす}には国^かへ帰^{かえ}りますか。
B: ええ、わたしは早^{はや}く国^かへ帰^{かえ}って、かぞくに⑨ _____ です。(会^あう)
A: かぞくのみなさんもあなたに⑩ _____ いるでしょうね。(会^あう)
B: ええ。

ために ように ないように のに

2. A: あした、1時^{かい}の会^ぎ議^ぎに⑪ _____ 大阪^{おおさか}へ行^まってくだ^あさい。(間^まに合^あう)
B: はい。じゃあ、会^{かい}議^ぎに⑫ _____ 9時^{しんかんせん}の新^の幹^{かん}線^{せん}に^の乗^のります。(おくれる)
A: ここから東京^{えき}駅^{えき}へ⑬ _____ 、1時^じ間^{かん}ぐら^いいかか^りますよ。(行^いく)
B: じゃ、9時^{しんかんせん}の新^の幹^{かん}線^{せん}に⑭ _____ 、8時^のに^のう^ちを^の出^でます。(乗^のる)



知っていますか

- a 見ることができます b 見られません c 見えません d やすい e にくい

1. あの人の話はむずかしいことばが^{おお}多くてわかり_____です。

2. 客^{きやく} : 書き_____ボールペンはありませんか。

店員^{てんいん} : そうですね。こちらのボールペンはどうですか。

3. あの美術^{びじゆつかん}館^{えん}の絵は、お金^{はら}を払わなくても_____。

4. 背^せの高い人がわたしの前^{まへ}に立^たっているので、絵^えがよく_____。

5. その映画^{えいが}は1000円では_____。



使えますか

1. あの人の声^{こゑ}は小さくて、 { a 聞^きけません。
b 聞^{きこ}えません。

2. こんな大きい本は、このふくろには { a 入^{はい}りません。
b 入^{はい}れません。 } もっと大きいふくろをください。

3. きっぷを^も持っていない人は会^{かい}場^{じやう}に { a 入^{はい}りません。
b 入^{はい}れません。 } 入^いり口^{ぐち}できっぷを^か買^かってください。

4. 森^{もり}田^たさんは { a トラッ^{うんてん}クの運^{うんてん}転^がが
b トラッ^{うんてん}クを運^{うんてん}転^がが } できます。

5. このナイフは、よく { a 切^きれます。
b 切^きれることができます。

答えはつぎのページにあります。

1. There are two meanings for expressions of potential. One is a technical or physical ability, as shown in numbers ①, ② and ③. The second is the potential of actualizing action through rules and conditions, as seen in numbers ④, ⑤ and ⑥. This is true for 2. (可能動詞(1)) as well.
2. The N of N ができます (can (noun)), is the nominal portion of a する verb (見学 (field trip), 練習 (practice), etc.) or of foreign languages, musical instruments, sports, etc. → Column 4, Nominalization of する Verbs, p.93
3. → 例文3. of 2. (可能動詞(1))

1. 可能的表达法有两种意思。例句①②③表示技术上、身体上的能力。例句④⑤⑥表示在某种规定、状况下,行为有实现的可能性。
2. 「可能動詞(1)」与此相同。
2. 「Nができます」的名词部分为する动词的名词部分(如:見学、練習 等)或是外语、乐器、体育项目等。→专栏 4 「する动词的名词化」(p93)
3. → 2. 「可能動詞(1)」的例文3.

2. 可能動詞(1) [Potential Verbs (1) / 可能動詞(1)]

- ① A: 日本語の新聞が読めますか。
B: いいえ、漢字が多いので読めません。
- ② A: この荷物を全部1人で持てますか。
B: むりですね。1人では持てません。
- ③ A: あなたはからい料理が食べられますか。
B: ええ、何でも好きです。
- ④ この入り口からは入れません。あちらの入り口からお入りください。
- ⑤ A: すみません、あしたこのテニスコートを使えますか。
B: ええ、5時まで使えますよ。
- ⑥ A: あら、どうしてビールを飲まないんですか。
B: 車で来たので、飲めないんですよ。
- * ⑦ そのレポート、全部書けたらわたしにも見せてください。

○可能動詞の形 [Forms of Potential Verbs / 可能動詞の形式]

※可能動詞は動詞Ⅱ（1段動詞）の活用をする。

[Potential verbs conjugate as Group II -verbs (-ru verbs). /

可能動詞の活用形式とⅡ類動詞(1段動詞)相同。]

動詞Ⅰ (5段動詞) Group I -verbs (-u verbs)	会^あえ 十^る → 会える 書^かけ 十^る → 書ける 出^でせ 十^る → 出せる 立^たて 十^る → 立てる 死^しね 十^る → 死ねる 飛^とべ 十^る → 飛べる 読^よめ 十^る → 読める 乗^のれ 十^る → 乗れる	あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの はひふへほ まみむめも や ゆ よ らりるれろ
動詞Ⅱ (1段動詞) Group II -verbs (-ru verbs)	起^おき 十^られる → 起きられる 食^くべ 十^られる → 食べられる	
動詞Ⅲ (不規則動詞) Group III -verbs (irregular verbs)	来^くる → 来られる する → できる	

ポイント

- ①②③は技術的、身体的な能力を表す。④⑤⑥は決まりや状況などで、行為の実現が可能であることを表す。 → 1. 「Vることができますなど」の(ポイント) 1.
- 他動詞の場合は「コンピューター^を使う」→「コンピューター^が使える」のように、「を」は「が」に変わることが多い。
1. 「Vことができます」と2. 「可能動詞(1)」はほとんど同じように使うことができる。ただし、2. 「可能動詞(1)」のほうが口語的。また、前後にほかの言葉がつくときや、動詞の単純な形ではない場合には、「Vことができます」のほうがよく使われる。

- ・疲れて、もう歩くこともできない。
- ・わたしは漢字を読むことだけはできますが、書くことはまだできません。
- ・試験中とはなりの人と話したり、教科書を見たりすることはできません。
- ・この建物には、IDカードを持たないで入ることはできません。

4. 可能動詞になる動詞は、人が意志をもってする動作の動詞だけである。人の意志に関係ない動詞(病気になる、困る、悩む、疲れるなど)は可能動詞にはできない。また、主語が無情物の場合、能力を表すのに可能動詞を使わない。 →コラム5「意志か、無意志か」(p99)

- ◆ { ×電池が切れたから、このおもちゃはもう動けません。
○電池が切れたから、このおもちゃはもう動きません。
○足が痛くて、わたしはもう動けません。

- * 5. ⑦のように全部完了したという意味にも使うことがある。

1. Technical and physical ability is shown in numbers ①, ② and ③. In numbers ④, ⑤ and ⑥, the potential of actualizing actions through rules and conditions is shown.

→ (例文) 1. in 1. (V-ることができます, etc.)

2. In the case of transitive verbs, the particle を is often changed to が, as in コンピューターを使う → コンピューターが使える (use a computer...can use a computer).

3. One can use 1. (V-ことができます) and 2. (可能動詞 (1)) in nearly the same way.

2. (可能動詞(1)), however, are more conversational. Furthermore, in cases where other words are appended before or afterwards or when the verb is not in its simple form, the pattern V-ことができます is used more often. →◆

4. Verbs that can become potential verbs are only those that express actions people perform intentionally. Verbs that are unrelated to intentionality (病気になる (become ill), 困る (have difficulty), 悩む (be anxious), 疲れる (be exhausted), etc.) cannot become potential verbs. In cases where the subject is inanimate, potential verbs are not used to express ability. →◆

→ Column 5, Volition? Non-Volition?, p.99

- * 5. These can also be used with the nuance that everything has been completed, as in number ⑦.

1. 例句①②③表示技术上、身体上的能力。

例句④⑤⑥表示在某种规定、状况下,行为有实现的可能性。 → 1.「Vることができます・等」的(例文)1.

2. 使用他动词的可能态时,如「コンピューターを使う」→「コンピューターが使える」,经常用「が」代替「を」。

3. 1.「Vことができます」和2.「可能動詞(1)」的用法基本相同。2.「可能動詞(1)」更加口语化。前后加入其他词语或者动词不是单纯形式时,则经常使用「Vことができます」。

4. 只有表示人通过意志支配来完成某个动作的动词才能成为可能动词。与人的意志无关的动词(如:病気になる、困る、悩む、疲れる等)不能成为可能动词。主语是非生物时,不使用表示技能、能力的可能动词。 →◆
→ 专栏 5「意志与非意志」(p99)

- * 5. 也可以象例句⑦那样用于表示全部完成的意思。

2. 可能動詞(2) [Potential Verbs (2) / 可能动词(2)]

- ① このパンは安くておいしいから、よく売れます。
- ② このペンは字がきれいに書けません。
- ③ この川は魚がたくさんつれます。となりの村の川はあまりつれません。
- ④ もっと切れるはさみはありませんか。

ポイント

あるものの性能や品質を評価して表す。1. 「Vることができます」には、この使い方はない。

This pattern shows that something has been evaluated as having efficiency or quality. This usage is not seen in 1. (V-ることができます).

表示评价事物的性能、品质。1. 「Vることができます」没有这种用法。

3. 可能の意味のある自動詞

[Intransitive verbs with nuances of potential / 具有可能意义的自动词]

- ① めがねをかければ、小さい字もよく見えます。
- ② (電話で) もしもし、もしもし、まわりがうるさくて、声がよく聞こえません。
- ③ このかばんは大きいから、たくさん入ります。
- ④ 故障したんでしょうか。電話がかかりません。

ポイント

もともと可能の意味をもつ自動詞を使った可能表現。可能形にする必要はない。

This is an expression of potential which uses intransitive verbs that inherently connote potential. There is no need to make them into the potential form.

使用本身具有可能意义的自动词表示可能。不须变化为可能形式。



4. Vやすいです・Vにくいです

[Easy to do (verb); hard to do (verb) / 容易…・难于…]

- ① この本は字が大きくて読みやすいです。
- ② あの病院のお医者さんは、病気のことをわかりやすく説明してくれます。
- ③ かぜをひきやすい季節です。どうぞお大事に。
- ④ このくつは重くて歩きにくいです。
- ⑤ 大きいビルがたくさん建って、住みにくくなりました。
- ⑥ このカップはじょうぶでこわれにくいです。

ポイント

①～③は、「…するのが簡単だ」「容易に…する」という意味。④～⑥は「…するのがむずかしい」「なかなか…しない」という意味。

Numbers ①-③ have the meaning "easy to do" or "be easily done." Numbers ④-⑥ mean "hard to do" or "can't quite do."

例句①～③表示「…很简单」「容易…」。
例句④～⑥表示「…很难」「不容易…」。



V ~~ます~~ + やすいです・にくいです



* 5. 自 発 [Spontaneity / 自发]

- ① ことしの夏は野菜が高くなると思われます。
- ② この町に来ると、子どもころのことがよく思い出されます。
- ③ 彼女の手紙を読むと、彼女のやさしい気持ちが感じられる。

ポイント

自然に心がそう動くという自発の意味を表す言い方。心の動きを表す動詞（思、感じる、考える、など）を受け身と同じ形にして使う。

This pattern indicates that one is naturally moved to feel a certain way. Verbs that show emotion (思う^{おも}(think), 感じる^{かん}(feel), 考える^{かんが}(consider), etc.) are used in the same verbal form as in the passive.

表示心里自然而然地发生某种变化的说法。
将表示心理变化的动词(思う、感じる、考える等)变为被动形式使用。

コラム 2

名詞を説明するときは——名詞修飾 [When Explaining Nouns...Nominal Modifiers/说明名词时——名词修饰]

ものや人(名詞)がどんなものや人であるかをその名詞の前で説明する。

When indicating the type of thing or person the noun is, insert your description in front of the noun. 解释说明事物、人物(名词)是什么样的事物、人物时, 在那个名词的前边加以说明。

この本
わたしの本
カメラの本
おもしろい本
きれいな本
わたしが(の)すきな本
兄がきのう買った本



× 人 あそこに立っている はマミさんです。

○ あそこに立っている 人 はマミさんです。

× これは わたしは作った ケーキ です。

○ これは わたしが作った ケーキ です。

× わたしがきのう会いました 人 はユンさんです。

○ わたしがきのう会った 人 はユンさんです。

× 父がつとめているの 会社 は名古屋にあります。

○ 父がつとめている 会社 は名古屋にあります。

× ジムさんは ジムさんが箱根でとった 写真 をわたしにくれました。

○ ジムさんは 箱根でとった 写真 をわたしにくれました。

れん
練しゅう
習

問題Ⅰ 可能動詞（例 読める 食べられる）を使って、文を完成しなさい。

1. わたしは自転車に① _____ ませんから、歩いていきます。
2. マリアさんはもう日本語で手紙が② _____ ます。
3. わたしはまだ日本語の新聞は③ _____ ません。
4. きょうは車で来ましたから、お酒は④ _____ ません。
5. 学生のころわたしはお金がなかったので、高いものは⑤ _____ ませんでした。
6. このきっぷで会場の中に⑥ _____ ますか。
7. きょうはいつもより早く家へ⑦ _____ ました。
8. この鳥はまだ小さいから空を⑧ _____ ません。
9. 日本料理は何でも好きですが、なっとうだけは⑨ _____ ません。
10. すみません、この席ではたばこは⑩ _____ ないのですよ。

問題Ⅱ () の中のどちらかを書きなさい。

1. A: そのおかし、よく、⑪ _____ か。(売ります・売れます)
B: ええ、すぐ、売り切れになりますよ。
2. 説明がよかったのでよく⑫ _____。(わかりました・わかることができました)
3. 暗くてよく⑬ _____。電気をつけてください。(見えません・見られません)
4. あ、へんな音が⑭ _____ ね。(聞こえました・聞けました)
5. すみません、このきっぷで映画が⑮ _____ か。(見えます・見られます)
6. 時計がこわれました。針がもう⑯ _____。(動きません・動けません)
7. このペンはよく⑰ _____。(書きます・書けます)
8. この川はよく魚が⑱ _____。(つれます・つることができます)
9. もう少しまどを開けてください。風が⑲ _____ から。(入りません・入れません)
10. このくつは、⑳ 歩き _____ から、ハイキングのとき、よくはきます。(にくい・やすい)
11. この道は石が多くて、㉑ 歩き _____ ですね。(にくい・やすい)



知っていますか

- a なさい b ください c ないでください d な e してください

1. まだ仕事があるから、帰ら_____。
2. ご用の方は、このへやで少々お待ち_____。
3. あしたは8時半に学校の前に集まり_____。
4. すみません、ちょっと電話を使わ_____。
5. 危険! 渡る_____!



使えますか

1. (お客に) 申しわけございませんが、少々 { a お待ちくださいませんか。
b 待ちなさい。
2. (公園で) 家族で写真を撮りたいんですが、すみませんが、シャッターを { a お押しください。
b お押してくださいませんか。
3. (薬のふくろの文) この薬は冷蔵庫に { a 入れろ。
b 入れてください。
4. すみませんが、参加する方はここに名前を { a 書いてください。
b 書きなさい。
5. わたしはすぐには決められません。ちょっと { a 考えてください。
b 考えさせてください。

答えはつぎのページにあります。

い ら い め い れ い
依頼・命令

[Requests; Orders / 请求・命令]



1. Nをください
2. Vてください・Vないでください
3. Nをくださいませんか・
Vてくださいませんか



4. おVください
5. V (さ) てください
6. 命令形
めい・れい・けい
と
止まれ、食べろ
7. Vるな
8. Vなさい

☞ 1. Nをください [Please give me (noun) / 请给我…]

- ① (レストランで) すみませんが、ソースをください。
- ② すみません、そのメモ用紙を1まいください。
- ③ (郵便局で) 80円の切手を5まいください。それから、はがきも3まいください。
- ④ 夜、うちに電話をください。

☞ 2. Vてください・Vないでください

[Please do (verb); please don't do (verb) / 请…・请不要…]

- ① あのう、もう少しゆっくり言ってください。
- ② 疲れたでしょう。ここでどうぞゆっくり休んでください。
- ③ ここに名前を書いて、事務所に出してください。
- ④ (立て札) ここにごみを捨てないでください。
- ⑤ すみません、そこに荷物を置かないでください。
- ⑥ (カラオケで) ぼくは歌がへただけど、わらわないでくださいね。



ポイント

1. ①～③は、人に依頼したり、勧めたり、軽く指示したりする言い方。
 2. ④～⑥は、禁止したり、人に何かをしないように頼む言い方。

1. Numbers ①-③ are used to request, suggest or direct someone gently.
 2. Numbers ④-⑥ are expressions of prohibition or requests for someone not to do something.

1. 例句①～③は表示请求他人、劝导他人、轻微指示他人进行某种行为的表达法。
 2. 例句④～⑥是表示禁止、要求别人不要进行某种行为的表达法。

✎ 3. Nをくださいませんか・Vてくださいませんか

[Would you please give me (noun)? Would you please do (verb)? / 请…好吗?]

- ① きれいな絵はがきですね。1まいくださいませんか。
 ② すみませんが、今月中にお返事をくださいませんか。
 ③ 上田さん、ちょっとこの文をチェックしてくださいませんか。
 ④ ちょっとテレビの音を小さくしてくださいませんか。

ポイント

1. 「Nをください」 2. 「Vてください」より丁寧な依頼や指示の言い方。

These are politer expressions of request or directions than 1. (Nをください) 2. (V-てください). 比1. 「Nをください」 2. 「Vてください」 更加有礼貌的表示请求、指示的说法。

✎ 4. おVください [Please do (verb) / 请…]

- ① (駅で) あぶないですから、黄色い線の内側にお下がりください。
 ② (空港のカウンターで) パスポートと航空券をお見せください。
 ③ (病院などで) 予約のある方は、10分前においでください。
 ④ (デパートで) 7階レストランへは、エレベーターをご利用ください。



ポイント

1. 公の場所^{おほびけ}でよく使われる勧め^{ばしょ}や指示^{つか}の簡潔^{すす}な言い方^{しじ}。自分^{かんけつ}のための依頼^{いい}には使わない^{かた}。

- ◆ { ×先生、わたしの作文^{さくぶん}をおなoshくください。
○先生、わたしの作文をなoshしてくださいませんか。

2. ③の「おいでください」は「来てください」の意味^{いみ}。

1. This concise expression is often used in public places as a recommendation or directive. It is not used for requests to benefit oneself. →◆

2. In number ③, おいでください means 来てください (please come here).

1. 在公众场合经常使用的表示劝导、指示的简洁的说法。不用于表示自己的请求。

→◆

2. 例句③「おいでください」是「来てください」的意思。

お + V ~~ます~~ / ご + する 動詞^{どうし}の N + ください

5. V (さ) せてください [Please let me do (verb) / 请让(我)]

- ① すみません、ちょっとその新聞^{しんぶん}をわたしにも読^よま^せて^くだ^さい。
② 市役所^{しやくしよ}へ行^いかな^けねば^らな^いので、きょうは早^{はや}く帰^{かえ}ら^せて^くだ^さい。
③ 後^{あと}で取^とりに来^きますから、ここ^こにち^ちょ^ちと^とか^かばん^{ばん}を置^おか^せて^くだ^さい。
④ その仕事^{しごと}はぜ^ぜひ^ひわ^わた^たし^しに^にさ^させ^せて^くだ^さい^ませ^んか。

ポイント

自分^{じぶん}が何^{なん}か^かを^をする^{する}ことを^を許^{ゆる}す^{よう}に^に相手^{あいて}に^に頼^{たの}む^い言^いい^{かた}方^{かた}。「動詞^{どうし}の使役形^{しやくけい}十^じて^くだ^さい」を^を使^{つか}う。

相手^{あいて}が^が許^{ゆる}す^{こと}を^を確^{かく}信^{しん}し^てい^る場^ば合^あい^ひ多^{おほ}い^く。 →18課2. 「V (さ) せます」の (ポイント) 2. (p181)

- ◆ { ・ ち^ちょ^ちと^と休^{やす}ま^せて^くだ^さい。(わ^わた^たし^しが^が休^{やす}む) [(I rest) / (我休息)]
・ ち^ちょ^ちと^と休^{やす}ん^でく^ださ^い。(あ^あい^いて^て 相^あ手^てが^が休^{やす}む) [(The other person rests) / (对方休息)]

This form is used to gain permission from someone to do something. It uses the "causative form + てください." In many cases, the pattern is used to verify that the listener grants permission for a certain action. →◆ → (ポイント) 2. in Lesson 18, 2. (V-(さ)せます), p.181

表示请求对方允许自己进行某种行为的说法。使用「动词的使役态+てください」。多用于已经确信对方会允许的情况。→◆
→第18课2. 「V(さ)せます」的 (ポイント) 2. (p181)

6. 命令形 [Imperative Form / 命令形]

- ① (交通標識) 止まれ
- ② (けんかをしている人に) 止めろ!
- ③ (父が子どもにおこって) しずかにしろ!
- ④ (友だち同士で) よかったら、今晚うちに来いよ。
- ⑤ (社長が社員に) あしたまでにレポートを出してくれ。



○命令の形 [Imperative Form / 命令形]

動詞Ⅰ (5段動詞) Group I -verbs (-u verbs)	会^あ ひ え → 会え 書^か き け → 書け 出^で し せ → 出せ 立^た た て → 立て 死^し ぬ ね → 死ね 飛^と ぶ べ → 飛べ 読^よ め め → 読め 乗^の る れ → 乗れ	あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの はひふへほ まみむめも や ゆ よ らりるれろ
動詞Ⅱ (1段動詞) Group II -verbs (-ru verbs)	いる ーろ → いろ 食べるーろ → 食べろ	
動詞Ⅲ (不規則動詞) Group III -verbs (irregular verbs)	する → しろ 来^くる → 来い	

ポイント

命令形で終わる文は、主に男性が人に強く命令する言い方。男性が親しい相手に誘いや勧めの意味で使うこともある。 → 11課 I - 5. 「命令形と（言います）など」 (p105)

Sentences that end in imperative forms are usually strong commands used by men. There are occasions when this form is used by men as a recommendation or invitation to a close friend. → Lesson 11, I-5. (命令形と(言います), etc.), p.105

以命令形结句的句子，多为男性强硬地命令他人时使用。男性邀请、劝诱关系亲近的朋友时也可以使用。→第11課I-5.「命令形と(言います)・等」(p105)

7. Vるな [Don't do (verb)! / 不准...]

- ① (立て札) 危険。入るな!
- ② (子ども同士で) ぼくのボールペンを使うな。
- ③ あきらめるな。最後までがんばれよ。
- ④ このことはぜったいに人に言うなよ。



ポイント

「Vるな」で終わる文は、主に男性が人に何かを禁止する命令の言い方。→11課I-5「命令形と(言います)など」(p105)

Sentences that end in V-るな are mainly used by men to command someone not to do something. → Lesson 11, I-5. (命令形と(言います), etc.), p.105

以禁止形「Vるな」结束的句子，多为男性命令他人禁止进行某种行为时使用。→第11課I-5.「命令形と(言います)・等」(p105)

8. Vなさい [You do (verb) / (命令句)]

- ① 父：7時だよ。早く起きなさい。
- ② 母：ご飯の前に手をあらいなさいよ。
- ③ 先生：あした、かならずこのプリントを持ってきたなさい。
- ④ 先生：字をもっときれいに書きなさい。

ポイント

主に、親→子ども、先生→生徒などの関係で、指示したりする言い方。

This is mainly a directive used by parents to children; teachers to pupils, etc.

主要用于父母→子女、老师→学生之间，表示指示。

∞ V~~ます~~ + なさい

コラム 3

しゅご きんにんしやう ふん

主語が三人称の文には気をつけよう [Watch Out for Sentences in Which Subjects Are in the Third Person/注意主語は第三人称的句子]

主語が三人称の文には、「気持ちや感覚・意志を表す表現」をそのまま文末に使うことはできない。

In sentences where the subject is in the third person, you cannot use expressions of feelings, sensations or volition unaltered at the end of the sentence.

主語は第三人称の句子，句尾不能直接使用“表达心情、感觉、意志的词汇”。

×林さんはこの車がほしいです。

×林さんは頭が痛いです。

きぼう あらわ ことば
希望を表す言葉

[Words that express hope/表达希望的词语]

ほしい、Vたい

いし
意志を表す言葉

[Words that express volition/表达意志的词语]

Vよう、～つもりだ

いし
意思を表す言葉

[Words that express will/表达意向的词语]

おも かんが
思う、考えるなど

かんじやう かんかく
感情・感覚を表す形容詞

[Adjectives that express emotions or sensibilities/表达感情、感觉的形容词]

うれしい、いやだ、痛い、眠いなど

これらの表現を使う場合は下の ことば ひつよう
の中のような言葉をつける必要がある。

You must append words like those in the box below when using the expressions above.

在使用这些词汇时，要加上 中の词语。

はやし
・林さんは { 車がほしい のです。
車を買いいたい ようです。
さびしい + らしいです。
いやだ そうです。
車を買うつもりだ と言っています。
この車はいいとおもっている

はやし
・林さんは { 車を買おう + と言っています。
この車はいいとおもう

はやし
・林さんは { 車がほしい 車をほしがっています。
車を買いいたい + がっています。 → 車を買いたがっています。
うれしい うれしがっています。
いやだ いやがっています。



問題Ⅰ () の中のことばを適当な形にして書きなさい。

- あした、かならずパスポートを①_____ください。(持つてくる)
- ここは禁煙ですから、たばこを②_____ください。(吸う)
- 申し込みの紙はこちらに③お_____ください。それから、お金は、3 番のカウンターで④お_____ください。(出す・払う)
- 帰るとき、コピー機のスイッチを⑤_____ください。でも、コンピューターのスイッチは⑥_____ください。(消す・切る)
- 危険だから、この川で⑦_____な。(泳ぐ)
- 試験のときは、えんぴつで⑧_____なさい。(書く)
- すみません。かぜをひいたので、あした⑨_____ください。(休む)
- 記念の写真をとりたいのですが、シャッターを⑩_____くださいませんか。(押す)

問題Ⅱ () の中のことばを適当な形にして、 の中のことばといっしょに使って書きなさい。

ください お～ください

- 客 : あのう、この花で花束を⑪_____。(作る)
店員 : はい、少々⑫_____。(待つ)
客 : 赤い花はあまり好きじゃないので、その赤い花は⑬_____。(入れる)
店員 : わかりました。

なさい な

- 母 : ここは車がたくさん通るから、ここに『危ない! ⑭_____!』と書いてあるでしょう。だから、あの信号のところで⑮_____よ。
(渡る・渡る)
子 : はい。

8

I 勧誘・申し出 II 提案

I. Invitations ; Offers II. Proposals

I. 勧誘・提出 II. 提案



知っていますか

a ませんか b ほうがいいですよ c どうですか d ましょうか e いいですか

1. A: お茶の時間ですね。コーヒーでも入れ_____。

B: ええ、おねがいします。

2. 音楽会のきっぷは早く買いに行った_____。

3. A: よしお君、おそいですね。 B: 携帯電話をかけてみたら_____。

4. A: いっしょに夏休みのホームステイに参加してみ_____。

B: いいですね。ぜひ行きたいです。

5. A: お金はいつまでに払えば_____。 B: 水曜日までに払ってください。



使えますか

1. A: 日曜日に映画を見に行きましょう。 B: { a いいですね。ぜひ行きましょう。
b いいですね。ぜひ行ってください。

2. A: 辞書がないんですか。貸してあげましょうか。

B: { a ええ、すみません。貸してください。
b いいですね。貸してあげましょう。3. A: この本、いいですよ。石田さんも { a 読んでみましょうか。
b 読んでみませんか。

B: ええ、ぜひ読みたいですね。

4. A: あのスポーツセンターは何曜日が休みでしょうか。

B: さあ、電話で { a 聞いてみたらどうですか。
b 聞いてみたほうがいいですか。

I 勧誘・申し出

[Invitations; Offers / 勧誘・提出]



1. Vましょう・Vよう
2. Vませんか
いっしょに行きませんか。
3. Vませんか
うちへ来ませんか。



4. Vましょうか
コーヒーを飲みましょうか。
5. Vましょうか
てつだいましょうか。

誘い [Invitations / 邀请]	誘い・勧め [Invitations; Recommendations / 邀请・劝诱]	申し出 [Offers / 提出]
I-1. Vましょう ○ I-4. Vましょうか ◎ I-2. Vませんか ◎ ええ、Vましょう ○ → ◎ → ◎ 相手の気持ちを考える度合いが強くなる [Degree to which the speaker thinks of the other party increases / 考虑对方情绪的程度越来越高]	I-3. Vませんか ええ、Vます	I-5. Vましょうか ええ、Vてください
いっしょにする [Do together / 一起做] 	相手がする [Other party acts / 对方做] 	話す人がする [Speaker acts / 说话人做] 



㊦ I-1. Vましょう・Vよう [Let us do (verb); Let's do (verb) / ...吧]

① A: じゃ、^{こんばん}今晚、7時にホテルのロビーで会いましょう。

B: ええ、じゃ、7時に。

② (立^たて札^{みだ}) 駅前^{えきまえ}に自転車^{じてんしゃ}を置くのはやめましょう。

③ A: 新しくできたスーパーへ行ってましょうか。

B: ええ、行きましょう。

④ 父^{ちち} : 食^{しょく}事ができたよ。さあ、食^くべよう。

子ども: はあい。

ポイント

相手^{あいて}の意向^{いこう}を聞くというより、積極^{せつぎよく}的に相手^{さへ}を誘^{さそ}う、またはそうするように呼びかけるときの使^{つか}い方^{かた}。また、③のように、「Vませんか」「Vましょうか」と誘われたときの答^{こた}え方として使う。

This usage is for actively inviting someone to do something rather than for just asking their intentions. It is used, as in number ③ as a response when invited with the pattern V-ませんか (Won't you do (verb) with me?) or V-ましょうか (Shall we do (verb)?).

与其说是征求对方意见、不如说是积极劝导对方或要求对方如何做时使用。回答「Vませんか」「Vましょうか」等邀请时也可以使用(如:例句③)

㊦ I-2. Vませんか [Won't you do (verb) with me? / 不…吗? 不一起…吗?]

① A: あした、花見^{はなみ}に行きませんか。

B: そうですね。行きましょう。

② A: いっしょにパソコン教室^{きょうしつ}に行きませんか。

B: そうねえ。わたしはちょっと……。

③ A: 今晚^{こんばん}、うちでいっしょにすきやきを食^くべませんか。

B: ええ、いいですね。

ポイント

1. いっしょにすることを誘^{さそ}う言^いい方^{かた}。I-4. 「Vましょうか」と同^{おな}じように使^{つか}うが、相手^{あいて}の気持^{きもち}ちを考^{かんが}える度^ど合^あい^{つよ}が強い。

2. 相手がその行為をするかどうか聞くことによって誘う言い方。だから、疑問詞といっしょには使わない。

- ◆ { ×だれと行きませんか。
×何時に出発しませんか。

1. This form is used to ask someone to join one in doing something. It is used in the same way as I-4. (V.ましょうか), but gives more consideration to the other party.
2. This pattern is used to ask whether the listener would like to do a certain action. Thus, it cannot be used with an interrogative. →◆
1. 邀请对方一起做某事的表达法。与 I-4. 「V しましょうか」用法基本相同，但更多地考虑对方的情绪。
2. 以询问对方是否做某事的方式邀请，所以不和疑问词一起使用。→◆

🌸 I-3. Vませんか [Won't you do (verb)?/…吧]

- ① A: このボランティアの仕事、あなたもやってみませんか。
B: そうですね。
- ② A: 土曜日にうちでバーベキューをするんだけど、来ませんか。
B: いいですね。ぜひ行きます。
- ③ A: 上田さん、茶道に興味があるんですか。うちのクラブに入りませんか。
B: そうですね。1 週間に 1 回ですか。

ポイント

相手にその行為を勧める言い方。この言い方は、I-4. 「V ましょうか」で置き換えることができない。

This pattern is a suggestion of action for the listener. It cannot be used interchangeably with I-4. (V.ましょうか).

劝导对方进行某种行为的表达方式。不能和 I-4. 「V ましょうか」互换使用。

🌸 I-4. Vましょうか [Shall we do (verb)?/…吧]

- ① A: もう 4 時ですね。お茶にしましょうか。

B: ええ、いいですね。

② ちょっと風が強くなってきましたね。そろそろ帰りましょうか。

③ 夫: 子どもたちにおみやげを買って帰ろうか。

妻: そうね。何がいいかしら。

④ A: 桜が咲きましたね。みんなで見に行きませんか。

B: いいですね。どこへ行きましょうか。

A: 上野公園がきれいですよ。

B: じゃ、そこへ行きましょう。リンさんもさそいましょう。

ポイント

1. いっしょにすることを誘う言い方。

2. 自分がしていることや、する予定のことに相手を誘う場合は、使わない。

- ◆ {
- × このチーズ、おいしいですよ。田中さんも食べましょうか。
 - このチーズ、おいしいですよ。田中さんも食べませんか。

1. This expression is used to invite someone to do something with the speaker.

2. It is not used when inviting the listener to do what the speaker is doing or plans to do. →◆

1. 勧誘对方一起做某事的表达方式。

2. 不用于邀请对方做自己正在做或将要做的
事情。 →◆

🌸 I - 5. V ましょうか [Shall I do (verb)? / ...吧]

① A: 暗いですね。電気をつけましょうか。

B: あ、おねがいします。

② (せきが止まらない人に)

A: せき、だいじょうぶですか。水をあげましょうか。

B: すみません。1 杯ください。

③ A: これ、コピーしましょうか。

B: いえ、いいです。後で、わたしがしますから。

④ A: いそがしそうですね。てつだおうか。

B: すみません、てつだってください。

ポイント

相手に誘うのではなく、「わたし」が相手のために何かすることを申し出る言い方。答え方は依頼の言い方になる。

This is not used to solicit the listener but is used to propose that the speaker (I) do something for the listener. The response will be in request form.

不是邀请对方做什么、而是“我”提出要帮助对方做些什么时使用的表达方式。回答时使用表示请求的表达方式。

Ⅱ 提案 [Proposals / 提案]



1. Vたほうがいいです・Vないほうがいいです
2. Vたらどうですか
3. 疑問詞＋Vたらいいですか・疑問詞＋Vばいいですか
4. Vるといいです・Vたらいいです・Vばいいです

Ⅱ-1. Vたほうがいいです・Vないほうがいいです

[It would be best to do (verb); it would be best not to do (verb) / 最好…・最好不…]

- ① A: このへや、空気が悪いですね。少しまどを開けたほうがいいですよ。
B: そうですね。ちょっと開けましょう。
- ② A: ダイエットのためには、ちゃんと食べてから運動したほうがいいですよ。
B: そうですか。
- ③ 息子: お父さん、あまりタバコを吸わないほうがいいですよ。
父: そうだね。
- ④ 母: 雨が降りそうだから、かさを持っていってたほうがいいですよ。
子ども: はい。
- ⑤ A: 危ないから、あまりバイクには乗らないほうがいいよ。
B: わかってるよ。

ポイント

1. 自分の意見や一般的な意見を相手に提案したり、勧めたりする言い方。そうするかしないかは、
相手が判断して決めることだが、⑤のように、命令に近い意味になる場合もある。

2. 目上の人に指図をするような意味では使わないほうがいい。

◆×先生、もっといいに教えたほうがいいですよ。

1. This is used to propose or recommend, to the listener, the speaker's opinions or public opinion. Although it is up to the listener to decide whether to reject or accept the proposal, there are cases, as in number ⑤, when it is close to being a command.

2. It is best not to use this form to instruct superiors. →◆

1. 向对方提出自己的看法、一般性意见时使用。
是否听从劝告由对方来决定、但是象例句
⑤那样接近命令意义的情形也能使用。
2. 对上级最好不用表示吩咐的说法 →◆

II-2. Vたらどうですか [How about doing (verb)?/…怎么样?]

① A: すみません、3番のバスはどこから出ますか。

B: さあ、あそこの案内所で聞いたらどうですか。

A: ありがとうございます。

② A: このごろ体の具合がよくないんです。

B: そうですか。病院へ行ってみたらいかがですか。

③ A: バイト、そんなに大変なら、やめたらどうですか？

B: やめられないんですよ。

④ 妻: もう10時よ。ひと休みしたら？

夫: そうだね。そうしよう。



ポイント

1. II-1. 「Vたほうがいいです」より直接的に、ある行動をするように相手に提案する言い方。

2. 「Vたら」の作り方。 →16課 1. 「～たら」(p155)

1. This pattern is more direct than II-1.(V-たほうがいいです) for proposing a certain action to the listener.
2. How to make V-たら. → Lesson 16, 1. (～たら), p.155

1. 比 II - 1. 「V たほうがいいです」更直接地表达提议对方做某事。
2. 「V たら」的构成法。
→ 第16课 1. 「～たら」(p155)

ぎもんし II - 3. 疑問詞＋V たらいいですか・疑問詞＋V ばいいですか [Interrogative + should (I) do (verb) ? / … 怎么办? … 好?]

- ① A: 予約をキャンセルしたいんですが、どうしたらいいですか。
B: お名前は?
- ② A: この本はいつまでに返せばいいですか。
B: 来週の水曜日までに返してください。
- ③ A: 東京タワーへ行きたいんですが、どこで降りればいいですか。
B: K 駅で降りたらいいですよ。
- ④ A: すきやきを作りたいんですが、肉のほかに何を買ったらいいですか。
B: 野菜と豆腐と……。



ポイント

1. 相手に指示を求める言い方。
2. 「V たら」「V ば」の作り方。 → 16 課 1. 「～たら」、2. 「～ばなど」(p156)

1. This construct is used to seek direction from others.
2. How to make V-たら, V-ば. → Lesson 16, 1. (～たら); 2. (～ば, etc.), p.156

1. 表示请示对方如何做的表达方式。
2. 「V たら」「V ば」的构成法。 → 第16课 1. 「～たら」、2. 「～ば・等」(p156)

II - 4. V るといいです・V たらいいです・V ばいいです

[It would be a good idea to do (verb); you could do (verb); how about doing (verb)? / … 就好、… 就可以]

- ① クリーニング屋なら、A 店に行くといいです。サービスがいいから。
- ② 山本さんに用事があるんですか。じゃ、ここにメモしておいてたらいいですよ。

- ③ インターネットのことなら、山田^{やま だ}さんに聞けば^{いい}ですよ。

ポイント

1. そうすることがいい案^{あん}だと言^いって、勧^{すす}める言^{かた}い方。
2. 「Vたら」「Vば」「Vと」の作^{つく}り方。 → 16課 1. 「～たら」、2. 「～ばなど」、3. 「～と」 (p158)

1. This expression says the proposal is a good one and that the speaker recommends it.

2. How to make V-たら, V-ば and V-と.

→ Lesson 16, 1. (～たら), 2. (～ば, etc.),
3. (～と), p.158

1. 劝慰对方这样很好、这样做即可的表达方式。

2. 「Vたら」「Vば」「Vと」的构成法。

→ 第16课 1. 「～たら」、2. 「～ば・等」、

3. 「～と」 (p158)



問題Ⅰ 中の^{てきとう}適当なことばを書きなさい。1つのことばは1回しか^{かい}^{つか}使いません。

行きましょうか 行きませんか 聞きましょうか 聞いたらどうですか

A: あさって、イタリア料理^{りょうり}を^た食べに①_____。

B: いいですね。行きましょう。どこに②_____。

A: 駅前^{えきまえ}の新しいレストランはどうですか。

B: あそこは、あさっては休みかもしれませんね。わたしが電話で③_____。

A: ええ、おねがいします。

B: 小さい子どもを連れていってもだいじょうぶでしょうか。

A: さあ、どうでしょうか。それも電話で④_____。

B: ええ、そうします。

問題Ⅱ () 中の^{てきとう}^{かたち}ことばを適当な形にして、 中のことばといっしょに^{つか}使って書きなさい。

ませんか ましょうか

1. A: 土曜日^{どようび}の午後、うちへ⑤_____。(来る)

B: ええ、いいですね。ぜひ。何か^か買って⑥_____。(いく)

A: そうですね。じゃ、飲み物^のをおねがいします。

たらどうですか ほうがいいですよ たらいいですか

2. A: そこは社長^{しゃちょう}が車を^と止めるところだから、⑦_____。(止める)

B: あ、そうですか。どこに⑧_____。(止める)

A: あの建物^{たてももの}の横^{よこ}に⑨_____。あそこなら、だいじょうぶです。(止める)



知っていますか

- a しても b しなくては c では d しては e しなくても
1. 旅行は来月ですから、まだ用意を _____ いいです。
 2. 試験のとき、となりの人と相談 _____ いけません。
 3. この池でつりを _____ いいですか。
 4. パスポートは自分で取りに来てください。ほかの人 _____ いけません。
 5. 赤ちゃんが寝ていますから静かに _____ いけません。



使えますか

1. A: ここに車を止めてもいいですか。 B: { a はい、どうぞ。
b はい、止めてはいけません。
2. A: 音楽会の会場で携帯電話を { a 使ってもかまいませんか。
b 使わなくてもいいですか。
B: いいえ、携帯電話は使わないでください。
3. A: アンケートの答えは英語 { a ではいけない
b でなくてもいい } でしょうか。
B: いいですよ。どうぞ、英語で書いてください。
4. A: 子どももきつぷを { a 買わなければなりませんか。
b 買わなくてもいいですか。
B: はい、子どももきつぷが必要です。
5. A: 展覧会では、絵に { a さわってはいけませんよ。
b さわらなくてもかまいませんよ。
B: はい。さわりません。気をつけます。

きょ か きん し ぎ む ふ ひつよう
許可・禁止・義務・不必要

[Permission; Prohibition; Obligations; Lack of Necessity / 許可・禁止・义务・不必要]



1. ~てもいいです・~てもかまいません・~でもいいです・~でもかまいません
(1) ^{つか}使ってもいいですか。
(2) 何でもいいです。
2. ~てはいけません・~ではいけません
3. ~なければなりません・~なければいけません・~なくてはなりません
・~てはいけません
4. ~なくてもいいです・~なくてもかまいません
(1) 行かなくてもいいです。
(2) じょうずでなくてもいいです。

🌸 1. ~てもいいです・~てもかまいません・~でもいいです・~でもかまいません (1)

[It is all right to; it doesn't matter if you... (1) / 可以... 可以・没关系(1)]

① きょうの^{かいぎ}会議は303号室^{ごうしつ}を使^{つか}ってもいいですよ。

② A: ^{はい}入ってもいいですか。

B: ええ、どうぞ。

③ 学生: 授業^{じゅぎょう}中に飲み物^{の もの}を飲んでもかまいませんか。

先生: いいえ、授業中には飲まないでください。

④ 父: 子どもの運動会^{うんどうかい}のとき、ビデオをとってもかまいませんか。

先生: ええ、いいですよ。どうぞ。



ポイント

1. 許可^{きょ}を求めたり、与えたりする言い方^{もとめ}。主^{あた}に動詞^いにつく。主語^{かた}は普通^{おも}、省略^{どうし}される。求めに對^{しゅご}しての答え^{ふつう}は「はい、V^{しょうりやく}てもいいです」「いいえ、V^{つか}てはいけません」より②③④のように「はい、どうぞ。V^{つか}てください」「すみませんが、V^{つか}ないでください」を使う^{おお}ことが多い。



2. 先輩や目上の人に対して「Vてもいいです」「Vてもかまいません」を使わないほうがいい。

- ◆ { ×先生、わたしのカメラを使ってもいいです。
○先生、どうぞわたしのカメラを使ってください。

3. 「Vてもかまいませんか」は自分の行為が支障がないかどうか聞く言い方で、「Vてもいいですか」より遠慮した聞き方である。

1. This expression is used to seek or give permission. It is mainly appended to verbs. The subject is usually omitted. The response to the request is most often expressed using patterns such as those in numbers ②, ③ and ④: はい、どうぞ。Vてください (Yes, please, go ahead) or すみませんが、Vしないでください (I'm sorry, please don't (verb)) rather than はい、Vてもいいです (Yes, you may...) or いいえ、Vてはいけません (No, you may not...).

2. It is best not to use the constructs V-もいいです or V-てもかまいません (you may, or you may not) toward those older or more experienced than you. →◆

3. The form V-てもかまいませんか (would it matter if I...?) is a question used to ask whether one's actions will cause problems and is more reserved and polite than V-てもいいですか (may I...?)

1. 请求对方许可或者允许对方做某事时使用。前接动词。主语经常被省略。对于请求的回答，比起「はい、Vてもいいです」「いいえ、Vてはいけません」，更多地使用「はい、どうぞ。Vてください」「すみませんが、Vしないでください」(如：例句②③④)。

2. 对长辈、上级最好不使用「Vてもいいです」「Vてもかまいません」这样的说法。

→◆

3. 询问自己的行为是否影响对方时使用「Vてもかまいませんか」这一表达法。这种表达法比「Vてもいいですか」更客气。

🔗 Vて + もいいです・もかまいません

🌸 1. ~てもいいです・~てもかまいません・~でもいいです・~でもかまいません (2)

[Even if ... it's all right; it doesn't matter even if... (2) / 可以... 也行 (2)]

- ① アパートをさがしているんです。せまくてもいいんですが……。いいへやはありませんか。
② かんたんでもいいから、駅からの地図を書いてください。
③ 何時になってもいいから、かならず今夜電話をください。
④ A: お昼ご飯は何を食べましょうか。

B: わたしはおそばでも、カレーライスでも、何でもいいですよ。

ポイント

1. 譲歩を表す言い方。 → 4. 「～なくてもいいですなど」(2)
2. ③④は「疑問詞＋～てもいいです」の形で「どの場合もだいじょうぶ」の意味に使う。

1. This phrase indicates concession.

→ 4. (～なくてもいいです, etc.)(2)

2. Numbers ③ and ④ are used with the nuance of "all right in all cases" when in the form of "interrogative + てもいいです."

1. 表示让步。

→ 4. 「～なくてもいいです・等」(2)

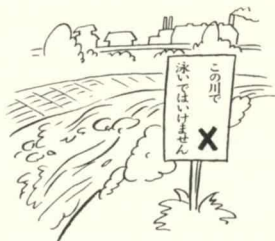
2. 例句③④使用「疑問詞＋～てもいいです」这一形式，表示「在什么情况下都没有问题」。

🔗 Vて＋もいいです イA~~は~~く＋てもいいです ナA/N＋でもいいです

2. ～てはいけません・～ではいけません

[(You) must not...; cannot be... / 不准..., 不要..., 不许...]

- ① (立て札) ここは危険です。この川で泳いではいけません。
- ② 病院の中で携帯電話を使っではいけないんです。
- ③ 図書館の電気は暗くではいけません。
- ④ 証明書の写真はスピード写真ではいけませんか。



ポイント

1. 禁止や規制を表す言い方。教師が生徒に対して、または親が子に対して注意をしたり公のルールを示したりするときなどに言う。
2. ④のように「～てはいけませんか」は、1. 「～てもいいですか」と同じように許可を求める言い方であるが、もっと遠慮しながら聞く言い方である。
- ② それ、さわっちゃいけないよ。

1. This pattern is used for prohibition and regulations. It is used by teachers toward pupils; parents toward children, and for indicating public rules.

2. The expression ～てはいけませんか (Can't I...?) is similar to 1. (～てもいいですか (may I...?)), as in number ④ in that it seeks permission, but is more polite and reserved.

1. 表示禁止、规定的说法。可以用于老师对学生、父母对子女加以管教，也可以表示公共规则。

2. 象例句④那样，「～てはいけませんか」和1.「～てもいいですか」一样，都是表示请求许可的说法，但是比1.「～てもいいですか」更委婉。

∞ Vて +はいけません イA~~は~~く +てはいけません ナA/N +でははいけません

3. ～なければなりません・～なければいけません・ ～なくてはなりません・～なくてはいけません

[Must…/必須…，要…]

- ① あした、へや代を払わなければなりません。
- ② あすの朝早く起きなければいけないので、お先に失礼します。
- ③ (市役所で)
A: 来月、また来なくてはなりませんか。
B: ええ、すみませんが、来月もう1回来てください。
- ④ 作文は400字以上でなければいけません。短くてはいけません。
- ⑤ 保証人は社会人でなくてはなりません。
- ⑥ 安心して住めるように、町や公園は安全でなければなりません。

ポイント

1. 義務や必要なことを表す言い方。主語は省略されることが多い。
2. 「～なければなりません」より「～なければいけません」のほうが個人的なことを言うときに使うことが多い。
- ㉞ ・もっと早く帰ってこなくちゃ。夜の道は危ないんだから。
・もう5時だ。たいへん、早く行かなきゃ。

1. This phrase expresses obligation or necessity. The subject is often omitted.
2. The pattern ～なければいけません is used more often when speaking about something personal than is ～なければなりません.

1. 表示义务、一定要怎样的说法。主语经常被省略。
2. 与「～なければいけません」相比，「～なければなりません」更多地用于表达个人的事情。

∞ Vな~~は~~ +ければなりません イA~~は~~くな~~は~~ +ければなりません
ナA/N +でなければなりません

4. ～なくてもいいです・～なくてもかまいません(1)

[Don't have to...; it's all right if you don't... (1) / 不…也可以, 不…也没关系(1)]

- ① A: あしたも来なければなりませんか。
B: いいえ、きょう仕事^{しごと}が全部^{ぜんぶ}できたから、あしたは来なくてもいいですよ。
- ② A: このことはきょう決^きめなくてもかまいませんか。
B: ええ、かまいませんよ。ゆっくり^{かんが}考えてください。
- ③ 医^い者^{しや}: 熱^{ねつ}が下^おがったから、もう薬^{くすり}を飲^のまなくてもいいです。
- ④ 森^{もり}さんにファックスを送^{おく}りましたが、電話^{でんわ}はかけなくてもいいでしょうか。

ポイント

1. そうする必要^{ひつよう}はないという言い方^{い かた}。
2. 「～なくてもかまいませんか」は支障^{ししょう}がないかどうか聞^きく言い方^{い かた}である。
- ㊟ 毎日、行^いかなくたっていいよ。

1. This construction means it's not necessary to do something.
2. The question form ～なくてもかまいませんか, is used to ask if something will cause a problem.

1. 表示没有必要的说法。
2. 询问是否影响对方时使用「～なくてもかまいませんか」。

4. ～なくてもいいです・～なくてもかまいません(2)

[It's all right even if it isn't...; it doesn't matter even if it isn't... (2) / 不…也行, 不…也可以(2)]

- ① 1日^{いちにち}だけですからホテルのへやは広^{ひろ}くなくても、きれい^{きれい}でなくてもいいです。
- ② 使^{つか}わないものがあつたらバザーに出^でしてください。新^{あたら}しくなくてもかまいません。
- ③ 医^い者^{しや}: 毎日^{まいにち}でなくともいいから、もつと運動^{うんどう}をしてください。
- ④ 絵^えをかい^かいて説^{せつ}明^{めい}してください。絵^えはじょうずでなくともかまいませんから。

ポイント

譲^{じやうは}歩^あを表^{あらわ}す言い方^{い かた}。 → 1. 「～てもいいですなど」(2)

- ㊟ じょうずじゃなくたっていいよ。



問題Ⅰ () の中のことばを^{てきとう かたち}適当な形にして書きなさい。

1. 地図^{ちず}をファックスで① _____ もいいですか。(送る^{おく})
2. ここにごみ^{ごみ}を② _____ はいけません。(捨てる^す)
3. A: あした、いそがしいから7時半ごろ来ましょうか。
B: そんなに早く③ _____ もいいですよ。9時でいいですよ。(来る)
4. A: では、みなさん、アンケートを書いてください。
B: 名前は④ _____ もかまいません。(書く)
A: ええ、名前はいりません。
それから、⑤ _____ もいいから、理由^{りゆう}のところも書いてください。(短い^{みじか})
C: 先生、英語^{えいご}で書いてはいけないでしょうか。
A: いいですよ。⑥ _____ もかまいません。(英語^{えいご})

問題Ⅱ () の中のことばを^{てきとう かたち}適当な形にして、 の中のことばと^{つか}いっしょに^{つか}使って書きなさい。

なければなりません なくてもいいですか でなくてもいいです てはいけません

1. 花屋^{はな や}の客^{きやく}: この花^{はな}には毎日水をやるんですか。
花屋の人: いいえ、⑦ _____ よ。(毎日)
2. (旅行^{りょこう}の説明会^{せつめいかい}で)
旅行会社^{りょこうがいしゃ}の人: パスポートがない方^{かた}は⑧ _____ から、どうぞ、用意^{ようい}をおねがいします。(取る^と)
A : ビザは⑨ _____。(取る^と)
旅行会社の人: はい。アメリカはビザはいりません。
3. A : 先生^{ししよ}、辞書^{じしょ}を見てもいいですか。
先生: いいえ、テストですから、辞書^{じしょ}を⑩ _____ よ。(見る)



知っていますか

a ようになりました b くなりました c なくなりました d きました e しました

1. 新しい地下鉄ができたので、会社に行くのに便利に_____。
2. 友だちができて、日本の生活がだんだん楽しくなって_____。
3. お客さまが来るので、へやをきれいに_____。
4. やっと英語の新聞が読める_____。
5. ユミさんは前はよく遅刻しましたが、このごろぜんぜん遅刻し_____。



使えますか

1. 早くこの会社をもっと { a 大きくしたいです。 b 大きくなりたいです。 }
2. 音楽室のピアノの音が { a 聞こえないようになりました。 b 聞こえなくなりました。 } もう練習が終わったのでしょうか。
3. 田中さんはおもしろいまんがをたくさん書いて { a 有名になりました。 b 有名にしました。 }
4. たくさん運動をしているので、最近、 { a やせました。 b やせるようになりました。 }
5. 最近、たばこを吸う人の数はだんだん { a 減っていった。 b 減ってきた。 }

答えはつぎのページにあります。

へん 変 化 か [Changes/变化]



1. イAくなります・～になります
2. イAくします・～にします



3. Vようになります・Vなくなります
4. Vてきます・Vていきます

🍵 1. イAくなります・～になります

[Become (イ-adjective); become... / 变得]

- ① スープにちょっとバターを入れると、おいしくなりますよ。
- ② この仕事が終わったら、少しひまになるとおもいます。
- ③ 父は退院して、今はすっかり元氣になりました。
- ④ A: きみはおとなになったら、何になりたいの。
B: サッカーの選手になりたい。
- ⑤ このごろ仕事が減って、前ほどいそがしくなった。

ポイント

人やものごとの状 態が**変わ**って、違った状態になることを表す (自動詞)。

This pattern shows that the condition of some person or thing has transformed into a different state. It is an intransitive verb.

表示人物、事物的状态**发生变化**，变为其他状态(自动词)。

🔗 イA ~~は~~ + くなります ナA / N + になります

🍵 2. イAくします・～にします

[Change into (イ-adjective) ...; make...; be... / 使...变得...]

- ① スカートを5センチぐらい短くしてください。
- ② (父が子どもに) もっとへやをきれいにしなさい。
- ③ お父さんのシャツをなおして、子どものシャツにしました。



- ④ このケーキ、ちょっと大きいから、半分にしてください。
 ⑤ カレーを作るの？ 子どもも食べるから、あまりからくしないでね。



ポイント

人が意志的にものごとの状態を変えることを表す（他動詞）。

This form shows that someone is intentionally changing the status of something. It is a transitive verb.

表示通过人为意志改变物质的状态(他动词)。

イA ~~⇒~~ +くします ナA/N +にします

3. Vるようになります・Vなくなります

[Become (verb); discontinue being (verb) / 变成…, 变得不…]

- ① やっとパソコンが使えるようになりました。
 ② 最近、日本の食事に慣れて、さしみが食べられるようになりました。
 ③ 来月からこの駅にも急行が止まるようになります。
 ④ 妹はよくマンガを読んでいましたが、このごろ小説を読むようになりました。
 ⑤ 工事が始まって、あの道は通れなくなりました。
 ⑥ いつも庭にあそびに来ていたねこが、このごろ来なくなりました。

ポイント

1. 能力や状況や習慣などの変化を言うときに使う。⑤、⑥のように以前の状況がそうでなくなったことを言うときには、「Vないようになります」より「Vなくなります」のほうがよく使われる。

2. 変化を表す動詞にはつかない。

- ◆ { ×このごろ運動しないので、太りました。
 ○このごろ運動しないので、太りました。
- ◆ { ×最近、車の事故が増えました。
 ○最近、車の事故が増えました。

1. This is used when one is expressing a change in ability, condition or customs. The form V-なくなります is used more often than V-ないようになります when the speaker is expressing that a condition that once existed no longer does, as in numbers ⑤ and ⑥.

2. This form is not appended to verbs that indicate change. →◆

1. 用于表示能力、状况、习惯等的变化。象例句⑤⑥那样表示变成与以前相反的状态时，经常使用「Vなくなります」，而很少使用「Vないようになります」。

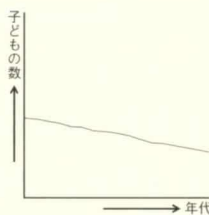
2. 不能跟在表示变化的动词后边。→◆

🔗 Vな~~な~~ + くなります

🌸 4. Vてきます・Vていきます

[Has come to (verb); will go on to become (verb) / …来;…去]

- ① 日本語の授業はだんだんむずかしくなってきました。
- ② 寒くなって、かぜをひく人が増えてきました。
- ③ (天気予報) 今夜から風と雨はだんだん強くなっていくでしょう。
- ④ 日本では子どもの数がだんだん減っていくだろうといわれています。
- ⑤ 新しい駅ができたので、この町の人々の生活は少しずつ変わっていくだろう。



ポイント

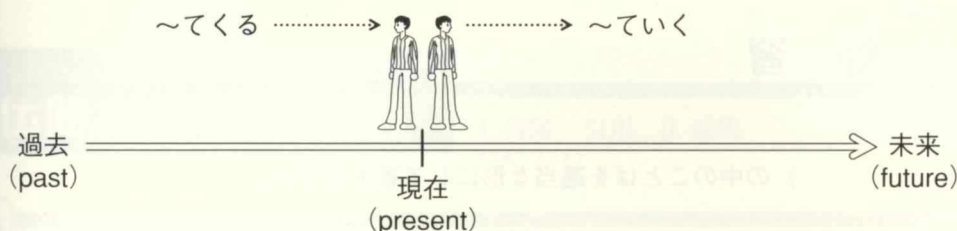
「Vてきます」は、過去から現在（話し手の見ている時点）まで変わり続けていることを表す。

「Vていきます」は、現在（話し手の見ている時点）から未来に向かって変わり続けることを表す。変化を表す動詞といっしょに使う。→まとめ5「Vていく・Vてくる」(p225)

The form V-てきます expresses the speaker's point of view that something has continued to change from the past until the present. The pattern V-ていきます shows, from the speaker's point of view, that change will continue into the future. Both are used with verbs that indicate change.

→ Important Grammatical Points 5: (V-ていく, V-てくる), p.225

「Vてきます」表示到目前（说话人认定的时间）为止连续发生的变化。「Vていきます」表示某种状况从现在（说话人认定的时间）开始发生的变化。与表示变化的动词一起使用。→小结5「Vていく・Vてくる」(p225)



コラム 5

意志か、無意志か [Volition? Non-Volition? / 意志・非意志]

I 意志動詞と無意志動詞 [Verbs of Volition and Non-Volition / 意志动词与非意志动词]

意志性の動詞 [Verbs of Volition] / 意志性动词	命令形・勧誘・可能動詞などの形になる [They become the imperative form, verbs of solicitation or potential. / 命令形、劝诱、可能动词等形式] 例 食べる、話す、書く、歌う、行く、歩く、泳ぐ、買う、売る、さがす、なおよす、頼む
無意志性の動詞 [Verbs of Non-Volition] / 非意志性动词	a 生物以外のものが主語になる動詞 [Verbs where something inanimate becomes the subject / 非生物作主语的动词] 例 止まる、冷える、なおよす、割れる、(電気が)つく、閉まる、光る
	b 自然現象を表す動詞 [Verbs that indicate natural phenomena / 表达自然现象的动词] 例 (花が)咲く、(風が)吹く、晴れる、(雨が)降る、くもる
	c 人の身体的な現象を表す動詞 [Verbs that indicate the agent's physical phenomena / 表达人体现象的动词] 例 つかれる、(かぜを)ひく、(のどが)かわく、(おなか)がすく
	d 人の心理的現象を表す動詞 [Verbs that indicate the agent's psychological phenomena / 表达人的心理现象的动词] 例 あきる、なれる

II 意志性が無意志性になる [Volition becomes Non-Volition / 意志性的动词变为非意志性动词]

意志性のある動詞でも可能動詞、受け身形、過去形などになれば、意志性は消える。

Even in cases of verbs of volition, if the verb is made into a potential verb, passive form or a past tense, the intentionality disappears. 具有意志性的动词变化为可能动词、被动形式使用时，其意志性随之消失。

- 例** 1. { ×よく寝るように、へやを暗くします。
 ○よく寝られるように、へやを暗くします。

(「ように」の前には意志性はこない)

[There is no volition preceding the pattern ように / 「ように」的前边不接意志性动词]

- 例** 2. { ×うれしくてすぐ手紙を書きます。
 ○うれしくてすぐ手紙を書きました。

(原因・理由を表す「～て」の後には意志性はこない)

[There is no volition after the pattern ～て indicating causes and reasons. / 表示原因、理由的「～て」的后边不接意志性动词]

れん
練しゅう
習

問題Ⅰ () の中のことばを^{てきとう}適当な形にして書きなさい。

1. にわの木がずいぶん① _____ になりました。(大きい)
2. 大きい仕事^{しごと}が終わったので、少し② _____ になりました。(ひま)
3. テレビゲームをしすぎて、目が③ _____ になりました。(わるい)
4. たくさん練習^{れんしゅう}したので、子どもは自転車^{じてんしゃ}に④ _____ ようになりました。(乗れる)
5. 前はスポーツをたくさんしましたが、このごろぜんぜん⑤ _____ になりました。(する)
6. へやのカーテンが⑥ _____ なったから、明る^{あか}い色^{いろ}の新^{あたら}しい⑦ _____ しました。(古い・カーテン)
7. あまいコーヒーが好きだから、もう少し⑧ _____ してください。(あまい)
8. 駅^{えき}の近く^{ちか}に店^{みせ}がたくさんできて、この町^{まち}はだんだんにぎやかに⑨ _____ きました。(なる)

問題Ⅱ の中から^{てきとう}適当なことばを^{えら}選んで書きなさい。

ようになりました きました になりました いくでしょう

1. ことし4月に社会人^{しゃかいじん}に⑩ _____ 。朝^{あさ}は早^{はや}く起^おきられる⑪ _____ 。仕事^{しごと}にも慣^なれて⑫ _____ 。これからはだんだん仕事^{しごと}が増えて⑬ _____ 。
2. A：日本語の勉強^{べんきょう}はどうですか。
B：だんだんむずかしくなって⑭ _____ 。でも、テレビのニュースは少^{すこ}しわかる⑮ _____ 。それから、やさしい本なら読むとき、辞書^{じしょ}をあまり見なく⑯ _____ 。
- A：そうですか。がんばりましたね。これからどんどんじょうずになって⑰ _____ ね。



知っていますか

a という b と c ように d そう e のは

1. ニュースによると、神戸で大きい地震があった____です。
2. 「トキ」____鳥を知っていますか。
3. はじめて会った人に「はじめまして。どうぞよろしく」____あいさつします。
4. 子どもがいつもコンピューターゲームをしているので、外であそぶ____言いました。
5. マリアさんが住んでいる____、あのアパートの3階です。



使えますか

1. きこのパーティーは { a にぎやかだったそうです。
b にぎやかだそうでした。 }
2. わたしは { a あの人はいい人です } とおもいます。
b あの人はいい人だ }
3. 花子に旅行の前の夜は早く { a 寝るように
b 寝ますように } 言ってください。
4. あしたテストが { a あるんですから } アルバイトは休みます。
b あるので }
5. あの辞書を買わなかったのは { a 高いですから。
b 高かったからです。 }

答えはつぎのページにあります。

I 伝聞・引用

[Hearsay; Quotes / 传闻・引用]



1. N₁というN₂



2. ～そうです

3. 「…」と(言います)・…と(言います)

4. ～ように(と)(言います)

* 命令形と(言います)・

禁止形と(言います)

✿ I-1. N₁というN₂ [(Noun)₂ called (noun)₁ / N₁叫N₂]

- ① むかしむかし、桃太郎という男の子がいました。
- ② 山口県の萩というところへ行ってきました。
- ③ わたしは小林というものですが、ラヒムさんという方はいらっしやいませんか。
- ④ ニュージーランドの「キウイ」という鳥はとてもかわいいです。
- * ⑤ 母から、来月日本へ来るという手紙が来ました。



ポイント

1. 話す人や相手がよく知らない人や物や場所の名を言うときの言い方。
- * 2. ⑤のように「～という」手紙、電話、ファックス、知らせなどのように、その内容を説明する言い方もある。
- ㊟ 「ミラノ」というイタリア料理の店を知らない？

1. This expression is used when giving the name of someone, something or a place the speaker or the listener does not know well.
- * 2. There are also instances, as in number ⑤, in which the pattern ～という explains the contents of letters, phone calls, faxes and messages, etc.

1. 表示不为人所知的人物、事物、場所的名称时使用。
- * 2. 也可以象例句⑤那样用「～という」说明信件、电话、传真、通知等的內容。



🌸 I - 2. ～そうです […hear that…/听说…]

- ① テレビの天気予報^{よほう}によると、あした台風^{たいふう}が来るそうです。
- ② 兄^{あに}の電話によると、きのう元気^{げんき}な男の子が生まれたそうです。
- ③ 新聞によれば、この町^{まち}にも新しい空港^{くうこう}ができるそうだ。
- ④ 友だちの手紙^{てがみ}では、ことしのスペインの夏^{なつ}はあまり暑^{あつ}くないそうです。



ポイント

1. 話す人が聞いたり、読んだりして得た情報^{じょうほう}を伝える伝聞^{でんぶん}の言い方^{い かた}。情報の出所^{でどころ}は「…によると」「…によれば」「…では」などで表す^{あらわ}。

2. 「～そうです」には過去^{かこ}や否定^{ひてい}や疑問^{ぎもん}の形^{かたち}はない。

- ◆ {
 - ×祖母^{そぼ}は若い^{わか}とき、きれいだそうでした。
 - 祖母^{そぼ}は若い^{わか}とき、きれいだったさうです。
- ◆ {
 - ×祖母^{そぼ}は背^せが高^{たか}かったさうではありません。
 - 祖母^{そぼ}は背^せが高^{たか}くなかったさうです。
- ◆ ×祖母^{そぼ}は背^せが高^{たか}かったさうですか。

3. 「～そうです」の「～」には「だろう・らしい・ようだ」は使^{つか}えない。

- ◆ {
 - (天気予報^{てんきよほう}) ことしの夏^{なつ}は暑^{あつ}いでしょう。
 - ×天気予報^{てんきよほう}によると、ことしの夏^{なつ}は暑^{あつ}いだらうさうです。
 - ○天気予報^{てんきよほう}によると、ことしの夏^{なつ}は暑^{あつ}いさうです。

1. This expression is used to convey information that the speaker has heard or read. The source of information is indicated by the patterns ～によると、～によれば and ～では (according to...).

2. The sentence suffix ～そうです does not take a past tense, negative or interrogative form. →◆

3. You cannot use the forms だろう, らしい and ようだ before そうです. →◆

1. 传达说话人听到、看到的信息的说法。信息的出处用「～によると」「～によれば」「～では」来表示。

2. 「～そうです」没有过去、否定和疑问形式。→◆

3. 「～そうです」的「～」部分不能使用「だろう・らしい・ようだ」等。→◆



普通形
plain form

+ そうです → 14課 I - 3 「～そうです(1)」(p133)



I-3. 「…」と（言います）・…と（言います）

[…said; said that…/说：“…”，说…]

- ① 花子さんは「サッカーの試合をはじめて見ました」と言いました。
- ② 母は「いち、に、さん」と言わないで「ひとつ、ふたつ、みっつ」と数えます。
- ③ 犬は「ワンワン」、ねこは「ニャーニャー」と鳴きます。
- ④ 英語の“Thank you”は日本語で「ありがとう」と言います。
- ⑤ 花子さんはサッカーの試合をはじめて見たと言いました。
- ⑥ 次郎は手紙に、お父さんに早く会いたいと書きました。
- ⑦ わたしは、きのうの漢字の試験はかんたんだったと思います。

ポイント

1. ①～④は直接話法。話された言葉をそのままの形で「」に入れて「と」で受ける。②、③のように「言う」以外の動詞でも使う。
2. ⑤～⑦は間接話法。言った内容を「」に入れないで「と」で受ける。
3. 直接話法を間接話法にすると、人称の言い方や視点のある動詞「行く-来る」なども変わる。

- ◆ { ・林さんは「わたしは来週あなたの家に行きます」と言いました。
 ・林さんは、来週わたしの家に来ると言いました。

- ㊦ ・あの子はほくに「こんにちは」って言ったよ。
 ・コアラを見たとき、かわいいなって思った。

1. Numbers ①-④ show direct quotation. The quote is inserted unchanged in special quote brackets 「」 and the word と is appended. Verbs other than 言う can also be used, as is done in numbers ② and ③.
2. Numbers ⑤-⑦ are indirect quotes. They use the word と and are not put in brackets (「」).
3. When a direct quote is made into an indirect one, the person (first, second, third) and verbal point of view (行く-来る) also changes. →◆

1. 将说出的话原封不动地放在「…」里后接「と」(如：例句①～④)。直接引用的表达方式。也可以象例句②③那样使用「言う」以外的动词。
2. 例句⑤～⑦是间接引用，说出的话后边直接跟「と」而不放入「」中的表达法。
3. 将直接引用变成间接引用时，人称、方向动词「行く-来る」等也要发生变化。

→◆

「…」／**普通形** plain form 十と

🌸 I - 4. ～ように（と）（言います） […tell someone to do…／要…]

- ① 先生はタンさんに字をもっときれいに書くように言いました。
- ② 父の手紙にはいつも早く国へ帰るようにと書いてあります。
- ③ 母は姉に会社の帰りに本を買ってくるようにたのみました。
- ④ お医者さんはタンさんに酒を飲まないようにと注意しました。

ポイント

1. 間接話法で依頼、指示、忠告などの内容を示す言い方。後ろには「言う、書く、頼む、お願いする、注意する、命令する」などの動詞がくる。

- * 本来、命令などの内容を伝える言い方なので、そのままの形では目上の人に対して使わないほうがいい。

- ◆ { △わたしは先生に、ゆっくり話すようにおねがいしました。
○わたしは先生に、ゆっくり話してくださるようにおねがいしました。

1. This construct is used to make requests and give directions or advice in indirect address. Verbs such as 言う(to say), 書く(to write), 頼む(to ask), お願(たの)いする(to request), 注意(ちゅうい)する(to warn), or 命令(めいれい)する(to command) come after this construction.

- * 2. Since this form is basically used to convey commands, it should not be used in addressing social superiors. →◆

1. 用间接引用表示请求、指示、忠告等内容的说法。后接「言う、書く、頼む、お願いする、注意する、命令する」等动词。

- * 2. 由于本身是传达命令等内容，故此最好不要直接对上级使用。→◆



Vる・Vない＋ように（と）



I - 5. 命令形と（言います）・禁止形と（言います）

[Giving imperatives; stating prohibitions／让…・不准…]

- ① 森先生は、若いときに本を読めとおっしゃいます。
- ② 母の手紙にはいつも体をたいせつにしろと書いてあります。
- ③ 父はよく、たばこを吸うなと言います。



ポイント

かんせつ わ ほう ちゅうこく めいれい かんけつ い かた
間接話法で忠告、命令などを簡潔に示す言い方。

This pattern is used as a concise way to express in indirect address warnings or commands.

用间接引用简洁地表示忠告、命令等。

Ⅱ 説 明

[Explanations / 説明]



1. ~のです
2. ~のは~です

Ⅱ-1. ~のです [It is a fact that... / …的]

- ① 来月わたしはスイスに行きます。スイスで絵本の展覧会があるので、それに出席するのです。
らいげつ わたしは スイス に 行きます。 スイス で 絵本 の 展覧会 があるので、 それ に 出席 する の です。
- ② A: 中山さん、今週中にこの仕事をおねがいしたいんですが……。
なかやま さん、 今週 中 に この 仕事 を おねが い したい ん だ ン が ……。
 B: すみません。今週は時間がないんです。
すみません。 今週 は 時間 が ない ん だ ン です。
- ③ A: 何かいいことがあったんですか。うれしそうな顔をして……。
何か いい こと が あった ん だ ン です か。 うれし そう な 顔 を し て ……。
 B: あした、マリアさんとドライブに行くんです。山中湖まで。
あした、 マリア さん と ドライブ に 行く ん だ ン です。 やまなか こ まで。
- ④ (田中さんが帰る準備をしているのを見て)
たなか さんが 帰る 準備 を し ている の を 見 て)
 A: あ、田中さん、もう帰るんですか。
あ、 たなか さん、 もう 帰る ん だ ン です か。
 B: すみません、きょうは妻の誕生日なんです。
すみません、 きょう は 妻 の 誕生日 な ん だ ン です。
- ⑤ A: いいセーターですね。あなたが編んだんですか。
いい セーター ですね。 あなた が 編んだ ん だ ン です か。
 B: いいえ、わたしが編んだんじゃないんです。母が編んだんです。
いいえ、 わたし が 編んだ ん じゃ ない ん だ ン です。 母 が 編んだ ん だ ン です。
- ⑥ 行きたくないから行かないのではありません。きょうはほんとうに用事があるのです。
行きたくない から 行かない の で は あり ませ ん。 きょう は ほんとう に 用事 が ある の だ ン です。

ポイント

- (1)ある事情を説明したり理由を言ったりするとき、(2)見たり聞いたりしたことから判断したことが、正しいかどうか確認するとき、(3)説明を求めるときなどに使う。
- 「～ではありません」は⑤⑥のように、ある部分だけ（⑤わたしが、⑥行きたくないから）を否定したいときに使う。
- 話す人と相手の間で、ある話題について共通の認識をもつ前に「～んですから」の形で使うのは不自然である。

- ◆ { ×あした父が来るんですから、空港へむかえに行きます。
○あした父が来ますから、空港へむかえに行きます。

㊦ 例文②～⑤

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> This form is used when the speaker wishes to explain a certain fact or give a reason (1), verify if something he or she has seen or heard is true (2), or to seek an explanation (3). The phrase ～ではありません, as in numbers ⑤ and ⑥, is used when one wishes to negate only certain sections of a sentence (わたしが in number ⑤ and 行きたくないから in number ⑥). It would be unnatural to use the form of ～んですから before finding a common point between speaker and listener on a particular subject. →◆ For colloquial use, see examples ②～⑤. | <ol style="list-style-type: none"> (1)説明事情、理由、(2)確認対所見所聞作的判断、(3)要求对方加以说明等情况下使用。 象例句⑤⑥那样、「～ではありません」也可以用于只对一部分（⑤わたしが、⑥行きたくないから）进行否定说明。 「～んですから」的形式一般不用在说话人与听话人之间对某话题拥有共同认识的表达法之前。→◆ 口语体请参照・例句②～⑤。 |
|--|---|

普通形
plain form

+ のです

例外 ナA~~だ~~→ナAな / N~~だ~~→Nな + のです

II - 2. ～のは～です [The reason...is because...; it is...that... / ...是...]

- 田中さんのうちに行ったのは、先週の水曜日です。
- 試合に負けたのは、練習がたりなかったからです。
- アルバイトをしているのは、旅行をするためです。
- 電話をもらったのはチンさんのお母さんからです。チンさんからではありません。
- あんないい人と別れるのはどうしてですか。

ポイント

事実 じじつ のは **説明・理由・強調したいこと** せつめい りゆう きょうちよう です。

A fact fact のは explanation, reasons, what you want to emphasize explanation, reasons, what you want to emphasize です。 | **事実** じじつ のは 説明・理由・想要强调的事项 せつめい りゆう きょうちよう です。



普通形
plain form

＋のは～です **例外** ナA~~だ~~→ナAな／N~~だ~~→Nな ＋のは～です



れん 練 しゅう 習

問題 I _____ にひらがなを1字書きなさい。

1. 林^{はやし}さんの話^{はなし}① _____ は、森^{もり}さんは英語^{えいご}の先生^{せんせい}② _____ そうです。
2. マリは空港^{くうこう}で「さようなら。毎日^{まいにち}、手紙^{てがみ}を書きます」③ _____ 言いました。
3. A: 田中^{たなか}さん、きょうは元気^{げんき}がありませんね。どうした④ _____ ですか。
B: あたまが痛い⑤ _____ です。
A: ああ、あたまが痛い⑥ _____ 、きのう、お酒^{さけ}をたくさん飲^のんだからでしょう。
4. A: おや、大きいかばんを持^もって……。また、アメリカ^{アメリカ}に行く⑦ _____ ですか。
B: いえ、先月^{せんげつ}行^いった⑧ _____ はアメリカじゃなくて、カナダ^{カナダ}ですよ。
5. この漢字^{かんじ}は「はし」⑨ _____ 読みます。
6. 「シルバーシート」という⑩ _____ は、お年^{とし}よりや体^{からだ}のよわい人のための席^{せき}です。

問題 II ^{ただし}正さんがお母^{おと}さんから届^{てがみ}いた手紙^{てがみ}のことをほかの人に話^{はな}しています。_____ に適^{てきとう}当なことを書きなさい。

お母さん
の手紙

^{ただし}正さん、
元気^{げんき}ですか。うちではみんな (例) 元気です。……。
健^{けん}さんたちは⑪ 正がいなくなったので、さびしいと言って⑫ いますよ。
来月^{らいげつ}、⑬ わたしも東京^{とうきょう}に⑭ 行きます。……。
お酒^{さけ}をたくさん飲^のんでは⑮ いけませんよ。
体^{からだ}を⑯ たいせつにしてください。

母



きょう、母^{おと}から手紙^{てがみ}が来^きました。

母^{おと}の手紙^{てがみ}によると、家族^{かぞく}はみんな (例) 元気だそうです。……。

はくの友だちは⑪ _____ がいなくなったので、さびしがって⑫ _____ そうです。

来月^{らいげつ}、⑬ _____ も東京^{とうきょう}に⑭ _____ そうです。……。

それから、酒^{さけ}をたくさん飲^のんでは⑮ _____ と書いてありました。

おわりに、体^{からだ}を⑯ _____ ようにと書いてありました。

正



I 意志 II 決定

I. Volition II. Determination

I. 意志 II. 決定



知っていますか

- a ことにしました b つもりだ c ^{おも}と思います d ことになりました
e ようにしてください

1. ^{やまだ}山田さんは3月で会社をやめる_____。
2. 仕事は毎日5時から9時までです。時間におくれない_____。
3. ジョンさんはことしの夏、九州へ行く_____と言っています。
4. ずっといそがしかったので、週末はうちにいよう_____。
5. 会費が高いので、わたしはこのクラブには入らない_____。



使えますか

1. 前から北海道へ行こうと { a ^{おも}思いますが、
b ^{おも}思っていますが、 } いそがしくて、なかなか行けません。
2. ジムさんは日本語を習おうと { a ^{おも}思っているそうです。
b ^{おも}思っています。
3. 先生、今晚のパーティーに { a いらっしゃいますか。
b いらっしゃるつもりですか。
4. けががすっかり治ったので、あさって退院できることに { a なりました。
b しました。
5. 駅から母に電話を { a かけるようにしたが、
b かけようとしたが、 } カードがなかった。

答えはつぎのページにあります。

I 意志 [Volition / 意志]



1. Vよう
2. Vよう^{おも}と思います
3. Vるつもりです・Vないつもりです
4. Vようとします
5. Vるようにします・Vないようにします
- * 6. Vようとしません

○意志^{い し かたち}の形 [The Volitional Form / 意志形的构成法]

どうし 動詞 I (5 段動詞) Group I -verbs (-u verbs)	会^あひ お +う 書^かく こ +う 出^でる そ +う 立^たつ と +う 死^しぬ の +う 飛^とぶ ほ +う 読^よむ も +う 乗^のる ろ +う	あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの はひふへほ まみむめも や ゆ よ らりるれろ
動詞 II (1 段動詞) Group II -verbs (-ru verbs)	見^みる +よう → 見よう ね^ねる +よう → ねよう	
動詞 III (不規則動詞) Group III -verbs (irregular verbs)	する → しよう 来^くる → 来よう	



🌸 I-1. Vよう [Going to do (verb)/要…]

- ① 熱があるから、きょうは早く帰ろう。
- ② (1月1日に) ことしからは、日記を書こう。
- ③ 田中君のうちへ行く前に、ちょっと電話をしよう。
- ④ もう12時か。そろそろ寝よう。

ポイント

日記に書いたり、心の中で思ったりなど、話す人がひとりごとのように使って、自分の意志を表す言い方。相手を誘う言い方「いっしょに帰ろう」(→8課I-1.「Vましょうなど」(p79))と区別すること。

This expression is used when the speaker wishes to express his own will by writing in a diary, thinking to himself or talking out loud to himself. Note the differences between this form and the construct used to invite someone (i.e., いっしょに帰ろう).

→ Lesson 8, I-1. (V-ましょう, etc.), p.79

写在日记中或者浮现在意识中，说话人以自言自语的方式表达自己意志的用法。注意与表示邀请对方的用法「いっしょに帰ろう」(→第8課I-1.「Vましょう・等」(p79))的区别。

🌸 I-2. Vようと思います [I think I will do (verb)/想要]

- ① 会社をやめて、1年ぐらい留学しようと思っています。
- ② わたしは子どものころからずっと医者になろうと思っていました。でも、今は考えが変わりました。
- ③ A: ちょっとあの本屋に寄ろうと思いますが、あなたは?
B: そうですね、きょうはまっすぐ帰ろうと思います。
- ④ A: 山田君、結婚しようと思っているそうだよ。
B: ほんとうですか。ぜんぜん知りませんでした。

ポイント

1. これから、または、将来何かをするという話す人の意志を表す。否定の形「Vようとは思いません」は強い否定の意志を表す。

◆・この仕事はたいせつだから、アルバイトの人にたのもうとは思いません。

2. 「Vようと^{おも}っています」は、決心^{けっしん}してからずっとそう思っているときに使う。「Vようと^{おも}います」は、話す^{はな}時点での判断^{はんだん}や決心^{あらわ}を表す。

◆ { ×あ、おいしそうなケーキ。ちょっと買^かっていこうと^{おも}っています。
○あ、おいしそうなケーキ。ちょっと買^かっていこうと^{おも}います。

3. 第三者^{だいさんしや}の意志^{いし}を言^いいたいときは、「～と^{おも}っている＋そうだ／ようだ／らしい」などの形^{かたち}にする。→コラム3「主語^{しゆご}が三人称^{さんにんしやう}の文^{ぶん}には気^きをつけよう」(p75)

1. This pattern expresses the speaker's intention to do something from now on or in the future. The negative form of this construct, V-ようと^{おも}いません, is an emphatic expression of negative volition.

→◆

2. The pattern V-ようと^{おも}っています is used when the speaker has been thinking of doing something ever since making a resolution. In contrast, the pattern V-ようと^{おも}います indicates that the speaker made the resolution or judgment to do something when he was talking. →◆

3. When the speaker wishes to express the volition of a third person, the forms ～と^{おも}っている＋そうだ／ようだ／らしい are appended to the ending of the sentence.

→ Column 3, Watch Out for Sentences in Which Subjects Are in the Third Person, p.75

1. 表示说话人“今后”或者“将来”要做某事的意志。否定形式「Vようと^{おも}いません」表示强烈的否定意志。→◆

2. 「Vようと^{おも}っています」用于下定决心以后一直保持的情形。「Vようと^{おも}います」表示说话时的判断和决心。→◆

3. 表达第三者的意志时, 使用「～と^{おも}っている＋そうだ／ようだ／らしい」等形式。

→专栏3「注意主语是第三人称的句子」(p75)

🌸 I - 3. Vるつもりです・Vないつもりです

[(I) intend to do (verb); (I) don't intend to do (verb) / 打算…, 想要…]

- ① 先生：今度^{こんど}のレポートで、きみは何について書くつもりですか。

学生：まだ決^きめていません。

- ② ことしからテニスを始^{はじ}めるつもりだったけど、いそがしくてできそうもない。

- ③ わたしは夏のキャンプには行^{なつ}かないつもりです。

- ④ ぼくは父^{かいしや}の会社^{はい}に入^{はい}るつもりはありません。

- ⑤ マリさんは30歳^{さい}まで結^{けっこん}婚^{こん}しないつもりだそうです。

- ⑥ 弟^{おとうと}は東京^{とうきやう}で仕事^{しごと}をさがすつもりらしい。

ポイント

1. 将来、何かをするという話す人の意志や予定や計画を表す。「Vるつもりはありません」は「Vないつもりです」より強い否定の気持ちを表す。

2. 意味はI-2.「Vようと思います」とだいたい同じだが、計画はより具体的で、実現する可能性が高い。また実現までの時間が短いことにはあまり使わない。

- ◆ { ×では、今から朝のミーティングをするつもりです。
○では、今から朝のミーティングをします。

3. 第三者の意志については、I-2.「Vようと思います」の(ポイント)3.と同じ。接続の形は「Vるつもりだそうだ」「Vるつもりらしい」「Vるつもりようだ」などとなる。→コラム3「主語が三人称の文には気をつけよう」(p75)

4. 目上の人には「Vるつもりですか」という質問を直接しないほうがいい。

- ◆ { △先生、この夏どこかへいращるつもりですか。
○先生、この夏どこかへいращるご予定ですか。

5. そういう意図はもっているが、実際の行動の結果は違う、という意味の文もある。

- ◆ { ・A：それは何の絵ですか。
B：ねこをかいたつもりなんだけど……。
・自分では正しいつもりでしたが、答えは間違っていました。

1. This construct expresses the speaker's volition, plan or proposal to do something in the future. The form V-るつもりはありません is a stronger negation than V-ないつもりです。

2. The meaning here is nearly the same as in I-2. (V-ようと思います) but is more concrete of a plan; the probability of realization is high. It is not used often when there is only a short time until realization is possible. →◆

3. Third person volition is the same as in (ポイント)3. in I-2. (V-ようと思います). Conjunctions are made in the following way: V-るつもりだそうだ, V-るつもりらしい, and V-るつもりようだ, etc.
→ Column 3, Watch Out for Sentences in Which Subjects Are in the Third Person, p.75

1. 表示说话人将来要做什么的意志、预想、计划等。「Vるつもりはありません」比「Vないつもりです」表示更强烈的否定意志。

2. 意思与I-2.「Vようと思います」大体相同，计划更为具体，实现的可能性更高。另外，一般不用于表示短时间内可以实现的目标。→◆

3. 表示第三者意志时，与I-2.「Vようと思います」的(ポイント)3.相同。接续形式为「Vるつもりだそうだ」「Vるつもりらしい」「Vるつもりようだ」等。→专栏3「注意主語は第三人称の句子助詞」(p75)

4. 对上级最好不直接使用「Vるつもりですか」来提问。→◆

5. 也可用于意图与实际行动的结果相反的句中。
→◆

4. It is best not to ask something directly of a social superior using the pattern V-るつもりですか。→◆

5. There are sentences with the connotation that the speaker had intended to do something but the result of the action turned out differently than expected.
→◆

🌸 I - 4. Vようとします [About to do (verb); to try to do (verb)/正要…]

① どうもおそくなりました。会社を出ようとしたとき、社長に呼ばれたんです。

② おふろにはいるろうとしたとき、電話のベルが鳴った。

③ おばあさんが道を渡るうとしていますが、車が多くて渡れません。

④ あの子はきれいな野菜をいっしょうけんめい食べようとしています。

⑤ けさ、6時に起きようとしたんですが、起きられませんでした。

ポイント

①②は、そうしようと思って、そのことを始める直前の状態にいることを表す。③～⑤は、そうしようと思って、がんばっていることを表す。

In numbers ① and ②, the speaker thinks of commencing an action and is just about to start it. In numbers ③ to ⑤, the speaker resolves to do an action and is trying hard to accomplish it.

例句①②表示刚开始做想要做的事情时的状态。例句③～⑤表示正在努力做想要做的事。

🌸 I - 5. Vるようにします・Vないようにします

[Try to make a habit of doing (verb); try not to make a habit of doing (verb)/要…;不要…]

① わたしは健康のために、毎晩、1時間ぐらい歩くようにしています。

② 夜、ごみを外に出さないようにしましょう。

③ できるだけ遅刻しないようにしているけど、ときどきおくれしてしまう。

④ 人に会うときは、約束の時間を守るようにしましょう。

ポイント

習慣的に心がけていることを表す。

This pattern indicates that the speaker is habitually endeavoring to do something. | 表示习惯性地加以注意



I - 6. Vようとしません [Never do (verbs) / 不想…]

- ① リーさんは病気のときでも、医者に行こうとしません。
- ② あの子はしかれても、決してあやまろうとしません。
- ③ シンさんはいつもたばこを吸っている。「たばこは体に悪いから、止めたほうがいいよ」と言っても、シンさんは止めようとしない。

ポイント

第一人称「わたし」以外の人が、「期待されていることをしない」という強い否定の意志をもっている様子を表す。第一人称には使えない。

◆×わたしはきれいなにんじんは食べようとしません。

This construct has a very strong connotation of someone other than the first person (I) not doing what is expected of him or her. It cannot be used in the first person. →◆ | 表示除第一人称“我”以外的人「违背期望」的强烈的否定意志。不能用于第一人称 →◆

II 決定 [Determination / 決定]



1. Nにします・Nになります
2. Vることにします・Vないことにします
3. Vることになります・Vないことになります

II-1. Nにします・Nになります

[Decide to do (noun); will become (noun) / 決定…; 定下来…]

- ① A: いい喫茶店きっさてんですね。何をたのみましょうか。
B: のどがかわいたから、コーラにします。
- ② 店員てんいん: こちらのかばんはデザインが新しいあたらしいですよ。
客きやく: きれいですね。じゃ、これにします。
- ③ テニス部の部長ぶぶちよう: 雨が止まないやので、練習れんしゅうは午後からにします。
- ④ A: パーティーの司会しかいは、だれになりましたか。
B: 前回ぜんかいは山田さんやまだでしたから、今回は石田さんいしだになりました。
- ⑤ 19日のワイン工場こうじようの見学けんがくは、中止ちゅうしになりました。



ポイント

①～③のように、「Nにします」は、いくつかある選択肢せんたくしの中から意識的いしきてきにある1つを選んで決きめるときに使う。④⑤のように、「Nになります」は、あることがほかの人の意志いしや、ある条件じようけんで決きまったというときに使う。「Nにします」のほうが話す人の積極的せっきよくてきな姿勢しせいを表す。

The pattern Nにします is used when the speaker consciously decides on one item from a number of items that could be selected, as in numbers ①-③. Nになります is used when something has been decided by other people or when something has been decided under certain conditions, as in numbers ④ and ⑤. The first pattern, Nにします, more actively expresses the speaker's will.

象例句①～③那样从几个选择中有意识地决定选取其中的一个时使用「Nにします」。
象例句④⑤那样表示某事以某种条件通过由几个人的意志决定时使用「Nになります」。
「Nにします」表示说话人积极的姿态。

II-2. Vることにします・Vないことにします

[Decide to do (verb); decide not to do (verb) / 決定…・決定不…]

- ① 桜さくらの木の下で拾ひろってきたねこだから、「さくら」と呼よぶことにしよう。
- ② 春休みはるやすみには、長野ながのの友だちのうちへ行くことにしました。

③ A: きょうからたばこを止めることにした!

B: そのこと、先月も聞いたよ。

④ 夏休みは国へ帰らないことにしました。

⑤ 3月は試験があるので、アルバイトをしないことにした。

ポイント

自分の意志である行為をする（しない）と決めたと言いたいときに使う。

This is used when the speaker wants to stress that she or he has decided to do (or not to do) a certain action.

表达由自己決定想要（不要）采取的行为时使用。

Ⅱ-3. Vることになります・Vないことになります

[Be decided that (verb); be decided that won't be (verb) / 決定…・決定不…]

① 4月から大阪の支店に移ることになりました。

② これからは社員もここには駐車できないことになりました。

③ 入社式でスピーチをすることになったので、何を話そうか考えています。

④ 1丁目のスーパーがなくなることになって、町の人は困っています。

⑤ わたしは秋に、結婚することになりました。

* ⑥ 旅行に行く人は、20日までにお金を払うことになっています。



ポイント

1. あることが自分の意志に関係なく決まることを表す。

2. ⑤のように、自分の意志で決めたことでも、婉曲的に言いたいときに使うこともある。また、

* ⑥のように、「Vることになっています」の形は、決まりや習慣を表す。

1. This pattern is used to show that something has been decided unrelated to the speaker's volition.
2. There are times, as in number ⑤ that when this pattern is used when the speaker wants to express something in a roundabout manner even when the speaker has decided the matter through his or her own will. Furthermore, the pattern V-ることになっています, as in ⑥*, is used to show a custom or rule.

1. 表达某件事与自己的意志无关而被决定下来。
2. 也可以用于委婉地表示由自己的意志决定的事项（如：例句⑤）。例句⑥*「Vることになっています」这一形式表示决定下来的事项成为习惯、规则。



れん しゅう
練 習

問題Ⅰ () の中のことばを^{できとう かたち}適当な形にして書きなさい。

A：みなさんは^{けんこう}健康のために何かしていますか。

B：わたしは^{まいばん}毎晩、ウォーキングを① _____ ようにしています。(する)

C：ぼくは^{いま}今はたばこを② _____ としているんですが、なかなか^や止められません。(止める)

D：今まではいそがしかったのですが、これからはできるだけスポーツセンターに③ _____ つもりです。^{かよ}(通う)

問題Ⅱ の中から^{できとう えら}適当なことばを選んで書きなさい。

^{おも}おと思っています なりました しました つもりだ つもりです

1. (みんなが^{なつやす}夏休みの^{よてい}予定を話しています。)

A：ぼくは名古屋のおばの家へ行く④ _____。

B：わたしは北海道へあそびに行こう⑤ _____。

C：ぼくはレポートを書きたいので、どこへも行かないことに⑥ _____。

D：わたしは日本人のうちにホームステイできることに⑦ _____。

B：ヤンさんの^{よてい}予定を知っていますか。

C：ヤンさんは国へ^{かえ}帰る⑧ _____ と言っていました。

ことにしましょう ことになりました しました

2. ボブ：先生、いろいろお世話になりました。いよいよ^{きこく}帰国する⑨ _____。

先生：そうですか、それで、^{しゅっぱつ}出発の日は決めましたか。

ボブ：ええ、^{らいげつ}来月のはじめに⑩ _____。

先生：それじゃ、^{すいようび}水曜日ごろお^{わか}別^{かい}れ^{ひら}会を開く⑪ _____。

い とてきこうどう
I 意図的行動

かいし しゅうりょう
II 開始・終了

I. Intentional Actions II. Beginnings; Endings

I. 有意识的行动 II. 开始・終了



知っていますか

a しまって b おいて c つづけて d はじめて e おわって

1. うちの母は30年も日記を書き_____います。
2. あの本はもう読み_____、今、新しい本を読んでいます。
3. もうすぐA社の社長が来ますから、コーヒーの用意をして_____ください。
4. 約束の日を忘れて_____、友だちに会えませんでした。
5. 姉はことしから高校で教え_____、毎日いそがしいです。



使えますか

1. 3時ごろ雨が { a 降りはじめました。
b 降り終わりました。
2. 林さんの説明がとてもじょうずだったので、わたしはよく { a わかりました。
b わかってしまいました。
3. ことしはテニスを { a 習いだすつもりです。
b 習いはじめるつもりです。
4. 信号が青に { a なりおわたったから、
b なったから、 } わたし渡りましょう。
5. 林さんは、急におなか痛いと { a 言いだして、
b 言い始めて、 } 病院へ行きました。

答えはつぎのページにあります。

I 意図的行動

[Intentional Actions / 有意识的行动]



1. Vてみます

2. Vてしまいます

(1) ぜんぶ読んでしまいます。

(2) 忘れてしまいました。

3. Vておきます・Vないでおきます



I - 1. Vてみます [Try out doing (verb) / 试着...]

① この新しいボールペンを使ってみました。とても書きやすいですよ。

② A: クラス会にジョンさんも来るんですか。

B: さあ、わかりません。来るかどうか聞いてみましょう。

③ (デパートで)

客: ちょっとこのスカートをはいてみてもいいですか。

店員: はい、こちらどうぞ。

④ A: 音楽会のきっぷがまだあるか聞いてみましたが、もうないそうです。

B: それは残念ですね。

ポイント

何かを知るために、試しにすることを表す。

This form is used when the speaker wishes
to try something to find out about it.

表示为了解某事而试行。



I - 2. Vてしまいます(1) [Have done (verb); finish doing (verb)(1) / 全部..., 全都...(1)]

① A: あの本、読み終わりましたか。

B: ええ、もうぜんぶ読んでしまったから、どうぞ。



- ② そうじゃせんたくなどの家事は、いつも土曜日にやってしまいます。そして、土曜日の夜や日曜日はゆっくりします。
- ③ A：ミーティング、始まるんですか。
B：いえ、始まるのは7時ですから、先に食事をしてしまってください。
- ④ もっと時間がかかると思いましたが、30分で着いてしまいました。

ポイント

1. 全部、完全に、早く……を済ませる（済ませた）ということを特に心理的に強調したいときに使う。強調する必要がないときに使うと不自然である。

- ◆ { ×もう東西大学に合格してしまいました。
○東西大学に合格しました。
- ◆ { ×(説明を聞いた後で) もうわかってしまいました。
○わかりました。

2. ③のように、未来のことにも使える。
3. ④のように、話す人の意外な気持ちを表すときにも使う。

㊤ A：そろそろ出かけようか。

B：このお皿、洗っちゃうから、ちょっと待って。

1. This form is used when the speaker wants particularly to emphasize psychologically that he or she will, or has finished something in total, completely or quickly. If this form is used when there is no need to emphasize something it sounds unnatural.
→◆

2. It can also be used about the future, as in number ③.

3. This is also used when expressing something that the speaker was not expecting, as in number ④.

1. 从心理上强调“全部、完全、早就”“完成…、结束…”时使用。用于没有必要强调的上下文中，则使句子变得不自然。

→◆

2. 也可以象例句③那样用于说明未来的事情。

3. 象例句④那样，表示说话人意外的心情时也可以使用。

🌸 I-2. Vてしまいます(2) [End up doing (verb) to one's regret(2)/…了(2)]

① A：けさはおそかったですね。

B：すみません、いつものバスにおくれてしまったんです。

- ② 買ったばかりの時計がこわれてしまった。
- ③ 銀行のカードをなくしてしまって、困っています。
- ④ ライトをつけないで自転車に乗っていたので、警官に注意されてしまいました。

ポイント

話す人の「もう間に合わない、失敗した、残念だ、困った」という気持ちを表す。

- ㊤ きょうもまた、お酒を飲んじゃった。今週は飲みすぎた。

This pattern expresses the speaker's feelings of "it's too late to do something," "I've failed," "it's too bad," "it causes me problems," etc.

表示说话人“来不及、失败、遗憾、窘迫”的心情。



I-3. Vておきます・Vないでおきます

[To do (verb) for future use or in advance; not to do (verb) for future use / …好・不要…]

- ① A：山田君、コピー用紙がないから、買っておいてください。
B：はい、わかりました。
- ② 引っ越しは9月の初めだから、夏休みに国へ帰る前に準備をしておこうと思います。
- ③ 健康診断の日は、朝食を食べないでおいてください。
- ④ A：まどを閉めましょうか。
B：いえ、開けておいてください。まだ、このへやを使いますから。
- ⑤ 心配するから、母には言わないでおこう。

ポイント

何かの目的のために、その準備としてある行為をするという意味を表す。意志動詞につく。また、

④⑤のように、一時的な処置を表す言い方もある。

- ㊤ A：この箱、どうしましょうか。

B：ちょっとそこに置いといてください。後でかたづけますから。

This pattern has the connotation that the speaker will do something to prepare to achieve a certain goal. It is appended to verbs of volition. Further, it can also be used to express temporary measures, as in numbers ④ and ⑤.

为了某个目的而进行准备的意思。一般前接意志动词。也可以表示暂时的处置（如：例句④⑤）

II 開始・終了

[Beginnings; Endings / 开始・終了]



1. Vはじめます
2. Vつづけます
3. Vおわります
4. Vだします

II-1. Vはじめます [Begin to do (verb) / 开始…]

- ① この地方で桜が咲きはじめるのは、3月の終わりのころです。
- ② もう7時だから、そろそろ食べはじめましょう。
- ③ なべに牛肉を入れて色が変わりはじめたら、さとうとしょうゆを入れてください。
- ④ うちの子どもは最近、町の図書館を利用しはじめました。

ポイント

始まりと終わりにある継続する動作や作用、自然現象、習慣などが始まるという意味を表す。

瞬間動詞にはつかない。→コラム1「継続動詞か、瞬間動詞か」(p22)

◆×上田君はへやに入って、いすにすわりはじめました。

ただし、おおぜいの人の動作の場合には、瞬間動詞にもつく。

◆○ベルが鳴ったので、みんながいすにすわりはじめました。→II-3.「Vおわります」の④

This pattern is used to signify that a continuous action, effect, natural phenomenon, or custom that has a beginning and end, is to start. It is not appended to verbs of momentary action.

→◆ → Column 1, Verbs of Continuation? Verbs of Momentariness?, p.22

However, the pattern is appended to momentary verbs when the action is performed by a large group of people. →◆

→ II-3., ④, (V-おわります).

表示有始有终的连续性动作、作用、自然现象、习惯等的开始。不能与瞬间动词相接。→◆
→专栏 1「持续动词・瞬间动词」(p22)

但是, 表示众人的动作时, 也可以用瞬间动词。

→◆ →II-3.「Vおわります」的④

∞ V ~~ます~~ + はじめます

🌸 II-2. Vつづけます [Continue to do (verb)/继续…]

- ① 山道^{やまみち}を一日中^{じゅうある}歩きつづけて、足^{あし}が痛^{いた}くなりました。
- ② わたしは小学校から高校まで12年間もこの学校に通^{かよ}いつづけました。
- ③ ひとつのことをやると決めたら、やりつづけることがたいせつです。
- ④ うちのにわでは、冬^{ふゆ}の間もいろいろ^{あいだ}な花^{はな}が咲^さきつづけます。

ポイント

動作^{どうさ}を続^{つづ}けたり、作用^{さよう}が続^{つづ}いたりするという意味^{いみ}を表^{あらわ}す。

This signifies that someone continues an action or that an effect continues.

表示行为、作用的继续。

∞ V ~~ます~~ + つづけます

🌸 II-3. Vおわります [Finish doing (verb)/完…]

- ① みんなご飯^{はん}を食べおわりました。テーブルの上をかたづけましょう。
- ② 作文^{さくぶん}を書きおわった人は、この箱^{はこ}に入れてください。
- ③ このへやのまどガラスはぜんぶふきおわりました。次^{つぎ}はとなりのへやです。
- ④ 子どもたちがみんなバスに乗りおわったら、出発^{しゅっぱつ}しましょう。



ポイント

始まりと終わりがあ**る**継続する動作・作用が**終わ**るという意味を表す。

This signifies that a continuous action or effect which has a beginning and an end, is going to finish.

表示有始有终的连续性动作、作用的结束。

〇〇 V~~ます~~ + おわります

II - 4. V だします [Suddenly begin to do (verb) / 开始…]

- ① 雨が止んだら、たくさんの鳥が鳴き**だ**しました。
- ② 道で急に走り**だ**すと、あぶないですよ。
- ③ あの人は本を読んでいて、とつぜんわらい**だ**しました。
- ④ 止まっていた時計が急に動き**だ**しました。

ポイント

1. 人の意志で抑えにくい動作・作用が**始**まるという意味を表す。「急に、とつぜん」などといっしょに使うことが多い。

2. 話す人の意志を表す文には使わない。

- ◆ { ×ことしからフランス語を習**い**だそう。
○ことしからフランス語を習**い**はじめよう。

1. This pattern is used to signify that an action or effect which is difficult to repress through human volition, begins. It is often used with words such as 急に (suddenly) or とつぜん (all of the sudden).

2. This construct is not used with sentences indicating the speaker's volition. →◆

1. 表示难以用人的意志加以控制的动作、作用。经常与「急に（骤然）、とつぜん（突然）」等一起使用。

2. 不用于表示说话人意志性判断的句中。

→◆

〇〇 V~~ます~~ + だします

れん
練しゅう
習

問題Ⅰ () の中のことばを適当な形にして書きなさい。

- 3時まで、この本を① _____ しまおうと思っていたんですが、まだ、
② _____ おわりません。(読む・読む)
- くつを買うときは、③ _____ みてから、買ったほうがいいです。(はく)
- ご飯を④ _____ はじめたとき、電話のベルが鳴りました。(食べる)
- お客が来るので、へやを⑤ _____ おきました。(そうじする)
- ゆりこさんは友だちと電話で⑥ _____ はじめると、いつも1時間ぐらい
⑦ _____ つづけます。(話す・話す)
- 本を読んでいた子どもが急に⑧ _____ だしたので、びっくりしました。(泣く)
- 田中さんが帰ってきますから、ドアのかぎは⑨ _____ おいてください。(閉める)

問題Ⅱ の中のことばを適当な形にして書きなさい。1つのことばは1回しか使いません。

はじめます つづけます おわります しまいます

- レポートがやっと終わりました。夜、10時ごろ書き⑩ _____ 、朝、5時ごろ書き⑪ _____ 。7時間も書き⑫ _____ 、ほんとうに疲れて⑬ _____ 。

みます おきます しまいます

- きのう、はじめてケーキを作りました。ちょっと食べて⑭ _____ たら、まあまあおいしかったです。それで、夜みんなで食べようと思って、テーブルの上に置いて⑮ _____ 。そうしたら、弟が食べて⑯ _____ 。

よう す じょうたい ひきょう れい じ
I 様子・状態 II 比況・例示

I. Appearances; Situations II. Likeness; Illustrations

I. 样态・状态 II. 比況・例示



知っていますか

a が、あります b を、います c が、します d が、います e が、です

1. あ、お金 ^お落ちて ^ち_____。
2. リーさんは赤い ^{あか}顔 ^{かお}_____して_____。
3. リーさんは目 ^め_____大きい_____。
4. これ、ちょっと変な味 ^{へん}_____ ^{あじ}_____。
5. かべにカレンダー_____はって_____。



使えますか

1. まあ、このりんごはおいしそうですね。 { a ^{あか}赤くて、大きくて……。
b ^{あか}赤くて、大きそうで……。 }
2. あ、かきが { a かかっています。 } 中 ^はに入れません。
b かけています。 }
3. 月 ^{つき}が { a 出 ^でてありますね。 } きれいな月ですね。
b 出 ^でていますね。 }
4. あの雲 ^{くも}は { a アイスクリームのようです。
b アイスクリームらしいです。 }
5. あの人はめがねをかけたまま、 { a プールに入 ^{はい}っています。
b 本 ^{ほん}を読 ^よんでいます。 }

答えはつぎのページにあります。

I 様子・状態 [Appearances; Situations/样态・状态]



1. Vています
2. Vてあります



3. ～そうです
(1)このケーキはおいしそうです。
(2)ボタンがとれそうです。
(3)きょうは早く帰れそうです。
4. N₁はN₂が
5. Nがします
6. Nをしています
7. ～まま

☺ I-1. Vています [Is in the state of (verb)/…着…]

- ① あ、この時計は止まっています。
- ② あ、かばんの口が開いていますよ。
- ③ シャツがよごれています。せんたくしましょうか。



- ④ みちこさんは、白いスカートをはいて、白いぼうしをかぶっています。
- ⑤ A: あ、サングラスをかけている人はどなたですか。
B: ああ、あの赤いシャツを着た人ね。あれはリーさんですよ。

ポイント

1. 「自動詞+ています」は、ある動作・作用の結果が続いている状態を表す。①②③は、人が何かの目的をもってそうしたのか、自然にそうなったのかに関係なく、ただ見える状況を言う場合に使う。この場合の動詞は瞬間動詞である。④⑤は、「着脱を表す他動詞+ています」で、服装を表す言い方。→コラム1「継続動詞か、瞬間動詞か」(p22)
2. 名詞を説明するとき、⑤のように、「VているN」を「VたN」で置き換えることができる。動作の進行中であることを表す「Vている」にはこの使い方はない。



- ◆ { ・ めがねをかけている人 (状態) [Situation/状態] = めがねをかけた人
 ・ ピアノをひいている人 (進行中) [In progress/进行中] ≠ ピアノをひいた人

3. → まとめ 4 「Vている」 (p 220)

㊦ あ、さいふが落ちてる。だれのだろう。

1. The pattern "intransitive verb + ています" indicates that the result of a certain action or effect is continuing. In numbers ①, ② and ③, the pattern is used regardless of whether the person performed the action with an objective in mind, or whether the action arose naturally; the speaker merely wants to describe the appearance of the situation. In this case verbs of momentariness are used. Numbers ④ and ⑤ "transitive verb that describes putting on or taking off clothing + ています" are used to describe clothing. → Column 1, Verbs of Continuation? Verbs of Momentariness?, p.22

2. When explaining nouns, the pattern, V-ている N, can be replaced by V-た N, as in number ⑤. The pattern V-ている, that shows an action is in the process of happening, is not used in this way. →◆

3. → Important Grammatical Points 4: (V-ている), p. 220

1. 「自動詞 + ています」表示動作・作用の結果持续的状态。例句①②③用于说明所看到的状况，不论人为形成还是自然形成，使用瞬間動詞例句④⑤「自動詞 + ています」的形式形容人的服装。→专栏 1 「持续動詞・瞬間動詞」(p22)

2. 象例句⑤那样说明名词时，可以用「VたN」代替「VているN」。表示正在进行的动作的「Vている」没有这种用法。→◆

3. → 小结 4 「Vている」(p220)

㊦ I - 2. Vてあります [There are...(verb)/...着..., 有...]

① A: これ、見てください。わたしのへやの写真です。

B: へえ。机の上に人形がたくさんかざってありますね。あ、テレビの上にも人形が置いてありますね。

② リンさんの持ち物には、みんなリンさんの名前が書いてあります。

③ 駅のかべに、いろいろなポスターがはってあります。



* ④ A: お迎えにきました。門の前にわたしの車を止めてありますから、すぐに出発できます。

B: それはどうもありがとうございます。

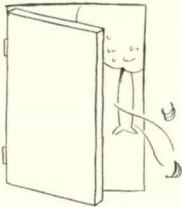
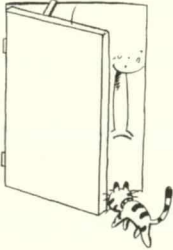
* ⑤ A: 旅行は来週ですね。もう準備はしてありますか。

B: ええ、3時の新幹線と駅前のホテルを予約してありますから、だいじょうぶです。

* ⑥ わたしはもう夏休みの計画表を作ってあります。

ポイント

1. 人が何かの目的をもって行った行為の結果が続いているという状態を表す。①②③のように、目で見た様子を表すときには、「NがVてあります」という形を使う。「他動詞＋てあります」
2. ④⑤⑥のように直接目で見たことではなく、準備が整った状態を言いたいときには、「NをVてあります」という形になることが多い。人が主語になるが、省略されることが多い。
3. 「自動詞＋てあります」と「他動詞＋てあります」は、目で見た状態は同じだが、話す人の発話意図が違う。

自動詞＋てあります [Intransitive Verbs] ・ドアが<u>あ</u>いています。		見える状態をそのまま言うとき When describing exactly what one sees./直接叙述看到的状态时使用
他動詞＋てあります [Transitive Verbs] ・ドアが<u>あ</u>けてあります。		ある目的をもってそうしたとき When describing an action that was done with a certain objective in mind./表示有目的地地进行某个行为时使用

→コラム6 「他動詞・自動詞」(p142)

- ◆ { A: あ、ドアが少し開いていますね。寒くないですか。
B: うちのねこが自由に出入りできるように、少し開けてあるんです。
- ◆ { A: あら、テーブルの上にバターが出ている。ちゃんと冷蔵庫に入れてね。
B: 今からケーキをつくるのよ。それで出してあるの。

1. This pattern indicates that a result of an action performed with an objective in mind is continuing. As in numbers ①, ② and ③, the pattern N **が** V **てあります** is used when expressing what one sees. (transitive verb + **てあります**)

2. There are many cases when the speaker uses the pattern N **を** V **てあります** when talking about a condition that has deliberately been prepared rather than something the speaker has seen firsthand, as in numbers ④, ⑤ and ⑥. A person is the subject but the subject is often omitted.

3. The patterns "intransitive verb + **ています**" and "transitive verb + **てあります**" describe the same condition seen by the speaker but the intention of the speaker making the utterance is different. → Column 6 : Transitive Verbs; Intransitive Verbs, p.142 →◆

1. 表示人有目的地执行某种行为, 其结果的存续状态。表示亲眼看见的事实时, 使用「N **が** V **てあります**」这种形式。(如: 例句①②③)「V (他动词) + **てあります**」。

2. 不是亲眼看见, 只说明准备完善时, 使用「N **を** V **てあります**」这种形式(如: 例句④⑤⑥)。主语是人物时, 经常被省略。

3. 「V (自动词) + **ています**」和「V (他动词) + **てあります**」都表示亲眼看到的状态, 但是发话的意图有所不同。→◆

→专栏 6 「他动词・自动词」(p142)

🌸 I - 3. ～そうです(1) [Seem to be...(1)/好象… (1)]

- ① きのは母の日だったので、花をプレゼントしました。母はとてもうれしそうでした。
- ② 妹はケーキを食べたそうな顔をしています。
- ③ 太郎ちゃんは元気そうで、かわいい赤ちゃんです。
- ④ このカレーライスはあまりからくなさそうです。
- ⑤ ねこがソファの上で気持ちよさそうに寝ています。

ポイント

1. 話す人が見た様子や印象を言いたいときの表現。
2. ナ形容詞のように活用する。(～そうな十名詞/～そうに十動詞など)
3. 見て客観的にすぐわかることには使わない。

◆ { ×わあ、きたなそうなへやですね。
○わあ、きたないへやですね。

4. 名詞につながる形はない。

- ◆ { ×あの人は病^{びょう}気^きそうです。
○あの人は病気のようです。

1. This verbal suffix is used to express what the speaker has seen, or the speaker's impressions.
2. It conjugates in the same way as a ナ-adjective. (～そうな + noun/～そうに + verb, etc.)
3. This suffix is not used when the speaker can immediately tell something by looking at the subject objectively. →◆
4. There is no way to join this pattern to a nominal. →◆

1. 说话人表达看到的状况、印象时使用的表现。
2. 活用形和ナ形容词相同。(～そうな + 名词 ~そうに + 动词等)
3. 不用于一看就可以明白的事物。→◆
4. 不直接接名词。→◆

🔗 イA ~~ナ~~ナA + そうです 例外 いい→よさそうです/ない→なさそうです

🌸 I - 3. V そうです(2) [It seems like...will soon (verb) (2) / 就要...(2)]

① A: あ、シャツのボタンがとれそうですよ。

B: あ、ほんとうだ。すぐつけます。

② あ、あんなに黒い雲が出ています。雨が降りそうだ。かさを持っていこう。

③ 女の子は泣きそうな顔で、「さよなら」と言いました。

④ まどから風が入ってきて、ケーキの上のろうそくが消えそうになりました。

⑤ ことしは寒い日がつづいたので、桜はまだ咲きそうもありません。



ポイント

1. 様子を見て、もうすぐ何かが起こると思ったときの言い方。
2. ⑤のように、否定の形は普通「～そうもありません」を使う。

1. This verbal suffix is used when the speaker judges by looking at an object that something is about to happen.
2. The negative is usually made using the construct ～そうもありません, as in number ⑤.

1. 看样子马上就要发生什么事情时使用的表达法。
2. 否定形一般象例句⑤一样使用「～そうもありません」。

🔗 V ~~ナ~~ + そうです



I - 3. ～そうです(3) [It seems like...will (3)/看样子...(3)]

- ① ことしの夏は暑^{あつ}くなりそうです。
- ② このパソコンソフトならわたしにも使え^{つか}そうです。
- ③ この店には、ちょうどいいのがなさそうだから、ほかの店をさがしてみます。
- ④ 体^{からだ}のためによさそうなことをいろいろやっています。
- ⑤ わたしはこの試合^{しあい}には勝^かてそうもありません。

ポイント

1. 話す人の判断^{はんだん}、推量^{すいりよう}、予測^{よそく}、予感^{よかん}を言いたいときの言い方^い。
2. ⑤のように、動詞^{どうし}の否定の形は普通「～そうもありません」を使う^{つか}。

1. This verbal suffix is used to express the speaker's judgment, conjecture, prediction or premonition.
2. The negative form of verbs is usually made using the construct ～そうもありません, as in number ⑤.

1. 表达说话人的判断、推量、预测、预感的说法。
2. 动词的否定形一般象例句⑤一样使用「～そうもありません」。

⌘ V~~ます~~/イA~~は~~/ナA +そうです 例外 いい→よさそうです/ない→なさそうです

I - 4. N₁はN₂が [As for (noun)₁, their / its (noun)₂ is... / N₁はN₂が]

- ① あの人は目^めがとてもきれいです。
- ② この料理^{りょうり}は味^{あじ}がちょうとうすいです。
- ③ リンさんの家^{いえ}は庭^{にわ}がひろくて、いいなあ。
- ④ メキさんは足^{あし}がはやいです。彼^{かれ}はサッカーの選手^{せんしゅ}です。

ポイント

1.

N ₁
話題とするもの Topic 作为话题的部分

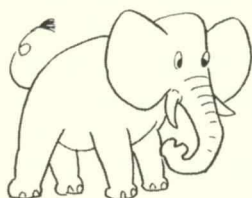
 は

N ₂
N ₁ の部分やN ₁ に属するもの Part of N ₁ or something belonging to N ₁ N ₁ 的一部分或属于N ₁ 的事物

 が

N ₂
N ₂ の状態、性質など State or quality of N ₂ N ₂ 的状态、性质等

。
- ぞう は はな が ながいです



2. →まとめ2 『『は』と『が』』 (p210)

🌸 I-5. Nがします [Can hear, see, smell, etc. (noun)/觉得…]

- ① どこかでねこの鳴き声なごゑがします。
- ② いいにおいにおがしますね。きょうのご飯はんは何ですか。
- ③ となりのへやで変へんな音おとがします。どうしたのでしょうか。
- ④ このお菓子かし、紅茶こうちやの味あじがしますね。
- ⑤ 星ほしを見ていると、なんだかゆめかんのような感じがします。

ポイント

音おと、声こゑ、味あじ、におい、かおり、感じかんなど感覚かんかくを表あらわしたいときの言い方。

This construct is used to express the notion that the speaker can perceive a sound, voice, taste, smell, fragrance or feeling.

表示声音、味道、感受等感觉时使用的表达方式。

🌸 I-6. Nをしています [Have a (noun)/Nをしています]

- ① リーさんはきれいな声こゑをしています。
- ② A: 少し赤い顔あか かおをしていますよ。お酒さけを飲んだんでしょう。
B: あ、わかりましたか。

- ③ 母：まあ、きたない手^てをしているね。どうしたの。
 子：公園で砂^{こうえん すな}あそびをしたんだよ。
- ④ この野菜^{やさい}はきれいな赤い色^{あかいろ}をしているので、料理^{りょうり}によく使^{つか}います。
- ⑤ あの三角^{さんかくけい}形をしたビルは何ですか。

ポイント

1. 目^めで見える色、形、様子^{いろ かたち ようす}などを言^いいたいときに使^{つか}う。名詞^{めいし}の説明^{せつめい}をするときは、⑤のように、「N₁をしているN₂」を「N₁をしたN₂」で置き換えることができる。
 2. 普通^{ふつう}、話^はす人^{ひと}自身^{じしん}のことではなく、話^はす人^{ひと}が見^みた様子^{ようす}を言^いうときに使^{つか}う。
 ◆ { ×わたしはきょう、おこった顔^{かお}をしています。
 { ○マリさんはきょう、おこった顔^{かお}をしています。
- ㊤ あの人、きょうは明^{あか}るい顔^{かお}をしてるね。

1. This form is used to express a color, shape or appearance of something seen. When explaining nominals, as in number ⑤, the pattern, N₁をしているN₂, can be replaced by the pattern N₁をしたN₂.

2. This construct is usually not used about the speaker, but about something the speaker has seen. →◆

1. 表达看到的颜色、形状、样态时使用。说明名词时，可以象例句⑤一样用「N₁をしたN₂」代替「N₁をしているN₂」。

2. 一般用于表达说话人看到的样态，而不是说话人自己。→◆

🌸 I-7. ～まま [As is, with…/照原样…]

- ① き^あのう、まどを開けたまま寝^ねてしまいました。
- ② コンタクトレンズをつけたまま、プールに入^{はい}ってしまいました。
- ③ パジャマのま^{なま}ま、外に出^でてはいけません。服^{ふく}に着^きがえなさい。
- ④ この野菜^{やさい}は生^{なま}のま^{なま}まで食^くべられます。
- ⑤ うちの子はあそびに行^いったま^{なま}ま、まだ帰^{かえ}りません。
- ⑥ 山^{やまぐち}口^{ぐち}さんかれんらくがないま^{なま}ま、1 か月たちました。

ポイント

1. ある状態を変えないで、その状態の中で別の動作をしようとしたいときに使う。その状態を元の状態に戻してから、または何か手を加えてから次の動作に移るのが普通であるのに、そうしないという意味を表す。
2. 「Nの+まま」は慣用的な表現。例 はだかのまま、くつのまま、皮のまま
3. ⑤⑥のように前の状態が続いているという意味を表すときにも使う。

1. This word is used when the speaker wants to describe an action within the state being described. It is used when it would be considered normal to shift to some new action after returning the condition to its original state, or after having manipulated the state in some way, but such normal-seeming action does not occur.
2. The pattern, Nの + まま, is an idiomatic expression. Examples: はだかのまま、くつのまま、皮のまま
3. This construct is also used as in numbers ⑤ and ⑥ when expressing that a previous condition is continuing.

1. 表达不改变原来的状态，在原有的状态下执行其他行为时使用。一般来说，应该恢复原状后或者经过加工后再进行下一个动作，而「～まま」所表示的是保持原有状态。
2. 「Nの+まま」是惯用表现。例 はだかのまま、くつのまま、皮のまま
3. 也可以象例句⑤⑥那样用于表达持续以前的状态。

〰 Vた／Nの + まま

Ⅱ 比況・例示

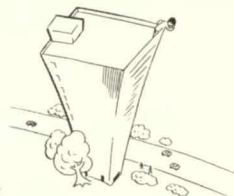
[Likeness; Illustrations / 比況・例示]



1. Nのようです
2. Nらしいです
3. N₁のようなN₂・Nのように

II-1. Nのようです [Look like (noun) / 象…一样]

- ① ビルの屋上から見ると、人がまるで虫のようです。車はミニカーのようです。
- ② 花見の後、ごみを集めたら山のようになっていました。
- ③ ぼくの心は火のように熱いのに、きみの心は氷のように冷たい。
- ④ あそこはよく働いた。まるでロボットのようにだった。
- * ⑤ 何におどろいたのか、赤ちゃんが急に火がついたように泣き出した。



ポイント

1. 様子や状況を表すのに、よく似たものにたとえる言い方。たとえるものは話す人が自由に考えてもよいが、慣用的に使われるものが多い。例 りんごのような（赤い）ほお、ロボットのように（まじめに）働く
2. ナ形容詞と同じように活用する。（ような＋名詞 / ように＋動詞など）
- * 3. ⑤のように名詞以外につく例もある。

1. This pattern is used to compare something that resembles closely to another appearance or situation. The speaker can freely think of a comparison but in most cases, idiomatic expressions are used. Examples: りんごのような（赤い）ほお、ロボットのように（まじめに）働く

2. This form conjugates like a ナ-adjective. (ような + noun; ように + verb, etc.)

* 3. There are cases where this form is appended to parts of speech other than nouns, as in number ⑤.

1. 表达样态、状况时，使用与其相近的事物进行比喻。用于比喻的事物可以是说话人自由联想的事物，更多的是惯用事物。

例 りんごのような（赤い）ほお、ロボットのよう（まじめに）働く

2. 活用形与ナ形容词相同。（ような＋名詞 / ように＋動詞等）

* 3. 象例句⑤那样，也可以接名词以外的词类。

II-2. Nらしいです [Acts just like...; is typical of... / 真正的…]

- ① ケンはいつも元気で、ほんとうに若者らしいです。
- ② ことしの夏は、夏らしい天気の日が少なかったです。
- ③ ひさしぶりに会った明子さんは、ほんとうに母親らしくなって、やさしい声で子どもに話していました。
- * ④ このごろ雨らしい雨が降っていません。
- * ⑤ 子どものときから、わたしは病氣らしい病氣をしたことがない。

ポイント

1. 「そのものの^{てんけいてき}典型的な性質^{せいしつ}をもっている」ということを^{あらわ}を表す表現^{ひょうげん}。

- ◆ きょうは夏らしい日でした。(きょうは夏のある日)
 [(Today is a day in summer.) / (今日は夏季の某一天)]
 ◆ きょうは夏のような日でした。(今は夏ではない)
 [(It is not summer now.) / (現在不是夏季)]

* 2. ④⑤は「らしい」の前後に同じ名詞を書き、その典型的な性質をもっているものを表す表現。

1. This expression indicates something has qualities representative of a certain notion.



* 2. In numbers ④ and ⑤, the same noun is repeated both, preceding and after the らしい to express that the subject has those particular representative qualities.

1. 表示“具有其最典型的性质”时使用。



* 2. 「らしい」の前后使用相同的名词，表示其典型的性质（如：例句④⑤）。



Ⅱ-3. N₁のようなN₂・Nのように

[(Noun)₂ like (noun)₁; like (nouns) / 象…]

- ① 弟はケーキやチョコレート^{おとうと}のような^{あま}甘いものばかりよく食べます。
 ② わたしはサッカーや野球^{やきゅう}のような、みんなですスポーツが^す好きです。
 ③ 駅や空港^{えき こうこう}のように人が^{おお}多いところでは、自分の荷物^{じぶん}に^{にもつ}気をつけましょう。
 ④ 病院^{びょういん}や図書館^{としょかん}、電車^{でんしゃ}の中のような（人が^{おお}おぜいいる）ところでは、携帯電話^{けいたいだい}の使用^{しよう}は困ります^{こま}。

ポイント

ある性質のもの、ある形状^{けいじょう}のものを話題^{わだい}にすると、その典型的な例^{てんけいてき}をあげる言い方^い。④のようにその性質や形状^{あらわ}を言い表さなくてもわかる場合は、性質や形状を表す言葉^{ことば}を省略^{しょうりゃく}する場合もある。

This pattern is used to present representative examples when taking up topics with certain qualities or forms. In cases such as number ④, when the qualities or forms are understood without expressing them, words used to express such qualities or forms are sometimes omitted.

提起某种性质、某种形状的物质时，举其典型事例加以说明的表达法。象例句④那样，其性质、形状不言自明时，表示性质、形状的词语可以省略。



問題Ⅰ () の中のことばを適当な形にして書きなさい。

1. あの人は① _____ そうにテレビを見ています。(つまらない)
2. そんな② _____ そうな顔をしないでください。(いや)
3. あの人は頭が③ _____ そうですね。(いい)
4. えりこさんは何か④ _____ そうな顔をしています。(食べたい)
5. この問題はあまり⑤ _____ そうです。(むずかしくない)
6. 朝から雨が降っています。夜まで⑥ _____ そうもありません。(止む)
7. 林さんは⑦ _____ ように歌がじょうずです。(歌手)
8. ことしの夏は、⑧ _____ らしい天気の日が少なかったですね。(夏)
9. あの人はめがねを⑨ _____ まま、プールで泳いでいます。(かける)
10. こどもはお風呂から出て、⑩ _____ まま、テレビを見ています。(はだか)

問題Ⅱ () の中のことばを適当な形にして、 の中のことばといっしょに使って書きなさい。

てあります ています がします をしています

(かいじょう じゅんび
会場でのパーティーの準備をしています。)

- A: あ、このケーキおいしそうですね。
- B: ええ、すぐ近くのケーキ屋で、買ってきたんです。
- A: そう。飲み物も、もう⑪ _____ か。(買う)
- B: ええ、へやもきれいにそうじして、花も⑫ _____ よ。(かざる)
- A: ああ、きれいね。あれは何という花ですか。いい⑬ _____ ね。(におい)
- B: ええ、あの花は星のような⑭ _____ ね。名前は知らないんです。でも、
においがいいから、わたしはよく買うんですよ。(形)
- A: まどが⑮ _____ よ。閉めましょうか。(開く)
- B: いえ、暑いから⑯ _____ 。そのままにしておいてください。(開ける)

コラム 6

他動詞・自動詞 [Transitive Verbs; Intransitive Verbs / 他动词・自动词]

A：あなたがドアを閉めたんですか。
B：いいえ、風で閉まったんです。

他動詞 「目的語+を」といっしょに使わないと意味が不完全な動詞。

If not used with "object + を," these verbs are incomplete in meaning. 不与「宾语+を」一起使用便不能表达完整的意思的动词。

山田さんは毎朝、コーヒーを飲みます。

例 あらう、買う、聞く、食べる、あげる、など

自動詞 「目的語+を」なしに文の中で完全な意味をもつ動詞。

These verbs are complete in meaning without the construct "object + を." 句中不使用「宾语+を」也能表达完整的意思的动词。

山田さんは毎日会社へ行きます。

例 ふる、さく、歩く、来る、いる、なる、など

他動詞・自動詞が対になっているものの例 [Examples of transitive and intransitive verb pairs]
他动词、自动词互相对应的的词例

他動詞	自動詞	他動詞	自動詞
電気をつける	電気がつく	エアコンを消す	エアコンが消える
ドアを閉める	ドアが閉まる	ハンドルをまわす	ハンドルがまわる
切手を集める	切手が集まる	水を出す	水が出る
食事を始める	食事が始まる	ビールを冷やす	ビールが冷える
車を止める	車が止まる	コップを割る	コップが割れる
電話をかける	電話がかかる	自転車をこぐ	自転車がこわれる
色を変える	色が変わる	本をなくす	本がなくなる

ポイント

「を」があっても自動詞。

Intransitive verbs even if the particle を is used. ！ 句中有「を」也是自动词。

・通過の場所の「を」 [The particle を of places of transit / 表示经过场所的「を」]

例 道を歩く、空を飛ぶ、階段を上がる、橋を渡る、など

・出る場所・離れる場所の「を」 [The particle を of places exited or left / 表示出发、离开的场所的「を」]

例 へやを出る、電車を降りる、会社をやめる、など



知っていますか

a でしょう b らしいです c ようです d はずです e かもしれません

1. 山口さんのおばあさんはことし80歳の____よ。3年前に77歳のおいおいをしたんですから。
2. A: このセーター、わたしが作ったの。いい色____。
B: ええ、ほんとうにいい色ね。
3. ガラスびんをゆうびんで送らないほうがいいです。割れる____から。
4. A: どうしたんですか。熱があるんですか。
B: ええ、かぜの____。のどが痛いんです。
5. リーさんから聞きましたが、あした有名な歌手がこの町に来る____よ。



使えますか

1. A: 何を読んでいるんですか。
B: まんがですよ。{ a おもしろいでしょう。 } あなたも読んでみませんか。
{ b おもしろいですよ。 }
2. { a リーさんは } 国へ帰るらしいです。
{ b わたしは }
3. 携帯電話で話しながら運転しないでください。{ a 事故をおこすはずですよ。 }
{ b 事故をおこすかもしれませんよ。 }
4. あしたは { a 土曜日ですから } 銀行は休みです。
{ b 土曜日だろうと思いますから }
5. A: これ、わたしの国のワインです。どうぞ。
B: ああ、{ a とてもおいしいです。 }
{ b とてもおいしいようです。 }



1. ～でしょう・～だろう

- (1) あしたはいい天気でしょう。
(2) これ、見て。いい色でしょう。



2. ～だろうと思います

3. ～らしいです

4. ～かもしれません

5. ～はずです

- (1) 4時に着くはずですよ。
(2) 寒いはずですよ。0度ですから。

6. ～ようです

7. ～はずがありません

☞ 1. ～でしょう・～だろう(1) [Possibly...; probably (1) / ...吧(1)]

- ① 10年後にはこの町も公園の数が増えるでしょう。
② ひさしぶりにいなかへ帰ります。村もずいぶん変わったでしょう。
③ 田中さんは旅行には行かないだろう。いそがしいと言っていたから。
④ 家族旅行はらいねんは無理だろう。
⑤ 松本選手は今度の試合に出られるでしょうか。

ポイント

1. はっきり断定できないことや天気予報など、未来の予測を表すのによく使われる。②のように、現在や過去のことの推測にも使われる。「～だろう」は「～でしょう」の普通形。
2. 話をする人の、意志的な行為の予測には使わない。2. 「～だろうと思います」、3. 「～らしいです」、5. 「～はずです」、6. 「～ようです」も同じ。

◆×わたしはらいねん結婚するでしょう。

3. ⑤のように「～でしょうか」は話すが自分も推測をしながらやわらかく聞く言い方。



1. This copula is often used for future predictions. For example: when something cannot be determined definitely, or for weather forecasts. It is also used for present and past inferences, as in number ②. The copula ～だろう is the plain form of ～でしょう.
2. This construct is not used for prediction of volitional acts of the speaker. This holds true for 2. (～だろうと思います), 3. (～らしいです), 5. (～はずです) and 6. (～ようです). →◆
3. The copula ～でしょうか is a way for the speaker to ask a question gently while predicting something will come true, as in number ⑤.

1. 经常用于不能明确断定的事物、天气预报等表示对未来的预测时。象例句②那样，可以表示现在的推测，也可以表示过去的推测。「～だろう」是「～でしょう」的普通体。
2. 不用于表示预测说话人的有计划的行为。2.「～だろうと思います」、3.「～らしいです」、5.「～はずです」、6.「～ようです」与此相同。→◆
3. 例句⑤中的「～でしょうか」是说话人一边推测，一边委婉地征求对方意见的说法。



普通形
plain form

+でしょう・だろう

例外 ナA~~だ~~/N~~だ~~ +でしょう・だろう

㊦ 1. ～でしょう・～だろう(2) [Don't you think...? (2)/...吧(2)]

① A: このセーター、わたしが編んだんです。いい色でしょう。

B: ほんとうにきれいですね。

② A: これ、いいだろう。きのう買ったんだ。

B: うん、いいカメラだね。ぼくにも貸してよ。

③ A: ただいま。

B: おかえりなさい。外は寒かったでしょう。

④ 子: お母さん、はさみはどこ?

母: ほら、机の上にちゃんとあるでしょう。

⑤ A: あした、お茶の会があるでしょう。あなたは出席しますか?

B: ええ、行きます。いっしょに行きましょうよ。



ポイント

1. ①②のように、自分の側のものについて相手に同意を求めたり、③のように、相手の気持ちや状況を思いやって同情したりするときの言い方。④⑤のように、相手に確認する場合にも使われる。

2. ⑤のように会話^{かいわ}を始めるきっかけ^{はじ}の言葉^{ことば}として使^{つか}われることもある。

1. In numbers ① and ②, the speaker tries to get the listener to agree with their opinion. In number ③, the speaker commiserates with the listener's feelings or situation. It is also used to verify something to the listener, as in numbers ④ and ⑤.

2. There are also times, as in number ⑤, that this pattern is used to initiate a conversation.

1. 有关自己一方的事物，征求对方的意见（如：例句①②），表示同情对方的心情、处境（如：例句③）时使用。向对方确认时也可以使用（如：例句④⑤）

2. 象例句⑤那样，提起来作为谈话的话题时也可以使用。

2. ～だろうと思います [(I) think perhaps... / 大概...]

① キャンプの参加者^{さん か しゃ}は50人ぐらいだろうと思います。

② みんなが集まるので、パーティーはきっと楽しいだろうと思います。あなたもぜひ来てください。

③ あしたの運動会^{うんどうかい}では、きっと白組^{しろぐみ}が勝つだろうと思う。

④ 父はこの結婚^{けっこん}には反対^{はんたい}するだろうと思う。

⑤ 子どもにはわたしの説明^{せつめい}がわからなかっただろうと思う。

ポイント

1. 話す人が推量^{すいりょう}、推測^{すいそく}したことを言いたいときに使う。1. 「～でしょうなど」より話す人の気持ち^{きもち}がはっきりしている。「～だろう」を使わないで「～と思います」だけでも推量の意味^{いみ}を表^{あらわ}すことができる。その場合^{ばあい}、「～だろうと思います」より確信^{かくしん}の度^どが強い。

2. 話をする人の意志^{いし}的な行^{こう}為^ゐの予測^{よそく}には使^{つか}わない。 → 1. 「～でしょうなど」(1)の(ポイント) 2.

1. This pattern is used when the speaker wants to make an inference or conjecture. It more clearly expresses the speaker's feelings than the pattern in 1. (～でしょう, etc.). One can express conjecture simply by using the pattern ～^{おも}と思います (I think), and dispensing with the ～だろう. In those cases, the nuance is that the speaker has a greater degree of confidence in what he or she says, than if ～だろうと^{おも}思います is used.
2. This pattern is not used to predict the speaker's intentional actions. → **ポイント** 2. in 1. (～でしょう, etc.) (1)

1. 表示说话人的推量、推测时使用。说话人的心情比 1. 「～でしょう・等」更明确。不使用「～だろう」而只用「～^{おも}と思います」也可以表示推量的意思。这时，比「～だろうと^{おも}思います」可信度更高。
2. 不用于表示预测说话人的有计划的行为。
→ 1. 「～でしょう・等」(1)的 **ポイント** 2.



普通形
plain form

+ だろうと^{おも}思います **例外** ナ A ~~だ~~ / N ~~だ~~ + だろうと^{おも}思います



3. ～らしいです [It appears that.../好象...]

- ① みんながホールのテレビの前に集まっていますよ。何か事故があつたらしいですよ。
- ② あの子はにんじんがきらいらしいね。いつもにんじんだけ残すよ。
- ③ ヤンさんはうちにはいないらしいです。留守番電話になっていましたから。
- ④ あの人はどうも日本人ではないらしいです。
- ⑤ 天気予報では、きょうは雨が降るらしいですよ。台風が近づいているらしいです。
- ⑥ 野球の試合が終わったらしく、おおぜいの人が野球場から出てきました。

ポイント

1. 話す人が見たり聞いたりしたことから、現時点で判断したことを言いたいときに使う。直感でそう思ったのではなく、そのように推測した客観的な根拠が何かある場合に使うことが多い。自分の主観だけで言うときに使うと不自然である。 → 6. 「～ようです」の **ポイント** 1.

- ◆ { × (わたしの) 目の中にゴミが入ったらしいです。
○ (わたしの) 目の中にゴミが入ったようです。

2. ⑤のように伝聞の意味にも使える。
3. 話をする人の意志的な行為の予測には使わない。 → 1. 「～でしょうなど」(1)の **ポイント** 2.
4. イ形容詞と同じように活用するが、普通、過去形や否定形では使わない。

1. This sentence ending is used when the speaker judges something from what he or she sees or hears at the present time. In most cases, it is used when the speaker does not think a certain way because of intuition, but because there is some objective basis for such conjecture. This ending would be unnatural when speaking, based only on one's own subjective opinion. →◆ → **ポイント** 1. in 6. (～ようです).
2. It can also be used with the same meaning of hearsay, as in number ⑤.
3. It is not used to predict intentional actions on the part of the speaker. → **ポイント** 2. in 1. (～でしょう, etc.)(1)
4. This pattern conjugates in the same way as an イ-adjective, but is generally not used in the past tense or as a negative.

1. 用于表达说话人对所见所闻的事物进行现时的判断。多用于不是通过直感推测，而是有客观根据的情形。没有任何客观根据，完全表示自己主观判断时，用「～らしいです」会使文章变得不自然。→◆
→ 6. 「～ようです」的 **ポイント** 1.
2. 可以用于表示传闻（如：例句⑤）
3. 不用于表示预测说话人的有计划的行为。
→ 1. 「～でしょう・等」(1) 的 **ポイント** 2.
4. 活用形与イ形容词相同，但是一般不使用过去时和否定形。



普通形
plain form

＋らしいです **例外** ナA~~らしい~~／N~~らしい~~ ＋らしいです



4. ～かもしれません

[Perhaps…／也许…]

- ① 雪の日は、この道はあぶないですよ。すべるかもしれませんよ。
- ② きょうは母が病気になるので、先に失礼するかもしれません。
- ③ ヤン：わたしの答えは正しいですか。

先生：正しいかもしれません、正しくないかもしれません。自分で調べてみてください。

- ④ (スポーツ番組で) あ、森田選手、はやい、はやい、金メダルがとれるかもしれません。
- ⑤ 外国で病気になるかもしれないから、旅行の保険に入ったほうがいいですよ。

ポイント

その可能性があるという意味に使う。その可能性は、③のように半々の場合も、④のようにかなり高い場合も、⑤のように万が一という場合もある。可能性を期待したり、恐れたりするときなどにも使われる。

This ending is used to show that there is a possibility of something. There are cases when that possibility is about 50-50, as in number ③; when it is quite high, as in number ④; and when it is very unlikely, as in number ⑤. It is also used when one is expecting the possibility of something or is afraid of the possibility of something.

表示有可能性时使用。可以象例句③那样有一半的可能性，可以象例句④那样表示较高的可能性，还可以象例句⑤那样表示万一、期待或者担心某事可能发生时也可以使用。



普通形
plain form

＋かもしれません

例外 ナA~~だ~~／N~~だ~~ ＋かもしれません



5. ～はずです(1)

〔(It) should (be) … (1)／会…(1)〕

- ① 田中さんはもう会社を出たはずですよ。5時の新幹線に乗ると言っていたから。
- ② 運動会の写真は山中君にたのみましょう。写真学校の学生だからでしょうはずですよ。
- ③ あのうちのおじょうさんも、10年前に7歳だったのだから、もう高校生のはずですよ。
- ④ リーさんは3時に家を出たそうですから、ここには4時前に着くはずですよ。

ポイント

1. 客観的な理由があって（例えば計算などをして）、推量にかなり確信があるときに使う。その理由から考えて、当然のことだと推量するときの言い方。④のように、予定を表すときにも使う。
2. 話をする人の意志的な行為の予測には使わない。→1.「～でしょうなど」(1)の(ポイント) 2.

1. This form is used when there is an objective reason for something, (for example, something one realizes through calculation) and the speaker has a high degree of confidence in what he or she is surmising. It is used to surmise something that should naturally occur when one considers the reasons. It is also used as in number ④, to state plans.
2. This form is not used to predict the intentional acts of the speaker. → (ポイント) 2. in 1. (～でしょう, etc.) (1)

1. 有客观的理由（比如经过计算等），对所推量的事物非常有信心时使用。考虑到其原因，推量出必然的结果的表达法。也可以象例句④那样，表示预计。
2. 不用于表示预测说话人的有计划的行为。
→ 1.「～でしょう・等」(1)的(ポイント) 2.



普通形
plain form

＋はずですよ

例外 ナA~~だ~~→ナAな／N~~だ~~→Nの ＋はずですよ



5. ～はずです(2)

[(It) should be... (2) / 应该..., 会... (2)]

- ① A: わあ、おいしいワインね。
B: おいしいはずですよ。高いワインなんですから。
- ② 寒いはずですよ。雪が降ってきました。
- ③ A: タンさんは日本語がじょうずですね。
B: 日本に10年も住んでいるんですから、じょうずなはずですよ。

ポイント

事実や状況から「それは当然だ」と言いたいときに使う。

This pattern is used when the speaker wishes to say something is natural, considering the facts or situation.

表示从事实、状况来看应该得出“必然的结论”时使用的表达法。



6. ～ようです

[It seems that... / 好象..., 似乎...]

- ① あれ、この牛乳、ちょっと悪くなっているようです。変なおいがします。
- ② このかぜ薬を飲むと眠くなるようです。きのうもきょうも、飲んだ後とても眠かったです。
- ③ A: わたしの背中^{せなか}に何かついてるようなんですけど、ちょっと見てください。
B: あ、木の葉^はがついていましたよ。
A: ああ、やっぱりね。変な感じがしたんですよ。
- ④ げんかんのベルが鳴ったようだよ。だれか来たのかな。
- ⑤ 森さんはきょう元気がないようでした。何か心配なことがあるのでしょうか。
- ⑥ みなさん、もう時間のようですので、きょうの会はこれでおわりにしたいとおもいます。
- ⑦ 中山君、きみはちょっと遅刻が多いようです。気をつけてください。



ポイント

1. 3. 「～らしいです」と同じような使い方をするが、自分の主観だけで言ってもよい。自分の感じや観察でそう推量したとき、または断定をさけて言うときに使う。くだけた会話では「～みたいだ」を使ってもいい。 → 3. 「～らしいです」の **ポイント** 1.
2. 話をする人の意志的な行為の予測には使わない。 → 1. 「～でしょうなど」(1)の **ポイント** 2.
- * ⑥⑦のように、遠慮した言い方(婉曲)の場合にも使う。

1. This pattern is used in the same way as 3. (～らしいです), but it can be used based solely on one's own subjective point of view. It is used when the speaker surmises something based on his own feelings, observations or judgments, or when he is avoiding drawing conclusions. In informal conversation, it is permissible to use the form ～みたいだ.

→ **ポイント** 1. in 3. (～らしいです).

2. This is not used to predict the speaker's intentional actions. → **ポイント** 2. in 1. (～でしょう, etc.) (1)

* 3. It is also used to show reserved politeness (indirectness) as in numbers ⑥ and ⑦.

1. 与 3. 「～らしいです」用法相同。表示通过自身的感觉、观察而推出某个结果，或者避开断定时使用的表现。在较随便的谈话中也可以使用「～みたいだ」。

→ 3. 「～らしいです」的 **ポイント** 1.

2. 不用于表示预测说话人的有计划的行为。

→ 1. 「～でしょう・等」(1) 的 **ポイント** 2.

* 3. 可以象例句⑥⑦那样，用于表示客气(委婉)的句中。



普通形
plain form

+ ようです **例外** ナ ~~だ~~ → ナ A な / N ~~だ~~ → N の + ようです

7. ～はずがありません

[There is no way... / 不会...]

- ① 何かのまちがいでしょう。彼が独身のはずがありません。ときどき奥さんの話をしますよ。
- ② 練習しなければじょうずになるはずがありません。あしたからもっといっしょうけんめい練習しましょう。
- ③ A: え、かぎがない? そんなはずはないよ。ほくはたしかに机の上に置いたよ。
B: あ、あった、あった、ごめんなさい。

ポイント

ある理由があって、そういう可能性はほとんどないと推量するとき。

This construct is used when conjecturing that there is no possibility of something because of a particular reason.

推断由于某种原因，几乎没有可能性时使用的表达法。

 **普通形**
plain form

＋はずがありません

例外 ナA~~は~~→ナAな／N~~が~~→Nの

＋はずがありません

コラム 7

助詞「は」「が」「を」が消える！ [The Particles は, が and を Disappear/助詞「は」「が」「を」的消失]

助詞「は」「が」「を」はほかの助詞を後ろにつけると消えてなくなる。
この3つ以外の助詞はほかの助詞をつけてもそのまま残る。

The particles は, が and を disappear when followed by other particles.
Particles other than these three remain even if appended to other particles.

助詞「は」「が」「を」后续其他助词时自然消失。
这三个助词以外的助词在后续其他助词时，保留原样。

雨が降っています。 ×風~~が~~も吹いています。

消える助詞 [Disappearing particles] ／自然消失的助词	は	が	が	を
	林 ^{はやし} さん ^{かいしや} は会社に行きます。	雨 ^{あめ} が降ります。	スキー ^{すきー} ができます。	本 ^{ほん} を読みます。
も しか は (対比) [Contrast／对比]	林 ^{はやし} さん ^も は会社に行きます。 林 ^{はやし} さん ^は しか会社に行きません。 林 ^{はやし} さん ^は は会社に行きますが、森 ^{もり} さん ^は は行きません。	雨 ^{あめ} が ^も 降ります。 雨 ^{あめ} が ^は しか降りません。 雨 ^{あめ} が ^は 降りますが、雪 ^{ゆき} が ^は は降りません。	スキー ^{すきー} が ^も できます。 スキー ^{すきー} が ^は しかできません。 スキー ^{すきー} が ^は はできますが、ス ケート ^{けーと} が ^は はできません。	本 ^{ほん} を ^も 読みます。 本 ^{ほん} を ^は しか読みません。 本 ^{ほん} を ^は は読みますが、テ レビ ^{てれび} を ^は は見ません。

消えない助詞 [Particles that don't disappear] ／原样保留的助词	で・に・へ・から・まで・と・など
	デパート ^{でぱーと} で買います。
も しか は (対比) [Contrast／对比]	デパート ^で でも買います。 デパート ^で でしか買いません。 デパート ^で では買いますが、スーパー ^{すーぱー} では買いません。



れん じゅう 練 習

問題Ⅰ () の中のことばを適当な形にして書きなさい。

1. お子さんはもうずいぶん大きく① でしょう。(なる)
2. 見てください。この子犬、② でしょう。(かわいい)
3. メリーさんは、なっとうはあまり③ だろうと思います。(好き)
4. 田中さんから聞きましたが、先週山中さんが④ らしいですよ。(入院する)
5. ミヤコさんのおとうさんは⑤ かもしれません。(社長)
6. 雪の日は電車が少し⑥ かもしれません。(おくれる)
7. さいふが見つかりません。⑦ かもしれません。(落とす)
8. ヤンさんは先週国へ⑧ はずですよ。(帰る)
9. ようこさんは⑨ はずがありません。(18歳)
10. あ、この紅茶、お酒が⑩ ようですね。いい香りですね。(入っている)

問題Ⅱ () の中のことばを適当な形に変えて、 の中のことばといっしょに使って書きなさい。1つのことばを2回ずつ使います。

でしょう だろう らしいです はずです

1. 見てください。これ、わたしが作ったんですよ。⑪ 。（じょうず）
2. この病気はたぶんすぐ⑫ と思います。(治る)
3. Kデパートはきょうは⑬ よ。毎週火曜日は定休日ですから。(休み)
4. きノウ、この近くで火事が⑭ 。（ある）
5. きょうはとても寒かった。あしたもたぶん⑮ 。（寒い）
6. 駅前にたしか交番が⑯ から、そこで聞いてください。(ある)
7. 天気予報の時間です。来週は晴れの日が⑰ 。（続く）
8. ニュースで聞きましたが、北海道ではきのう大雪が⑱ よ。(降る)



知っていますか

a なんと b なったら c すれば d しても e するなら

1. 先生：^{れんしゅう}練習しなさい。練習____、じょうずになります。
2. 学生：^{れんしゅう}練習していますよ。練習____、じょうずになりません。
3. 4時に____、お茶を飲みましょう。
4. A：アルバイトをしたいんですが。
B：アルバイトを____、事務室の^{じむしつ}の人に^{そうだん}相談してください。
5. この山では11月に____、^{ゆき}雪が降ります。



使えますか

1. 朝起きてまどを開けると、雪が $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 降っていました。} \\ \text{b 降りました。} \end{array} \right.$
2. レポートが $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 書けると、} \\ \text{b 書けたら、} \end{array} \right.$ わたしに見せてください。
3. 今、コンピューターを $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 買うなら、} \\ \text{b 買ったら、} \end{array} \right.$ ノート型が軽くいいです。
4. このカメラはかんたんですから、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 子どもでも} \\ \text{b 子どもだったら} \end{array} \right.$ ^{うつ}写せます。
5. 飛行機^{ひこうき}の $\left\{ \begin{array}{l} \text{a きつぷを取れば、} \\ \text{b きつぷが取れば、} \end{array} \right.$ オランダへ行きたい^{おも}と思っています。

答えはつぎのページにあります。

じょう けん
条件 [Conditionals/条件]



1. ~たら

2. ~ば・~なら (ば)

3. ~と

4. Vたら

5. ~ても・~でも

6. ~なら
7. Vると~た・Vたら~た

(1) ドアを開けると、犬がいました。

(2) タローと呼ぶと、その犬は走ってきました。

(3) 本を読んでいると、鳥が入ってきました。

* 8. Vると

* 9. ~ば~ (のに) ・~たら~ (のに) ・~と~ (のに)

 1. ~たら [If.../如果..., 要是...]

- ① もし、いい雑誌があつたら、買ってきてください。
- ② 気分が悪かつたら、帰ってもいいですよ。
- ③ もし、かばんが高くなかつたら、わたしもひとつ買いたいです。
- ④ もし、心配だつたら、電話をかけて聞いてみたほうがいいですよ。
- ⑤ もし、男の子だつたら、「あきら」という名前をつけましょう。
- ⑥ もし、あした雨でなかつたら、海へあそびに行きましょう。

○「たら」の形：た形十ら [The たら form: た form + ら / 「たら」的变化形式: た形 + ら]

動詞 (verb)	飲む ある	飲んだら あつたら	飲まなかつたら なかつたら
イ形容詞 (イ-adjective)	高い いい	高かつたら 例外 よかつたら	高くなかつたら よくなかつたら
ナ形容詞 (ナ-adjective)	げんき 元気	元気だつたら	元気でなかつたら
名詞 (noun)	びょうき 病気	病気だつたら	病気でなかつたら

ポイント

1. ☐ A たら、☐ B の形で、☐ A は仮定条件を表す。



2. 1. 「～たら」には、2. 「～ば・～なら(ば)」、3. 「～と」のような文末の制限がない。

1. In the construct [A] たら、[B] , [A] indicates supposition.

2. There are no limits on sentence endings in the 1. (～たら) form, as there are on 2. (～ば; ～なら(ば)) and 3. (～と) forms.

1. [A] たら、[B] 句型中、[A] 表示假定条件。
2. 1. 「～たら」没有象2. 「～ば・～なら(ば)」和3. 「～と」那样的句尾限制。



2. ～ば・～なら (ば)

[If...; if... / 如果... 要是...]

- ① よく読めば、わかります。
- ② むずかしいことばで書いてありますから、よく読まなければ、わかりません。
- ③ あした、もし天気がよければ、テニスをしますが、よくなければ、うちでビデオを見ます。
- ④ このCD、よかったよ。もし、聞きたければ、貸してあげますよ。
- ⑤ あさって、休みでしょう。もしひまなら、映画を見に行きませんか。
- ⑥ へやが静かでなければ、わたしは勉強できません。
- ⑦ もしその人がいい人ならば、いっしょに仕事をしたい。

○ 「ば」「なら (ば)」の形 [The ば and なら(ば) forms / 「ば」「なら (ば)」的构成法]

動詞 I (5 段動詞) Group I - verbs (-u verbs)	話 す + せ + ば → 話せば あ そ + れ + ば → あれば	話 さ な + ければ → 話さなければ な な + ければ → なければ
動詞 II (1 段動詞) Group II - verbs (-ru verbs)	見 み + れば → 見れば 食 べ + れば → 食べれば	見 み な + ければ → 見なければ 食 べ な + ければ → 食べなければ
動詞 III (不規則動詞) Group III - verbs (irregular verbs)	す す + れば → すれば 来 来 + れば → 来れば	し し な + ければ → しなければ 来 来 な + ければ → 来なければ
イ形容詞	安 やす + ければ → 安ければ いい → 例外 よ よ + ければ → よければ	安 やす く + ければ → 安くなければ よ よ く + ければ → よくなければ
ナ形容詞	元 げん 気 + なら → 元気なら	元 げん 気でな + ければ → 元気でなければ
名詞	鳥 とり + なら → 鳥なら	鳥 とり でな + ければ → 鳥でなければ

動詞 I (5 段動詞)	会 あ + え + ば
	書 か + け + ば
	出 で + せ + ば
	立 た + て + ば
	死 し + ね + ば
	飛 と + べ + ば
	読 よ + め + ば
	乗 の + れ + ば

あいうえお
かきくけこ
さしすせそ
たちつと
なにぬねの
はひふへほ
まみむめも
や ゆ よ
らりるれろ

ポイント

1. **A** ば/なら(ば)、**B** の形で、**A** は仮定条件を表す。動詞とイ形容詞には「～ば」を使い、ナ形容詞と名詞には「～なら」を使う。「～なら」は⑦のように「～なら(ば)」の形で使うこともある。

2. **A** の動詞が動作動詞のときは **B** には話す人の意志、依頼などを表す文はこない。

- ◆ { ×もし熱が出れば、この薬を飲んでもください。
○もし熱が出れば、旅行には行けません。
○もし熱が出たら、この薬を飲んでください。 → 1. 「たら」の **ポイント** 2.

しかし、**A** の動詞が状態性の動詞（「あれば」「いれば」など）や動詞の否定形（「食べなければ」など）、または、**A** が形容詞文（「安ければ」など）のときにはこの制限がなくなる。

→ コラム 8 「文末に気をつけよう」(p204)

1. In the construct **A** ば/なら(ば)、**B** , **A** indicates supposition. Verbs and イ-adjectives take ～ば; but ナ-adjectives and nouns take ～なら. The pattern ～なら can also become ～ならば, as in number ⑦.

2. When **A** is an action verb, the speaker's intentions or requests are not expressed in **B** . → ◆ → **ポイント** 2. in 1. (たら)

This restriction does not apply however, when the verbs in **A** are verbs of state (あれば, いれば, etc.), verbs of negation (食べなければ, etc.) or when adjectives (安ければ, etc.) are used. → Column 8 , Watch Out for Sentence Endings, p.204

1. **A** ば/なら(ば)、**B** 句型中、**A** 表示假定条件。动词和イ形容词用「～ば」、ナ形容词和名词用「～なら」。「～なら」可以象例句⑦那样用「～ならば」的形式来代替。

2. **A** は動作動詞時、**B** 不能是表示说话人的意志、请求的表达法。→ 1. 「たら」的 **ポイント** 2.

但是、如果 **A** 是状态性动词（「あれば」「いれば」等）或者是动词的否定形（「食べなければ」）、形容词句（「安ければ」等）时，不受这一规定的限制。

→ 专栏 8 「注意句尾变化」(p204)

3. ～と [When... / ...就...]

- ① 暖かくなると、さくらの花がさきます。
- ② ここを強く押さないと、電気はつきません。
- ③ わたしは、となりのへやがうるさいと眠れません。
- ④ 外国語がじょうずだと、いろいろな仕事ができます。
- ⑤ この学校は外国人でないと入れません。
- ⑥ この道を右に曲がると、駅が見えます。

* ⑦ A: 会議の時間が変わったことを木村さんにも知らせないと。

B: そうですね。

* ⑧ ひろし、早く起きないと。もう8時だよ。

ポイント

1. [A] と、[B] の形で、[A] が成立した場合、必然的に [B] が成立するという意味を表す。[B] は現在形。話す人の意志、依頼などを表す文はこない。

→コラム8「文末に気をつけよう」(p204)

- ◆ { ×春になると、山へ遊びに行きましょう。
○春になると、山にはきれいな花がさきます。

- * 2. 話す人の意志の行動でも、習慣的な行為の場合は意志性が薄いので使える。

◆・わたしは、おなががすくと、いつもラーメンを作って食べます。

- * 3. ⑦⑧のように、日常生活の中で相手や自分にある行動をとるように促す警告の意味でよく使われる。後ろには「いけない・だめだ・困る」などの否定的な言葉が省略されている。

1. This construct, [A] と、[B], signifies that when [A] is realized, [B] must come about necessarily. [B] is in the present tense. The speaker's intentions or requests are not given in [B]. →◆ →Column 8, Watch Out for Sentence Endings, p.204

- * 2. This can be used even about the speaker's intentional actions because the intentionality in cases of habitual action is slight. →◆

- * 3. This is often used, as in numbers ⑦ and ⑧, when the listener or speaker himself is admonished to act a certain way in his or her daily life. The negative admonitions いけない (can't), だめだ (bad) and 困る (will be a problem) are omitted in the latter part of the sentence.

1. [A] と、[B] 句型, 表示[A] 如果成立的话, 必然出现后面的结果 [B] 的意思。句尾为现在时, 不出现表示说话人意志、请求的表现。→◆ →专栏8 「注意句尾变化」(p204)

- * 2. 虽然是说话人有意识的行为, 但因为习惯性行为意志性较弱, 也可以使用。→◆

- * 3. 经常用于日常生活中督促对方或自己采取某个行动(如: 例句⑦⑧)。后边的「いけない・だめだ・困る」等表示否定的表达经常被省略。



普通形
plain form

の現在形 + と

4. Vたら [When do (verb)/…的时候]

- ① 夏休み^{なつやす}になったら、国^{かえ}へ帰ります。
- ② 京都駅^{きょうとえき}に着いたら、電話^{でんわ}をかけてください。すぐ、迎え^{むか}に行きます。
- ③ 写真^{しゃしん}ができた^ら、わたしにも1まいください。

ポイント

A たら、**B** の形で、**A** の動作・作用（未来のこと）が完了した後、**B** の行為^{こうい}をするという意味を表す。したがって、この「Vたら」に仮定^{かてい}の意味はない。**B** では話し手^での意志^{いし}や考え^{かんが}、意見^{いけん}、助言^{じょげん}などを表す文^{ぶん}がくることが多い。この使い方は「Vたら」だけの特別^{とくべつ}の用法^{ようほう}である。

The construct **A** たら、**B** connotes that after the action or effect (in the future) of **A** has been completed, the action of **B** will occur. Accordingly, there is no meaning of supposition in this usage of V-たら. In many cases, the speaker's intentions, ideas, opinions or advice are stated in **B**. This is a special usage unique to the V-たら pattern.

A たら、**B** 句型表示 **A** 的動作、作用（未来的事項）完成以后，执行 **B** 行为。这里的「Vたら」没有假定的意思。**B** 句多为说话人的意志、想法、意见、提议等。这是只有「Vたら」能使用的特殊用法。

5. ～ても・～でも [Even if…/即使…]

- ① 私はタイ語^しを知らない^{わたし}ので、見てもわかりません。
- ② A：いい仕事^{しごと}があったら、アルバイトをしますか。
B：いいえ、勉強^{べんきょう}が大変^{たいへん}なので、いい仕事があってもアルバイトはしません。
- ③ この会社^{かいしゃ}は給料^{きゅうりよう}は安い^{やす}んですが、給料が高くな^つくても、わたしはこの会社で働きたいです。
- ④ (会社^{かいしゃ}の面接^{めんせつ}で)

ジム：わたしは日本語がまだへたですが、だいじょうぶですか。

社員^{しゃいん}：ええ、日本語がじょうずでなく^{ても}、この仕事^{しごと}はできますよ。

- ⑤ このパソコンソフトはかんたんだから、子どもでも使えます。
- ⑥ へやの外^{やまだ}から山田^{やまだ}さんを何回^{なんかい}呼んでも、返事^{へんじ}がありませんでした。
- ⑦ このことばはいくら調べても、たぶん辞書^{じしょ}にはないでしょう。

○「ても」「でも」の形：て形+も [The ても and でも forms: てform + も / 「ても」「でも」的形式: て形 + も]

動詞	飲む ある	飲んでも あっても	飲まなくても なくても
イ形容詞	高い いい	高くても よくても	高くなくとも よくなくとも
ナ形容詞	元気 いい	元気でも	元気でなくとも
名詞	子ども	子どもでも	子どもでなくとも

ポイント

1. [A] ても/でも、[B] の形で、[A] が成立すると当然 [B] が成り立つはずなのに、成り立たない（成り立たなかった）という意味を表す（逆接假定）。譲歩の意味でも使う。②のように「～たら・～ば・～と」の質問に「いいえ」で答える場合にも使う。
2. ①②のように仮定のことに、③④のように既定のことに、⑤のように両方になる場合にも使う。→ 4課 II-2. 「～のに」(p47) のポイント 2.
3. ⑥⑦のように、「疑問詞+～ても・～でも」の形でよく使う。

1. In the construct [A] ても/でも、[B], what is connoted is that [B] should naturally occur when [A] does, yet [B] does not occur (contrary results). It is also used with the connotation of compromise. It can be used to answer in the negative (いいえ) to questions using the patterns ～たら, ～ば and ～と, as in number ②.
2. This pattern is used for suppositions, as in numbers ① and ②; for fixed items, as in numbers ③ and ④; and for both, as in number ⑤. → ポイント 2. in Lesson 4, II-2., (～のに), p.47
3. It is also often used in the construct "interrogative + ～ても or ～でも", as in numbers ⑥ and ⑦.

1. [A] ても/でも、[B] 句型, 表示 [A] 如果成立的话, [B] 理所当然成立, 却没有达到预想的要求(逆接假定). 还可以用于表示让步. 回答「～たら・～ば・～と」等问句时也可以使用 (如: 例句②).
2. 可以象例句①②那样用于假定, 也可以象例句③④用于既定, 还可以象例句⑤一样假定、既定两者都成立时使用。→ 第4课 II-2. 「～のに」(p47) 的ポイント 2.
3. 经常以「疑问词+～ても・～でも」的形式 (如: 例⑥⑦) 使用。



6. ～なら

[If that's the case, then... / 要是...]

① A: 今から図書館へ行きます。

B: あ、図書館へ行くなら、わたしも本を返しに行きます。

② A: あれ、林さん、もう帰るんですか。ぼくはまだ仕事があるんです。

B: そう、まだ仕事があるなら、お弁当と熱いお茶を買ってきませんか。

- ③ A: あっ、ドアが^あ開かない。かぎが^かかかっている。
 B: えっ、かぎが^かかかっているのなら、かぎを^か借りてきましょう。
- ④ (友だちが^{なつとう}納豆を食べないのを見て)
 ジムさん、納豆が^なきらいなら、食べなくてもいいんですよ。
- ⑤ A: 田中さん、^{たなか}いませんか。
 B: 田中さんなら、さっき出かけましたよ。

ポイント

1. [A] なら、[B] の形で、[A] で相手の言ったことや様子を受けて、[B] で話す人の助言、意志、意見などを言う。
2. ⑤のように、何かを取り立てて言う言い方もある。
3. 話し言葉では、③のように「～なら」の前に「の/ん」を入れて「のなら/んなら」となることが多い。

1. In the construct [A] なら、[B], the speaker takes into account in [A] the gist of what is said by the other person, and in [B] gives his or her own advice, intentions or opinions concerning the matter.
2. This construct is also used when mentioning something, as in number ⑤.
3. In spoken Japanese, the utterances の and ん are often inserted before the ～なら, as in number ③, making the construction のなら or んなら.

1. [A] なら、[B] 句型中、[A] 表示接受对方说的事情、样态、[B] 提出说话人的提议、意志、意见等。
2. 也可以象例句⑤一样表示强调。
3. 口语中经常象例句③那样，在「～なら」的前边加上「の/ん」等变成「のなら/んなら」等形式。

普通形 (plain form) + なら 例外 ナA~~だ~~/N~~だ~~+ なら

7. Vると～た・Vたら～た(1)

[When did (verb), there was...doing (verb) (1) / ...就... (1)]

- ① ドアを開けると、大きい犬が^{いぬ}いました。
- ② へやに^{はい}入ると、会議はもう^{かいぎ}始^{はじ}まっていた。
- ③ 机の上を見ると、彼女からの^{かのじょ}手紙が^{てがみ}ありました。
- ④ コンピューターをつけたら、メールが7つも^ききていました。
- ⑤ Mデパートへ行ったら、きょうは^{やすみ}休みでした。



ポイント

1. [A] と/たら、[B] の形で、[A] の行為によって、[B] 「すでに起こっていたこと、あったこと」などを見つけたという意味を表す。[B] は「～ていた」の形が多い。
2. [A] の主語と [B] の主語は違う。意外なことがあったときに使われ、驚きや特別な気持ちを表すことが多い。「Vると」も「Vたら」もほとんど同じように使う。
3. { まどを開けると、富士山が見えます。(いつものこと)
[always the case / 恒常的事项]
まどを開けると、富士山が見えました。(ある特定の過去のこと)
[one special past event / 某个特定的过去]

1. In the construct [A] と/たら、[B], what is indicated is that through the actions of [A], [B] (what has already occurred or happened) has been discovered. Often, [B] contains the pattern ～ていた.

2. The subject in [A] is different from that of [B]. It is often used when something unexpected has occurred, or when the speaker is surprised or expresses a special feeling about something. The V-ると and V-たら forms are used in almost exactly the same way.

3. →◆

1. [A] と/たら、[B] 句型表示根据 [A] 的行为发现「已发生的事情、已存在的事物」。

[B] 多用「～ていた」这种形式。

2. [A] の主語与 [B] の主語不同。多用于表示意外发生的事情、惊异、特殊的心情。此时，「Vると」和「Vたら」用法基本相同。

3. →◆



7. Vると～た・Vたら～た(2)

[When did (verb), then did (verb) (2) / 一…就… (2)]

- ① のり子が「タロー」と呼ぶと、その犬は走ってきました。
- ② CDをかけると、子どもたちはおどりはじめました。
- ③ お酒を飲んだら、気分が悪くなりました。

ポイント

1. [A] と/たら、[B] の形で、[A] の行為がきっかけとなって [B] のことが起こったという場合に使う。
2. [B] に、話す人の意志のある行為を表す文はこない。

1. In the construct [A]と/たら、[B]、[B] occurs as a result of some action in [A].
2. Intentional acts by the speaker are not included in [B].

1. [A]と/たら、[B]，句型表示由于[A]的行为而引起[B]的结果。
2. [B]句中，不出现表示说话人意志的行为。



7. Vると〜た・Vたら〜た(3) [While was ... doing (verb), then did (verb)(3)]

- ① 本を読んでいると、まどから鳥が入ってきました。
- ② 兄のことを心配しながら地震のニュースを見ていると、兄から「ぼくはだいじょうぶだよ」と電話がかかってきました。
- ③ 山道を歩いていたら、林の中からさるの親子が出てきました。
- ④ スーパーで買い物をしていたら、マリさんも来ました。



ポイント

1. [A]と/たら、[B]の形で、[A]のことをしているとき、[B]のことが起こったり、何かに出会ったりするという意味。偶然、思いがけなく、という感じがある。
2. [B]はできごとなどを表す文で、状態や話す人の行為を表す文はこない。

1. In the construct [A]と/たら、[B]、[B] occurs or encounters something or someone during the interval of [A]. It has the nuance of coincidence and unexpectedness.
2. The [B] clause describes what happens. Clauses to explain the situation or the speaker's actions are not used.

1. [A]と/たら、[B]句型,表示执行[A]行为时,发生[B]事项、或偶然碰到什么的意思。有偶然、没想到的感觉。
2. [B]表示发生的事件,不出现表示状态、说话人行为的表现。



8. Vると [When.../一…就…]

- ① 兄は上着を着ると、だまって出ていきました。
- ② 次郎は手紙を読み終わると、すぐに返事を書きはじめました。
- ③ このごろ、マリはうちに帰ってくると、すぐどこかへ電話をかけます。

ポイント

[A] と、[B] の形で [A] の動作に続いてすぐ [B] の動作をする様子を表す。[A] と [B] の主語は同じ。[B] には、話す人の意志や依頼を表す文はこない。

The construct [A] と、[B] indicates that action [B] occurs immediately after action [A]. [A] and [B] have the same subjects. The speaker's intentions or requests are not given in [B].

[A] と、[B] 句型,表示[A] 動作之后立刻执行[B] 動作。[A]、[B] 主語相同。[B] 中不出现表示说话人意志、请求的表现。



9. ～ば～(のに)・～たら～(のに)・～と～(のに)

[If only (I) had.../如果...]

- ① (試験のあと) ああ、もっと勉強すればよかった。
- ② きのうデパートできれいなセーターを見たんです。もし大きいサイズがあれば買ったんですけど……。
- ③ ああ、よかった。もしきつぷを忘れていたら、会場に入らなかった。
- ④ 林さんも来られるとよかったのに。残念だったなあ。
- ⑤ あの人は、もう少し友だちの意見を聞くといいのに……。

ポイント

[A] ば/たら/と、[B] の形で、事実とは違うことを仮想して、実現しなかったことなどについて、残念な気持ちやよかったという気持ちなどを述べる。[B] は「～よかった・～よかったのに・～けれど」などの表現が多い。

The pattern [A] ば/たら/と、[B] is used to express feelings of regret or gladness because of something that did not occur, or when the speaker imagined something different from the reality. The patterns ～よかった, ～よかったのに and ～けれど are often used as sentence endings in these cases.

[A] ば/たら/と、[B] 句型, 叙述设想与事实相反, 对于没有实现的事项表示遗憾或高兴。

[B] 经常用「～よかった/～よかったのに/～けれど」等。



問題Ⅰ () の中のことばを使って _____ に書きなさい。

1. ことしの夏^{なつ}は、休みが① _____ たら、北海道^{ほっかいどう}に行きたいです。(取る^と)
2. A: 林^{はやし}さんはタイ語がわかるでしょうか。
B: ええ、ゆっくり② _____ ば、わかるでしょう。(話す)
3. A: お金があれば何でも買^かえると思^{おも}いますか。
B: いいえ、お金が③ _____ も、買^かえないものもあります。(ある)
4. わたしはへやが④ _____ ば、眠^{ねむ}れません。(しずかでない)
5. A: 携帯電話^{けいたい}を買^かいたいんですが、どこへ行^いったらいいでしょうか。
B: 携帯電話^{けいたい}を⑤ _____ なら、新宿^{しんじゅく}のABC店^{てん}がいいですよ。(買^かう)
6. お酒^{さけ}を⑥ _____ と、楽^{たの}しくなります。(飲^のむ)

問題Ⅱ () の中のことばを適^{てきとう}当^{かたち}な形にして、 の中のことばといっしょ
に使^{つか}って書きなさい。1つのことばは1回^{かい}しか使^{つか}えません。

と ても なら

1. A: 来月^{らいげつ}ドイツに行くんですが、厚^{あつ}いコートを持^もっていったほうがいいでしょうか。
B: ええ、冬^{ふゆ}のドイツに⑦ _____ 、あたたかいコートが必要^{ひつよう}ですよ。(行く)
2. この赤^{あか}いボタンを右^{みぎ}に⑧ _____ 、音^{おと}が大きくなります。(まわす)
3. あしたは、雨^{あめ}が⑨ _____ サッカーの試合^{しあい}をします。(降^ふる)

たら ば ても

4. すみませんが、今^{いま}そがしいので3時に⑩ _____ 来^きてください。(なる)
5. くもりの日は見えませんが、天^{てん}気が⑪ _____ 、ここから富士山^{ふじさん}が見えます。(いい)
6. このへやはクーラーを⑫ _____ 暑^{あつ}いです。(つける)



知っていますか

- a あげました b もらいました c いただきました d やりました
e くれました

- わたしは林先生からお手紙を_____。
- わたしはけさ花に水を_____。
- わたしはあきこさんの誕生日に、あきこさんにケーキを_____。
- あきこさんはわたしの誕生日に花を_____。
- わたしはパソコンの使い方がわからなかったので、友だちに教えて_____。



使えますか

- わたしは { a おばあさんに
b おばあさんの } かばんを持ってあげました。
- かぜをひいて寝ているとき、 { a 友だちが来て
b 友だちが来てくれて } ちょっと困りました。
- リーさんはいつも { a わたしの妹を
b リーさんの妹さんを } てつだってあげます。
- マリアさんがかぜをひいたので、 { a わたしはマリアさんにおかゆを作ってあげました。
b マリアさんはわたしにおかゆを作ってもらいました。
- わたしはリーさんから本を { a 貸してもらいました。
b 見せてもらいました。

答えはつぎのページにあります。

じゅ じゅ
授 受

[Giving and Receiving / 授受]



1. Nをあげます・Nをさしあげます・Nをやります
2. Nをもらいます・Nをいただきます
3. Nをくれます・Nをくださいます
4. Vてあげます・Vてさしあげます・Vてやります
5. Vてもらいます・Vていただきます
6. Vてくれます・Vてくださいます



外

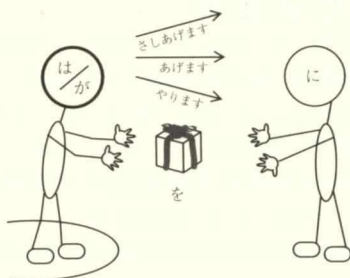
わたし側の人 = a person on my side = 我方の人



1. Nをあげます・Nをさしあげます・Nをやります

[Give (noun) to an equal, an equal gives (noun) to someone; give (noun) to a superior; give (noun) to an inferior, animal or object / 給…]

- ① 姉はあい子さんの誕生日にケーキをあげました。
- ② A: わあ、たくさんおみやげを買いましたね。
B: ええ、会社の人たちにあげるんです。この人形は課長の奥様にさしあげようと思っ
て買いました。
- ③ A: 森さんはお正月に、お子さんにお年玉をあげますか。
B: いいえ、自分の子どもたちにはやりませんよ。
- ④ わたしの旅行中、花に水をやるのを忘れないでね。



1. c

2. d

3. a

4. e

5. b



1. b

2. a

3. b

4. a

5. a

ポイント

1.

^{あた}与える人 は/が ^う受ける人 に  を { さしあげます。
あげます。
やります。

^{わたし側の人}
[a person on my side / 我方的人]

与える人は受ける人よりわたしに近い人。4. 「Vてあげますなど」も同じ。

- ◆ {
 - × 林さんはわたしにプレゼントをあげました。
 - 林さんはわたしにプレゼントをくれました。
- ◆ {
 - × メリーさんはわたしの妹にプレゼントをあげました。
 - メリーさんはわたしの妹にプレゼントをくれました。

2. 「さしあげます」は、②のように受ける人が目上の場合に使う。「やります」は、④のように動植物などの場合に使う。また、③のように、自分の家族に対してすることを、家族以外の人に話すときにも使う。4. 「Vてやります」も同じ。

1.

The giver は/が receiver に  を { さしあげます。
あげます。
やります。

The giver is the closer person to me than the recipient. This holds true for 4. (V-てあげます, etc.) as well. →◆

2. The verbal さしあげます is used when the recipient is a social superior, as in number ②. The verbal やります is used for plants and animals, as in number ④. It is also used when talking to others about things the speaker does for his own family, as in number ③. This is true for 4. (V-てやります) as well.

1.

授与方 は/が 接受方 に  を { さしあげます。
あげます。
やります。

授与方比接受方和我親密的。4. 「Vてあげます・等」用法与此相同。→◆

2. 「さしあげます」用于接受方是上级时(如: 例句②)。「やります」用于动植物(如: 例句④)。也可以象例句③那样, 向他人谈起自己家庭内的人物时使用。4. 「Vてやります」用法与此相同。



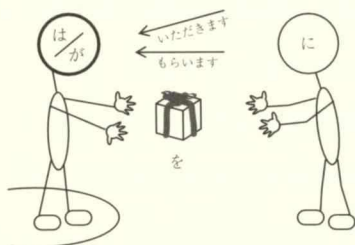
2. Nをもらいます・Nをいただきます

[Receive (noun); receive (noun) humbly / 得到…]

- ① わたしは子どものころ、よくおじに本をもらいました。
- ② A: いいネクタイですね。自分で買ったのですか、だれかにもらったのですか。
B: 兄にもらったんです。

③ 母は田中先生からお手紙をいただいてうれしそうです。

④ ミナコさんは誕生日に、お父さんからゆびわをもらうと言っていました。



ポイント

1. う受ける人 は/が あた与える人 から/に  を {もらいます。 / いただきます。
わたし側の人
 [a person on my side / 我方の人]

受ける人は与える人よりわたしに近い人。5. 「Vてもらいますなど」も同じ。

- ◆ { ×リカさんはわたしからプレゼントをもらいました。
 ○わたしはリカさんにプレゼントをあげました。
 ◆ { ×あなたはわたしの妹にプレゼントをもらいましたか。
 ○わたしの妹はあなたにプレゼントをあげましたか。

2. 与える人を表す助詞は「に」でも「から」でもよい。ただし、与える側が人ではない場合（会社、学校、団体など）には、「から」を使う。

- ◆ { ×わたしは会社に30万円もらいました。
 ○わたしは会社から30万円もらいました。

3. 「いただきます」は、③のように与える人が目上の人の場合に使う。

1. receiver は/が giver から/に  を {もらいます。 / いただきます。

The recipient is the closer person to me than the giver. This holds true for 5. (V-てもらいます, etc.), as well.

→◆

2. Particles to indicate the giver can be に or から. When the giver is not a person, however, (as in the case of a company, school, group, etc.) から is used. →◆

3. The verbal いただきます is used when the giver is a social superior, as in number ③.

1. 接受方 は/が 授与方 から/に  を {もらいます。 / いただきます。

接受方比授与方和我親密的。5. 「Vてもらいます・等」用法与此相同。→◆

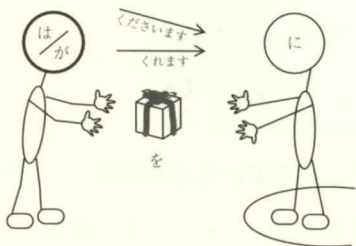
2. 表示提供方的助词可以是「に」，也可以是「から」。但是，如果提供方不是人物时（公司、学校、团体等），要用「から」。

→◆

3. 「いただきます」用于提供方是上级时（如：例句③）

[To give (noun) to speaker; a social superior gives (noun) to speaker / 给 (我) ...]

- ① ^{たんじょうび}誕生日に、母はわたしに着物^{きもの}をくれました。
- ② このペンは、国を出るとき、友だちがくれたものです。
- ③ A：あら、その案内書^{あんないしょ}、どこでもらったんですか。
B：受付^{うけつけ}に行けば、くれますよ。
- ④ ^{そつぎょう}卒業のとき、^{おおやま}大山先生は^{むすこ}息子に本をくださいました。



ポイント

1. あた 与える人 は／が う 受ける人 に  を { くれます。
く ださいます。
わたし側の人
[a person on my side / 我方の人]

受ける人はわたし側の人だけ。6. 「Vてくれます^うなど」も同じ。^{がわ}^{おな}

- ◆ {

 ×田中さんは山田さんにプレゼントをくれました。

 ○田中さんはわたしにプレゼントをくれました。

2. 「くださいます」は、④のように^{あた}与える人が^{めうえ}目上の人の場合^{ばあい}に使う^{つか}。

1. giver はが receiver に  を { くれます。
 くださいます。

The recipient is the person on my side.
This is true for 6. (V-てくれます, etc.), as well. →◆

2. The verbal *くださいます* is used when the giver is a social superior, as in number ④.

1. 授与方 は/が 接受方 に  を { くれます。 / くださいます。

接受方是我方的人。6.「Vてくれます・等」用法与此相同。→◆

2. 「くださいます」用于提供方是上级的句中（如：例句④）。

4. Vてあげます・Vてさしあげます・Vてやります

[Do the favor of...for...an equal, a social superior, an inferior or a non-human being/ 給...]

- ① パーティーの後、中山さんは春子さんを家まで送ってあげました。
- ② 山田さんは林さんにいいアルバイトを紹介してあげたいです。
- ③ きのう、林さんのおばあさまが荷物をたくさん持っていってくださったので、わたしは、おばあさまのバッグを持ってさしあげました。
- ④ A: 林さんは、夜、お子さんたちに本を読んであげますか。
B: ええ、毎晩読んでやります。



ポイント

- 相手のために親切な行為をすることを表す言い方。 → 1. 「Nをあげますなど」の(ポイント) 1.、2.
- 自分の行為を「Vてあげます」と言うと、自分の親切な心を強調するような感じになってしまふことがある。仕事の上の当然の行為には使わない。会話の相手が目上の人の場合もあり使わないほうがいい。

- ◆ { ×案内係：ではおへやに案内してあげます。お荷物を持ってあげましょう。
○案内係：ではおへやにご案内いたします。お荷物をお持ちしましょう。

→ 20課 6. 「おVしますなど」(p199)

- ◆ { ×先生、わたしの両親の写真を見せてさしあげますよ。
○先生、わたしの両親の写真をみてくださいませんか。

3. 助詞の使い方に注意。 5. 「Vてもらいます・Vていただきます」 6. 「Vてくれます・Vてくださいます」も同じ。次の表(P172)の番号①～④は、4. 「Vてあげます・Vてさしあげます・Vてやります」 5. 「Vてもらいます・Vていただきます」 6. 「Vてくれます・Vてくださいます」のそれぞれの例文の番号と対応する。

① ～を	行為が相手（～を）に直接に及ぶ [Action directly affects the other party (～を) / 行为直接作用于对方 (～を)] さそう たす 助ける よぶ つ 連れていく あんない 案内する (車で) 送る おこす まつ 待つ など 子どもを助けてあげます。 
② ～に～を	行為の対象（～を）と、それを受ける相手（～に）がある [Object of action (～を) and recipient of that action (～に) are necessary / 有行为的对象 (～を) 和其接受者 (～に)] か 貸す しょうかい 紹介する みせる し 知らせる てがみ (手紙を) 送る おし 教える (電話を) かける など もり 森さんにかさを貸してあげます。 
③ ～の～を	行為の対象（～を）が、相手（～の）の持ち物や相手に関係があるもの [Object of action (～を) is a possession of the other party or something related to the other party himself] (～の) / 行为的对象 (～を) 与对方的所持物品 (～の) 或者对方有关系。 も 持つ はこ 運ぶ あらう なおす など はなこ 花子さんの荷物を持ってあげます。 
④ ～に～を	②の動詞と違って、動詞そのものは元来相手を必要としないが、相手（～に）のためにその親切な行為をして、その行為から生まれたもの（～を）が相手に届く Unlike the verbs in number ②, these verbs do not require the original party, but show that the speaker does something kind for the other party (～に) and delivers the product of that kindness (～を) to the other party. / 与②的动词不同, 动词本身不需要对象, 由于对方 (～に) 发生的行为而产生的结果 (～を) 影响到对方。 つく 作る かう 買う よむ 読む うたう 歌う かく 書く など おばあさんに手紙を読んであげます。 

1. This expression is used to demonstrate an act of kindness toward the other party. → **ポイント**1., 2. in 1. (N をあげます, etc.).
2. If the speaker uses the phrase V-てあげます about his own actions, he ends up sounding as if he is emphasizing his own kindness. This is not used for work that is expected to be done. It is also best not to use it in conversation when the listener is a social superior. → ◆ → Lesson 20, 6. (お-V-します, etc.), p.199
3. Note the usage of particles. This usage holds true for 5. (V-てもらいます; V-ていただきます), 6. (V-てくれます; V-てくださいます) as well. The numbers ①-④ on the chart (p.172) correspond to the numbers assigned to examples for 4. (V-てあげます, V-てさしあげます and V-てやります), 5. (V-てもらいます, V-ていただきます) and 6. (V-てくれます, V-てくださいます).

1. 表示为对方做某事时使用。→ 1. 「N をあげます・等」の**ポイント**1.、2.
2. 对于自己的行为用「V てあげます」来表达, 给人强调自己热情的感觉。不用于工作上理所当然的事项。谈话对方是自己的上级时, 一般不使用。→ ◆ → 第20课 6. 「おV します・等」(P199)
3. 注意助词的用法。5. 「V てもらいます・V ていただきます」6. 「V てくれます・V てくださいます」用法与此相同。表 (P172) 中的编号与 4. 「V てあげます・V てさしあげます・V てやります」5. 「V てもらいます・V ていただきます」6. 「V てくれます・V てくださいます」中例句的编号互相对应。



5. Vてもらいます・Vていただきます

[Have (someone) do (verb); have someone (socially superior) do (verb) / 得到…]

- ① わたしは朝起きられないので、いつも母にたのんで起こしてもらいます。
- ② 急にお金が必要になったので、友だちにお金を貸してもらいました。
- ③ わたしは、高橋先生にスピーチの作文をなoshiteいただきました。
- ④ わたしは、10年前おじに買ってもらった辞書を、今も使っています。

ポイント

1. 親切な行為を受けることを表す言い方。→ 2. 「N をもらいますなど」の**ポイント**1.、3.
2. 「N をもらいます・N をいただきます」と違って行為をする人を表す助詞は「に」だけを使う。ただし、「貸してもらいます」、「教えてもらいます」などのように、行為をする人から受ける人へ、ものなどが移動する場合は「から」を使うこともある。

- ◆ { ×わたしはリーさんから写真をとってもらいました。
○わたしはリーさんに写真をとってもらいました。
○わたしはリーさんからかさを貸してもらいました。

3. 「Vてもらいます」は、6. 「Vてくれます」と違って、その行為を頼んだという感じがある。

4. 助詞の使い方に注意 → 4. 「Vてあげますなど」の表 (p172)

1. This expression indicates the speaker received an act of kindness from someone.

→ ポイント 1., 3. in 2. (N をもらいます, etc.)

2. Unlike the patterns in 2. (N をもらいます; N をいただきます), only the particle に is used to indicate the agent of the action. However, as can be seen in 貸してもらいます and 教えてもらいます, sometimes から is used when something is transferred from the agent of the action to the recipient of the action. → ◆

3. The pattern V-てもらいます, unlike 6. (V-てくれます), has the feel that someone has requested the action.

4. Watch out for particle usage. → 4. (V-てあげます, etc.), Chart, p.172,

1. 表示接受好意的行為。 → 2. 「N をもらいます・等」の ポイント 1., 3.

2. 与 2. 「N をもらいます・N をいただきます」不同, 表示行為執行者の助詞只能用「に」。但是, 象「貸してもらいます」、「教えてもらいます」等, 由行為執行者向行為接受者有物品の转移时, 也可以使用「から」。 → ◆

3. 「Vてもらいます」与 6. 「Vてくれます」不同, 有请求对方执行某行为的意味。

4. 注意助詞の用法。 → 4. 「Vてあげます・等」の表 (p172)



6. Vてくれます・Vてくださいます

[To do (verb) for the speaker; someone socially superior does (verb) for the speaker/給 (我) ...]

- ① ゆりさんはとても親切で、わたしが困っているといつも助けてくれます。
- ② 町田さんはクラス会の時間が変わったことを、わたしたちに知らせてくれませんでした。
- ③ 中田さんはわたしのこわれたパソコンをなおしてくれました。
- ④ きょうわたしは学校を休みました。午後リーさんがお見舞いに来てくれました。
- ⑤ 山田先生はわたしの話をよく聞いてくださいました。そして静かな声でいろいろなことを話してくださいました。

ポイント

1. 「わたしグループ」の人がほかの人の行為をうれしい、ありがたいと感じたときの言い方。あまりがたくないと感じたときは受け身の文で表す。

カンさんがまどを閉めました。(話す人の感情を含まない、事実を言う文)

[The speaker's feelings are not indicated; a factual statement / 不包含说话人的感情, 叙述事实的句子]

カンさんがまどを閉めてくれました。(ありがたいと感じた)

[Shows gratitude / 感激之情]

カンさんにまどを閉められました。(ありがたくないと感じた)

[Shows ingratitude / 感到不悦]

2. 行為の方向を示したいときにも、この言い方を使う。

カンさんが写真を見せました。(だれに見せたかわからない)

[We do not know to whom he showed the photo. / 不知道给谁看了]

カンさんが写真を見せてくれました。(わたしに見せたことがわかる)

[We know to whom he showed the photo. / 给我看了]

3. 助詞の使い方に注意。 → 4. 「Vてあげますなど」の表 (p172)

1. This expression shows that the "I", or someone in the speaker's group, feels happy or grateful about someone else's action. When the speaker is not grateful, the passive form is used. →◆

2. This pattern is also used when the speaker wishes to indicate the direction of the action. →◆

3. Watch out for particle usage. → 4. (V-てあげます, etc.), Chart, p.172

1. 表示“我方成员”由于别人的行为而感到高兴、怀有感激之情。表示不悦之情时用被动句。 →◆

2. 表示行为的方向时使用这种表达方式。 →◆

3. 注意助词的用法。 → 4. 「Vてあげます・等」の表 (p172)



問題Ⅰ の中から適当なことを選んで書きなさい。

あげました もらいました くれました

1. A: バレンタインデーに、ぼくはみち子さんと花子さんにチョコレートを①
_____。みち子さんは、弟にもかわいいプレゼントを②_____。
B: そうですか。よかったですね。でも、あの2人はクラブのみんなにチョコレートを③_____よ。
2. A: わたしはパソコンの使い方がよくわからなかったので、ヤンさんに教えて④
_____。ヤンさんは、親切に説明して⑤_____。
B: あなたも、前に、ヤンさんの仕事をてつだって⑥_____ね。
A: ああ、あのときは、ヤンさんが手紙の書き方がわからないと言ったので、書いて⑦_____。

問題Ⅱ 例のように書きなさい。

例 れい みちこさんは（パソコンの使い方を教える）→ さゆりさん
_____。
みちこさんはさゆりさんにパソコンの使い方を教えてあげました。

⑧ もり 森さんは（かさを貸す）→ わたし

⑨ かわだ 川田さんは（車で送る）→ まゆみさん

⑩ わたし ←（洋服を買う）母

⑪ おおかわ 大川先生は（作文をなおす）→ わたし

⑫ わたしは（荷物を持つ）→ マリさん



知っていますか

- a よろこびました b してくれました c しました d よろこばせました
e させました

1. 休みの日にわたしはにわのそうじを_____。
2. お母さんは子どもににわのそうじを_____。
3. マリアさんはわたしに友だちを紹介_____。
4. 兄は父の会社に入っ、父を_____。
5. ひろしが学校に合格したので、家族はみんな_____。



使えますか

1. えみ子さんは1人で旅行に行っ、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 両親を} \\ \text{b 両親に} \end{array} \right\}$ 心配させました。
2. A: (車を運転している人) ちょっとここに車を $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 止めてください。} \\ \text{b 止めさせてください。} \end{array} \right.$
B: いいですよ。どうぞ。
3. 学生は事務所の人に文化センターの住所を $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 調べてもらいました。} \\ \text{b 調べさせました。} \end{array} \right.$
4. 先生は学生に教科書のテープを $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 聞いてもらいました。} \\ \text{b 聞かせました。} \end{array} \right.$
5. わたしは $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 犬を} \\ \text{b 犬に} \end{array} \right\}$ 公園を散歩させました。

使役

[Causatives / 使役]



1. V (さ) せます (強制) [Compulsion / 強制]
子どもにへやをそうじさせます。
2. V (さ) せます (許可・恩恵) [Permission; Favors / 許可・恩恵]
子どもにアイスクリームを食べさせます。
3. V (さ) せます (誘発) [Causation / 誘発]
友だちをわらわせます。
- * 4. V (さ) せてもらえますか・V (さ) せていただけますか・V (さ) せてくれますか・
V (さ) せてくださいますか

○使役の形 [Causative Form / 使役形の構成法]

※できた使役形の動詞は、動詞Ⅱ（1段動詞）と同じ活用をする。

[Verbs made into the causative form conjugate like Group II -verbs (-ru verbs) / 动词的使役形与1段动词的活用法相同。]

動詞Ⅰ（5段動詞） [Group I -verbs (-u verbs)]	行か な + せる → 行かせる
動詞Ⅱ（1段動詞） [Group II -verbs (-ru verbs)]	い な + させる → いさせる 食べ な + させる → 食べさせる
動詞Ⅲ（不規則動詞） [Group III -verbs (irregular verbs)]	する → させる 来る → 来させる

1. V (さ) せます (強制) [Make...do (verb) (Compulsion) / 让... (强制)]

- ① へやがきたないので、お父さんは子どもにへやをそうじさせました。
- ② 仕事がたくさんあるので、社長は社員に日曜日にも仕事をさせました。
- ③ 先生は学生にA社の辞書を勧めて買わせました。
- ④ 先生は子どもたちに運動場を走らせました。



1. This form is normally used when a social superior forces or recommends an inferior to do some action. It is not used when requesting a social superior to do something.

→◆

2. Person requesting action は/が agent of action に N を V-(さ)せます (transitive verb)。

Person requesting action は/が agent of action を V-(さ)せます (intransitive verb)。

→◆

However, in cases where two をs are used, as in number ④, に is used even for intransitive verbs. →◆

The above is true for 2. (V-(さ)せます) as well.

1. 一般用于长辈强制或者规劝晚辈执行某个行为。请求长辈时不能使用。→◆

2. 接受动作一方 は/が 动作执行者 に N を V(さ)せます(他动词)。

接受动作一方 は/が 动作执行者 を V(さ)せます(自动词)。→◆

但是，象例句④那样，「を」重叠时，自动词也要用「に」。→◆

以上事项同样适用于 2.「V(さ)せます」



2. V(さ)せます (許可・恩恵)

[Let...do (verb) (Permission; Favors)/给..., 让...(许可・恩恵)]

- ① 子どもが読みたいと言ったので、お父さんは子どもにむかしのまんがを読ませました。

- ② あのお母さんは、子どもがやりたいと言っても、テレビゲームをやらせません。

- ③ おいしいいちごですね。止夫にも食べさせたいです。大好きだから。

- ④ A: あ、新しい雑誌ですね。ちょっと読ませてください。

B: どうぞ。

- ⑤ その女の人は立って、わたしの母をすわらせてくれました。

- ⑥ アルバイトで、わたしはいろいろ勉強させてもらって、よかったと思っています。

- ⑦ 先生はわたしに学生時代の話いろいろ聞かせてくださいました。

- * ⑧ 父: たかし、あそびはもうやめて、おふろに入りなさい。

母: 楽しそうにあそんでいるから、もう少しあそばせておきましょうよ。

ポイント

1. 人が希望していることを許すという意味。また、働きかける人の好意を表す。

2. だれがその行為をするのかに注意すること。

◆・ちょっと読ませてください。(「わたし」が読む) [I read/「我」读]

* 3. ⑧のように、「V(さ)せておきます」の形で、その行為を続けることを許すという意味もある。

1. This form of the verb means that a person allows someone to do as he or she desires.

It also expresses goodwill on the part of the person who instigates the action.

2. Note who does the action. →◆

* 3. This pattern can also have the meaning, as in number ⑧, V-(さ)せておきます, that the particular action is allowed to continue.

1. 表示允许他人做想要做的事情的意思。也表示他人的好意。

2. 注意由谁来做动作。→◆

* 3. 「V(さ)せておきます」的形式有允许其行为继续的意思(如: 例句⑧)。

3. V(さ)せます (誘発)

[Make (someone) do (verb) (Causation)/让… (诱发)]

① ジム：……その人はほんとうは……おばけだったのです……。

子どもたち：キャーッ、こわあい……。

→ジムはおばけの話をして、子どもたちをこわがらせました。

② よしおさんはいつもおもしろい話をして、みんなをわらわせます。

③ 花子さんはオリンピックの選手になって、両親をびっくりさせました。

④ リー：先生、この問題は……。

先生：むずかしい質問ばかりして、わたしを困らせないでください。

⑤ いつも親や先生を泣かせていた太郎は、今は3人の子の親です。



ポイント

「あることが直接的な原因で、結果としてほかの人の心理的な変化や感情的な動作を引き起こす」という意味。ほかに、「泣く、驚く、喜ぶ、悲しむ、安心する、怒る」などの感情を伴う動詞がよく使われる。

This construct means that as a result of some direct cause, someone makes another person undergo a psychological change or emotional effect. Other verbs commonly used are those that indicate emotion, such as 泣く (to cry), 驚く (to surprise), 喜ぶ (to rejoice), 悲しむ (to be sad), 安心する (to feel secure), 怒る (to get angry), etc.

表示“由于某个直接原因，必然引起他人在心理上的或感情上的变化”的意思。另外，多用「泣く、驚く、喜ぶ、悲しむ、安心する、怒る」等表示感情的动词。



4. V(さ)せてもらえますか・V(さ)せていただけますか・V(さ)せてくれますか・V(さ)せてくださいますか

[Would you please let...do (verb); Would you please let...do (verb) humbly/让...好吗?]

- ① A: すみませんが、電話をかけさせてもらえませんか。
B: ええ、いいですよ。
- ② A: 用事があるので、きょうは早く帰らせていただけますか。
B: ええ、どうぞ。
- ③ A: 山田さん、すみませんが、週末、車を使わせてくれませんか。
B: ええ、いいですよ。

ポイント

自分が何かをすることを許すように相手に丁寧に頼む言い方。

→ 7 課 5. 「V(さ) てください」 (p72)

This expression is used to ask someone politely for permission to do something.

→ Lesson 7, 5. (V-(さ) てください), p.72

客气地请求对方允许自己做某事的说法。

→ 第7课 5. 「V(さ) てください」 (p72)

れん
練しゅう
習

問題 例のように書きなさい。

1. 例 お母さん→子ども（野菜を食べる）

お母さんは子どもに野菜を食べさせました。

- ①先生→学生（作文を書く）

- ②先生→子どもたち（遊ぶ）

- ③お父さん→子ども（自分の荷物を持つ）

- ④社長→社員（日曜日にも働く）

2. 例 お母さん→子ども（好きなおかしを食べる）

お母さんは子どもに好きなおかしを食べさせました。

- ⑤先生→学生（テープレコーダーを使う）

- ⑥両親→子ども（友だちとスキーに行く）

- ⑦社長→社員（会議室でたばこを吸わない）

3. 例 子ども（病気になる）→両親（心配する）

子どもは病気になって両親を心配させました。

- ⑧タムさん（おもしろい話をする）→みんな（わらう）

- ⑨マリさん（うそをつく）→友だち（おこる）

- ⑩社員（急に会社をやめる）→社長（困る）

う み し え き う み
受け身・使役受け身

Passive; Causative Passive
被动・使役被动



知っていますか

- a 飲んで b 飲まれて c 飲まされて d やめられて e やめさせられて

1. おいしいウィスキーを^か買ってきたんですが、兄に^{あに}ぜんぶ_____しまいました。
2. パン屋の店長：きょう急に店員に店を_____、困りましたよ。
3. パン屋の店員：わたしは遅刻が^{ちこく}多くて店を_____しまいました。
4. 10歳^{さい}のとき、病気^{びょうき}になって、わたしは毎日^{にが}苦い薬^{くすり}を_____、いやでした。
5. 今、世界中^{せかいじゅう}の人がコーヒーを_____います。



使えますか

1. 込んだ電車^この中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a わたしの足^{あし}は} \\ \text{b わたしは足^{あし}を} \end{array} \right\}$ ふまれました。
2. 来月^{らいげつ}わたしたちの結婚^{けっこん}パーティーをします。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 田中先生^{たなか}も、わたしに招待^{しょうたい}されます。} \\ \text{b わたしは、田中先生^{たなか}も招待^{しょうたい}します。} \end{array} \right.$
3. お風呂^{はい}に入っているとき友だちに^こ来られて、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a とてもうれしかったです。} \\ \text{b ちょっと困^{こま}りました。} \end{array} \right.$
4. この歌^{うた}はむかしから $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 子どもたちから} \\ \text{b 子どもたちに} \end{array} \right\}$ よく歌^{うた}われています。
5. A：わたしは弟^{おとうと}にケーキを食べられました。
B：そうですか。 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 弟^{おとうと}さんがあなたのケーキを食べたんですね。} \\ \text{b あなたが弟^{おとうと}さんのケーキを食べたんですね。} \end{array} \right.$

う み し え き う み
受け身・使役受け身

[Passive; Causative Passive / 被动・使役被动]



- 1. V(ら)れます (基本的な受け身) [Basic Passive / 基本被动式]
母にきほんてきしからうれます。
- 2. V(ら)れます (持ち主の受け身) [Passive of Ownership / 所有者の被动]
人にも足ぬしをふまれます。
- 3. V(ら)れます (被害の受け身) [Passive of Victimization / 受害の被动]
子どもにあし泣ひがひかれます。
- 4. V(ら)れます (非情の受け身) [Neutral Passive / 客观情况的被动]
パーティーがひじょう行おこなわれます。
- 5. Vさ(せら)れます (使役受け身) [Causative Passive / 使役被动]

○受け身の形 [Passive Forms / 被动形的构成法]

※できた受け身形の動詞は、動詞Ⅱ (1段動詞) と同じ活用をする。

[Verbals made into the passive form conjugate like Group II -verbs (-ru verbs) / 动词被动形与1段动词的活用法相同。]

動詞Ⅰ (5段動詞) [Group I -verbs (-u verbs)]	しから な + れる → しかられる
動詞Ⅱ (1段動詞) [Group II -verbs (-ru verbs)]	見 な + れる → 見られる ほめ な + れる → ほめられる
動詞Ⅲ (不規則動詞) [Group III -verbs (irregular verbs)]	する → される 来る → 来られる



1. V(ら)れます (基本的な受け身)

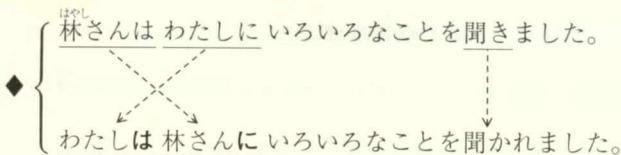
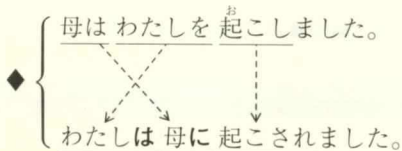
[Be (verb) by... (Basic Passive) / 被..., 给... (基本被动形)]

- ① 子どものとき母がきほんてきいそがしかったので、わたしは祖母にう育てられました。
- ② わたしはけさ、電車の中で後ろの人にお押されて、とてもいやでした。

- ③ 友だちにパーティーへ招待^{しょうたい}されました。楽しみ^{たの}です。
- ④ うちを出るとき、母に呼びとめられて、用事^{ようじ}をたのまれました。
- ⑤ わたしは外国人に、いろいろなことを質問^{しつもん}されました。
- ⑥ 兄^{あに}はけがをして、病院^{びょういん}へ連れて^ついかれました。

ポイント

1. 人がほかからある行為^{こうい}を受ける^うという意味を表す。日本語では、「行為をする人」ではなく、「その行為を受ける人」(わたし、または心理^{しんり}的にわたしに近い^{ちか}人が多い)を主語^{しゅご}にして表すことが多い。
2. 受け身文^{うけみぶん}の作り方
1. 「V(ら)れます」では、「行為をする人^{こうい}」と「その行為を受ける人^う」の両方^{りょうほう}を必要とする動詞^{どうし}(押す、しかる、さそう、連れていく、頼む^{たの}、断る^{ことわ}、など)の受け身形^{うけみけい}を使う。



3. 行為^{こうい}を受ける人^う が／は 行為^{こうい}をする人 に V(ら)れます。

行為^{こうい}をするのが、人ではない場合^{ばあい}(会社^{かいしゃ}、学校^{がっこう}、団体^{だんたい}など)は、助詞^{じょし}は「に」ではなく、普通^{ふつう}「から」を使う。

- ◆ {
- わたしは「遅刻^{ちこく}が多い^{おお}ですね」と先生^{せんせい}に注意^{ちゅうい}されました。
- わたしは借^かりた本^{ほん}を早^{はや}く返^{かえ}すようにと図書館^{としょかん}から注意^{ちゅうい}されました。

4. 行為^{こうい}をする人が第一^{だいいち}人称^{にんしょう}(わたし)の場合^{ばあい}は、普通^{ふつう}、受け身文^{うけみぶん}にはならない。2. 「V(ら)れます」、3. 「V(ら)れます」も同じ^{おなじ}。

- ◆ {
- ×弟^{おとうと}はわたしに呼^よばれました。
- わたしは弟^{おとうと}を呼^よびました。
- 弟^{おとうと}はクラスの先生^{せんせい}に呼^よばれました。

1. This form is used to signify that someone was affected by some external action. In Japanese, it is the person affected by the action ("I" or someone psychologically close to "I"), and not the agent of the action, that often becomes the subject.

2. How to make a passive sentence: In 1. (V-(ら)れます), verbs that require both an agent of the action and a recipient of that action (push, scold, invite, take to, request, turn down, etc.) use passives. →◆

3. **Recipient of action が/は agent of action に V-(ら)れます。**

In cases when the agent of the action is not a person, however, such as when the agent is a company or school, etc., から is normally used instead of に。 →◆

4. When the agent of the action is in the first person ("I") the passive form is not usually used. This is true for 2. (V-(ら)れます), 3. (V-(ら)れます) as well. →◆

1. 表达某人接受他人行为时使用。日语中，主语多为行为的接受者（多为我、或者心理上为我这一方的人）而非行为的执行者。

2. 被动句的构成 1.「V(ら)れます」句型中，使用「押す、しかる、さそう、連れていく、頼む、断る」等有行为执行者和行为接受者的动词的被动形式。 →◆

3. **行为接受者 が/は 实际行为执行者 に V(ら)れます。**

行为执行者不是人物（如公司、学校等）时，一般用「から」表示。 →◆

4. 行为执行者是第一人称（我）时，被动句不成立。2.「V(ら)れます」、3.「V(ら)れます」也如此。 →◆

2. V(ら)れます (持ち主の受け身)

[Have (verb) done and suffer as a consequence (Passive of Ownership)/被… (所有者的被动形)]

① わたしは子どもにめがねをこわされて困っています。

② 暗い道を歩いていたら、だれかに肩をたたかれてびっくりしました。

③ わたしは先生に作文をほめられて、うれしかったです。

④ たいせつな洋服を、弟によごされてしまいました。

⑤ 小さい声で話したのに、ヤンさんに話を聞かれてしまいました。

ポイント

1. 自分の体の一部、所有物、かわりのあるものが、ある人の行為を受けた場合の言い方。被害を受けたり、迷惑だと感じた場合がほとんどで、その行為を迷惑と感じた人（わたし、または心理的にわたしに近い人が多い）を主語にして表す。

持ち主 は/が 行為をする人 に 部分 を V(ら)れます。

- ◆ { ×わたしの背中は後ろの人に押されました。
○わたしは後ろの人に背中を押されました。



2. → 1. 「V(ら)れます」の(ポイント) 4.

1. This expression is used when part of the speaker's own body, possessions or something related to the speaker is affected adversely by someone's actions. The person who feels harmed or bothered by the action ("I" or someone psychologically close to "I") is made the subject.

所有者 は/が agent of action に part を V-(ら)れます。 →◆

2. → (ポイント) 4., in 1. (V-(ら)れます)

1. 身体的一部分、所持物品、与自己相关的事物受到某人行为的影响时使用这种表达方式。多用于受害、感到麻烦的场面，行为的受害者（多为我，或者心理上为我这一方的人）作主语。

所有者 は/が 行為執行者 に 部分 を V(ら)れます。 →◆

2. → 1. 「V(ら)れます」的(ポイント) 4.

3. V(ら)れます (被害の受け身)

[Be caused trouble by some (verb) (Passive of Victimization) / 被… (受害的被动形)]

- ① きのう、となりの人に夜おそくまでさわがれて、うるさくて眠れませんでした。
- ② A: どうしたんですか。何かあったんですか。
B: 旅行の間にどろぼうに入られて、お金を盗まれたんです。
- ③ かわいがっていたねこに死なれて、とてもさびしかったです。
- ④ すぐとなりに10階のマンションを建てられて、わたしのへやから富士山が見えなくなりました。
- ⑤ 会議の間、となりの人にたばこを吸われて、気分がわるくなりました。
- ⑥ 病院では夜おそくまで起きていることはできません。9時に電気を消されてしまいます。

ポイント

1. 自分が直接行為を受けるのではないが、あるできごとや、人がしたことによって被害を受けたり、そのことを迷惑だと感じたりしたとき、被害や迷惑を受けた人（わたし、または心理的にわたしに近い人が多い）を主語にして表す言い方。①②③のように自動詞でも、④⑤⑥のように他動詞でも使える。

2. うれしい気持ちを表したいときには、「Vてくれる」や「Vてもらう」を使う。

- ◆ { きらいな人にずっとそばにいられて、いやでした。
 す 好きな人がずっとそばにいてくれて、うれしかったです。
 しんせつ 親切な人にずっとそばにいてもらって、うれしかったです。

3. → 1. 「V(ら)れます」の **ポイント** 4.

1. The speaker does not receive direct action but is still bothered by some event or through the actions of others. When the person who feels bothered by those events or actions is affected adversely in some way, that person (usually "I" or someone psychologically close to "I") is made the subject. Both intransitive verbs (see numbers ①, ② and ③) and transitive verbs (see numbers ④, ⑤ and ⑥) can be used.

2. When expressing a feeling of gratitude, the patterns V-てくれる and V-てもらう are used. →◆

3. → **ポイント** 4. of 1. (V-(ら)れます)

1. 表示自己不成为行为的对方，却由于某件事情、某人做的事情而受害或者感到麻烦，受害人（多为我，或者心理上为我这一方的人）作主语。自动词（如：例句①②③）他动词（如：例句④⑤⑥）都可使用。

2. 表达高兴的心情时，用「Vてくれる」或「Vてもらう」。→◆

3. → 1. 「V(ら)れます」的 **ポイント** 4.

4. V(ら)れます (非情の受け身)

[(Verb) is being held or done (Neutral Passive) / V(ら)れます (客观情况的被动形)]

- ① プラスチックは何からつくられるのですか。
 ② 試験は3月15日におこなわれます。合格者の名前は新聞にしんぶん はっぴょう 表されます。
 ③ このう6チャンネルでサッカーの試合がしあい ほうそう 放送されました。
 ④ この雑誌は若い人たちによくよみまれています。
 ⑤ 東京のアパート代は高いといわれています。

ポイント

1. ある行為の対象を主語にして、社会的な事実や公に知らせることがらを言う場合に使う受け身文。2. (持ち主の受け身)、3. (被害の受け身)と違い、「困った、いやだ」のような感情はなく、事実を客観的に述べる。

2. その行為をするのは特定の人ではないので、この受け身文の中には「行為をする人」にの形では示さないことが多い。

1. This is a passive form in which the object of a certain action is made into the subject. It is used when you explain about a social fact or something to be told to the public. Unlike 2. (Passive of Ownership), and 3. (Passive of Victimization), there is no feeling of being distressed or put out; facts are related neutrally.
2. Since there is no specified agent of action, in many cases the agent of action (followed by に) is not indicated in these passive sentences.

1. 用动作的对象作主语，表现社会现实，发表公众通告时使用。与2.(所有者的被动形)、3.(受害的被动形)不同，不表示「困惑、讨厌」的情绪，只叙述客观事实。
2. 由于动作执行者不特定，因此一般在句中不出现。

5. Vさ(せら)れます (使役受け身)

[Be made to (verb) (Causative Passive) / Vさ(せら)れます (使役被动形)]

- ① アルバイトをしている店で、店長にことばの使い方を覚えさせられました。
- ② 野球チームに入りたいけれど、毎日練習させられるのはいやです。
- ③ わたしが子どものころは、家の中のいろいろな仕事をてつだわされました。しかし、今の親は子どもにあまりてつだわせないようです。
- ④ 子どものころ、兄によく泣かされました。
- ⑤ あの人にはよくびっくりさせられます。いつも夜おそくいろいろな国から電話をかけてくるので……。
- ⑥ きのう田口君と3時に約束したのですが、駅で30分も待たされました。

○使役受け身の形 [Causative passive form / 使役被动形的构成法]

動詞Ⅰ (5 段動詞) [Group I -verbs (-u verbs)] 例外 さ行	読ま せ + される → 読まされる 読ませ せ + られる → 読ませられる (注) 話させ せ + られる → 話させられる (注)
動詞Ⅱ (1 段動詞) [Group II -verbs (-ru verbs)]	いさせ せ + られる → いさせられる 食べさせ せ + られる → 食べさせられる
動詞Ⅲ (不規則動詞) [Group III -verbs (irregular verbs)]	させ せ + られる → させられる 来させ せ + られる → 来させられる

(注) 動詞 I (5 段動詞) の使役受け身形は「一せられる」より「一される」のほうが一般的。ただし、「出す、話す」などのように、辞書形が「一す」のものは「一せられる」の形を使う。

Note: The form -される is more common than -せられる in the causative-passive form of Group I -verbs (-u verbs). However, in cases like 出す (take out) and 話す (speak), where the dictionary form ends in -す, the -せられる form is used.

(注) 5段動詞的使役被动形「一される」比「一せられる」更常用。但是,「出す、話す」等词典形时「一す」的动词使用「一せられる」。

ポイント

1. ①②③のように、ある人の命令や指示を受けて、しかたなくその動作をするという意味を表す。
④⑤⑥のように、結果として、また、心理的にそうになってしまうときにも使う。どちらの場合も、その事実をうれしくないと感じる人（わたし、または心理的にわたしに近い人が多い）を主語にして表す。

2. 使役受け身文の作り方

◆ { 社長は わたしに 仕事をさせました。
わたしは 社長に 仕事をさせられました。

◆ { 弟は わたしを 心配させました。
わたしは 弟に 心配させられました。

1. This form is used when the speaker is forced to do some action because he or she has been so ordered or directed by another party, as in numbers ①, ② and ③. It is also used, as in numbers ④, ⑤ and ⑥, to show a result, or that psychologically, something will end up coming about. In either case, the person who feels unhappy about the fact (often, "I" or someone psychologically close to "I") is made the subject.

2. How to make the causative passive →◆

1. 接受某人的命令、指示，不得不执行所指定的行为时使用（如：例句①②③）。也可以用于表示结果或者心理上的结果（如：例句④⑤⑥）。不论用在哪种场面，都用对现实感到不快的人（多为我，或者心理上为我这一方的人）作主语。

2. 使役被动句的构成 →◆

問題Ⅰ ()の中の動詞を受け身形(例 しかられる)にして書きなさい。

1. アンはみんなに①_____ています。(愛する)
2. 前の席に大きい人に②_____て、映画がよく見えませんでした。(すわる)
3. きのは夜中に友だちにあそびに③_____て、朝まで寝られませんでした。(来る)
4. わたしはきょうだれにかさを④_____て、困りました。(持つていく)
5. オリンピックは4年ごとに、⑤_____ます。(開く) いろいろな国から選手が集まってきます。メダルをとった選手は、テレビで世界中に⑥_____ます。(紹介する)
6. 急いで電車に乗りとうしましたが、目の前でドアを⑦_____て、乗れませんでした。(閉める) 見ていた人に⑧_____てはずかしかったです。(わらう)
7. きのは1日たいへんでした。朝、込んだ電車の中でさいふを⑨_____ました。(ぬすむ) 会社では仕事がよくできなくて、課長に⑩_____ました。(しかる) 家に帰る途中で、雨に⑪_____て、かぜをひいてしまいました。(降る) それに、夜中には赤ん坊にワアワア⑫_____て、よく眠れませんでした。(泣く)

問題Ⅱ の中の動詞の使役受け身形(例 働かされる)を使って文を完成なさい。1つの動詞は1回しか使いません。

行きます おぼえます 書きます 聞きます します 作ります 待ちます

1. わたしはいつも姉にいろいろなことをさせられます。きょうも、雑誌を買いに⑬_____ました。また、夜は、料理を⑭_____ました。
2. きょうは友だちに車で2時間も⑮_____ました。その友だちにはいつもいろいろ心配⑯_____ます。
3. 友田先生の授業はきびしいです。毎日、テープで何回も同じ文を⑰_____ます。そして、毎日作文を⑱_____ので、テレビを見るひまがありません。また、1度にたくさんのことばを⑲_____ので大変です。



知っていますか

- a 召し^め上がり^あます b おります c いらっ^いしゃ^しいます d いた^いします
e ござ^ごいます

- すみませんが、校長先生はどちらに_____か。
- 社長^{しゃちょう}、お食事^{しょくじ}は何時に_____か。
- 会長^{かいちょう}、その仕事^{しごと}はわたしが_____から、心配^{しんぱい}なさらないでください。
- パーティーの会場^{かいじょう}は8階^{かい}で_____。こちらからどうぞ。
- わたしはあしたは一日中^{いちじゅう}うちに_____から、いつでもお電話ください。



使えますか

1. これは森さんのお父さまが $\left\{ \begin{array}{l} \text{a おとりになった} \\ \text{b おとりした} \end{array} \right\}$ 写真です。
2. わたしは林先生にアルバムを $\left\{ \begin{array}{l} \text{a ご覧になりました。} \\ \text{b お見せしました。} \end{array} \right\}$
3. わたしたちは先生のお宅にうかがって、おすしを $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 召し上がりました。} \\ \text{b いただきました。} \end{array} \right\}$
4. きのうち、友だちといっしょに映画を $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 拝見しました。} \\ \text{b 見ました。} \end{array} \right\}$
5. 父はわたしに「がんばりなさい」と $\left\{ \begin{array}{l} \text{a 申しました。} \\ \text{b 申し上げました。} \end{array} \right\}$

答えはつぎのページにあります。

敬意

[Honorifics/敬意]



1. 尊敬を表す特別な動詞

おっしゃいます

2. おVになります

3. V(ら)れます

4. おVください

5. 謙譲を表す特別な動詞

申し上げます

6. おVします・おVいたします

7. 丁寧な気持ちを表す特別な動詞

ございます

8. お～・ご～

* 9. おVです



1. 尊敬を表す特別な動詞

[Special verbs to express respect/表示尊敬的特殊动词]

① 学生：先生、あしたは何時に学校にいらっしゃいますか。

先生：9時に来ますよ。

② 社員：会 長、ワインを召し上がりますか。

会長：ええ、ありがとう。

③ 社員：社 長、日曜日には何をなさいますか。

社長：今週はゴルフに行くよ。

④ 田中先生はこんどの試験はむずかしいとおっしゃいました。

⑤ 学生：先生、きのうの開会式、テレビでご覧になりましたか。

先生：ええ、見ましたよ。きれいでしたね。

⑥ 学生：先生、この花の名前をご存じですか。

先生：いいや、知らないなあ。

⑦ (手紙文) 先生、お元気でいらっしゃいますか。

ポイント

1. 相手や第三者に対する尊敬の気持ちを表すときに使う特別な動詞。主語は尊敬される人。特に、「行きます」「来ます」「います」はどれも「いらっしゃいます」になる。→敬語の表 (p202)



2. 「いらっしゃる、おっしゃる、なさる」の「～ますの形」に注意。

いらっしゃる	○いらっしゃいます	×いらっしゃります
おっしゃる	○おっしゃいます	×おっしゃります
なさる	○なさいます	×なさります

3. 「Vています、Vてみます」などの補助動詞を敬語にする場合は下ようになる。

- ◆・Vています
- ・Vていきます } → Vていらっしゃいます 例 すわっています → すわっていらっしゃいます
- ・Vてきます }
- ・Vてみます → Vてごらんになります

また、本動詞を敬語にする場合もある。

- ◆・すわっています → おすわりになっています

1. These are special verbs used to express feelings of respect toward the listener or toward a third person. The subject is someone who is respected. In particular, the verbs 行きます (to go), 来ます (to come), and います (to be) all become いらっしゃいます。→ Honorifics Chart, p.202

2. Note the ます forms of the respect verbs いらっしゃる, おっしゃる and なさる。

→◆

3. Auxiliary verbs, such as V-ています and V-てみます are made honorific in the following manner. →◆

Furthermore, there are cases when the main verbs become honorific. →◆

1. 用来表达对对方、第三者的尊敬等特殊动词。主语是被敬重的人。尤其要注意「行きます」「来ます」「います」的敬语形式都是「いらっしゃいます」。→敬語の表 (p202)
2. 注意「いらっしゃる、おっしゃる、なさる」的「ます形」。→◆
3. 「Vています、Vてみます」等补助动词用做敬语时变为以下形式。→◆
- 另外，也可以将动词本身变为敬语形式。
- ◆



2. おVになります

[(Someone) does (verb) honorifically / おVになります]

- ① 会長は10月8日にイタリアからお帰りになります。

- ② 社員：社長、奥様にお電話をおかけになりましたか。

社長：ああ、さっきかけたよ。

③ 学生：この新聞はもうお読みになりましたか。

先生：いえ、まだですよ。

ポイント

1. 相手や第三者に尊敬の気持ちを表すときに使う形。主語は尊敬される人。
2. 尊敬できない行為を表す動詞（ぬすむ、なぐる、など）や、くだけた言葉（がんばる、しゃべる、など）はこの形で使わない。

1. This form is used to express feelings of respect toward the listener or toward a third person. The subject is someone who is respected.

2. Verbs that cannot describe honorific actions (ぬすむ (steal), なぐる (beat), etc.) and informal words such as がんばる (hang in there), しゃべる (chat), etc. cannot take this form.

1. 用于表达对方、第三者的尊敬。主语是被敬重的人。

2. 本身意义为贬义的动词（如：ぬすむ、なぐる等）、较为随便的词语（如：がんばる、しゃべる等）不使用这种形式。

〇〇 お + V ~~ます~~ + になります



3. V（ら）れます

[To honorifically do (verb) / Vられます]

- ① 会長は10月8日にイタリアから帰られます。
- ② 先生、どこで電車を降りられますか。
- ③ 田中さんのお父さんは毎朝、散歩されるそうです。

ポイント

1. 相手や第三者に尊敬の気持ちを表すときに使う。主語は尊敬される人。
2. 形は受け身の形と同じ。形の作り方は →19課 (p 185)
3. 「V（ら）れます」より2.「おVになります」のほうが敬意の程度が高い。

1. This form is used to express respect toward the listener or toward a third person. The subject is someone who is respected.
2. The construction of this form is the same as for passives. → Lesson 19, p.185
3. The pattern 2. (お-Vになります) shows a higher level of respect than does the pattern V-(ら)れます.

1. 用于表达对对方、第三者的尊敬。主语是被敬重的人。
2. 形式与被动形一样。构成法。→第19课 (p185)
3. 「V(ら)れます」没有2.「おVになります」所表示的敬意程度高。



4. おVください

[Please do (verb)/请...]

→ 7 課 4. 「おVください」(p71)



5. 謙讓を表す特別な動詞

[Special verbs that show humbleness/表示谦恭的特殊动词]

- ① きのう先生のお宅にうかがいました。そして、食事をいただきながら先生のお話をうか
がいました。
- ② そのことは昨日、会長に申し上げました。
- ③ 先週、展覧会で田中先生のおかきになった絵を拝見しました。
- ④ それでは、あした、9時にこちらにまいります。
- ⑤ わたくしはあすは一日中うちにおります。
- ⑥ 父は、日曜日にいつも散歩をいたします。
- ⑦ はじめまして。田中と申します。どうぞ、よろしく。
- ⑧ うちの社長がお宅の社長によろしくと申しておりました。
- ⑨ 先生、このお菓子は姉が国から持ってまいりました。

ポイント

1. 相手に対する尊敬の気持ちを表すために自分の行為をへりくだって話す (謙讓の気持ちを表す) ときに使う特別な動詞。自分の側の人について外の人に対して話すときにも使う。
2. ④～⑨のように尊敬する相手のない動作の場合にも使う。

3. 尊敬する相手のない動作には敬語の表A欄 (p202) の謙讓語は使わない。

- ◆ { ×わたしはきのう銀座で映画を拝見しました。
○わたしはきのう銀座で映画を見ました。
○わたしは先生のお手紙を拝見しました。

4. 「Vています、Vていきます」などの補助動詞がついた場合は、補助動詞のほうを謙讓語にすることが多い。「Vています、Vてあります、Vていきます、Vてきます」は次のようになる。

- ◆ ・ Vています → Vております
・ Vていきます } → Vてまいります
・ Vてきます }

1. These are special verbs used to express feelings of humbleness when speaking in a self-deprecating manner about one's own actions, in order to show respect toward the listener. They are also used about someone in the speaker's group to someone not in the speaker's own group.
2. This form can be used for actions not respectful of the other person, as in numbers ④ through ⑨.
3. For actions that are not honorific of the other person, the humble forms in the A column of the Honorifics Chart, p202, are not used. →◆
4. In many cases where auxiliary verbs such as V-ています and V-ていきます are appended to the main verbs, it is the auxiliary verbs that become humble. The forms V-ています, V-てあります, V-ていきます, V-てきます become as follows:

→◆

1. 为了表达对对方的尊敬而降低自己的行为时使用的表示谦恭的特殊动词。用于对「他人」讲述「自己方面」的事情时。
2. 也可以象例句④～⑨一样用于与对方无关的动作。
3. 没有表示敬意的对方时,不使用敬语表A栏 (p202) 中表示谦恭的动词。→◆
4. 有「Vています、Vていきます」等补助动词时, 经常将补助动词变为表示谦恭的敬语形式。「Vています、Vてあります、Vていきます、Vてきます」, 变为以下形式。

→◆

6. おVします・おVいたします

〔(I) humbly do (verb)／おVします・おVいたします〕

- ① 学生：先生、おかばんをお持ちします。

先生：ああ、タンさん、ありがとう。

- ② 学生：先生、台北にいらっしゃってください。兄がご案内いたします。

先生：まあ、ありがとう。

- ③ わたしは結婚式の写真を先生にお見せしました。

- ④ 店員：では、修理ができましたら、お知らせいたします。

客：はい。よろしくおねがいします。

ポイント

1. 相手に対する尊敬の気持ちを表すために自分の行為をへりくだって話す（謙譲を表す）場合に使う特別な形。相手のためにする行為に使う。→ 5. 「謙譲を表す特別な動詞」の **ポイント** 1.

2. 尊敬する相手のない動作には使わない。

- ◆ { ×わたしは夜1人でCDをおかけして、お聞きします。
○わたしは夜1人でCDをかけて、聞きます。
○先生、CDをおかけしましょうか。

3. ②のように「案内、相談」などの漢語は「ご案内します・ご案内いたします」となる。

1. This is a special form that expresses humbleness, when deprecating one's own actions, in order to express feelings of respect toward the listener. This is used for actions done for the listener. → **ポイント** 1. in 5. (謙譲を表す特別な動詞)
2. This form is not used for actions that are not respectful of the other party. → ◆
3. When this form is used with Chinese character compounds, as in number ②, 案内 (guide) and 相談 (consult), the pattern becomes ご-N-します and ご-N-いたします.

1. 为了表达对对方的尊敬而降低自己的行为时使用的表示谦恭的特殊形式。用于为对方而进行的行为。→ 5. 「表示谦恭的特殊动词」的 **ポイント** 1.
2. 没有表示敬意的对方时不使用。→ ◆
3. 象例句②句中使用的「案内、相談」等汉语词汇变为「ご案内します・ご案内いたします」的形式。

☞ お + V ~~ます~~ + します・いたします



7. 丁寧な気持ちを表す特別な動詞

[Special verbs that express feelings of politeness./表示客气的特殊动词]

- ① 田中^{たなか}でございます。どうぞ、よろしくおねがいたします。
- ② (電車^{でんしゃ}の放送^{ほうそう}) 次^{つぎ}は新宿^{しんじゅく}でございます。
- ③ 客^{きやく} : このシャツ、Lサイズはありますか。
店員^{てんいん} : はい、ございます。

ポイント

1. 相手^{あいて}に対して丁寧^{ていねい}な気持ち^{きもち}を表す特別な動詞^{どうし}「ございます」。店^{みせ}や駅^{えき}、レストラン^{れすとらん}などのお客^{きやく}を相手^{あいて}にする場所^{ばしょ}や、サービス^{ぼりふ}の場面^{ばめん}でよく使^{つか}われている。
2. 「Nです」は「Nでございます」、「Nがあります」は「Nがでございます」となる。
3. 謙讓語^{けんじやうご}を丁寧語^{ていねいご}として使^{つか}うこともある。
◆ { (駅^{えき}の放送^{ほうそう}) まもなく電車^{でんしゃ}がまいります。
(あいさつ) 寒^{さむ}くなってまいりました。

1. This is a special verb (ございます) used to express feelings of politeness toward the listener. It is often used in the service sector, including stores, train stations and restaurants, etc., toward customers.
2. The form N-です becomes N-でございます, while N-があります becomes N-がでございます.
3. There are times when humble language is used as polite language. →◆

1. 表示客气意义的特殊动词「ございます」。经常用于商店、车站、饭店等以顾客听话人的场合和服务的场合。
2. 「Nです」变为「Nでございます」、「Nがあります」变为「Nがでございます」。
3. 恭敬语也经常作为礼貌语使用。 →◆

⊞ ⊞ ⊞ ナA/N +でございます



8. お～・ご～

[Polite nominal and adjectival prefixes お and ご/お～・ご～]

- ① 先生^{せんせい}、ご家族^{かぞく}の皆^{みな}さんはお元氣^{げんき}ですか。
- ② 田中^{たなか}さん、お宅^{たく}の皆^{みな}さんはいつもおいそがしそうですね。
- ③ このへやにあるものはどうぞご自由^{じゆう}にお使^{つか}いください。
- ④ どうぞ、ごゆっくりお休^{やすみ}みください。

ポイント

相手^{あいて}を対象^{たいしょう}として行うことやもの（お手紙^{てがみ}）、相手^{かんけい}に関係のあるもの、形容詞^{けいようし}、副詞^{ふくし}などに「お・ご」をつけて尊敬^{そんけい}や丁寧^{ていねい}な気持ち^{きもち}を表す^{あらわ}。

This construct is used to express feelings of respect or politeness by appending お or ご to adjectives or adverbs, things related to the listener, or to things (letters) or actions which have the listener as the object.

对方的行为、事物（お手紙），与对方有关的事物、形容词、副词等前边加上「お・ご」表示尊敬、客气。

🔗 お + イ A お・ご + ナ A / N



* 9. お V です [The honorable listener does (verb) / お V です]

- ① (改札口^{かいさつぐち}で) 特急券^{とっきゅうけん}をお持ち^{もち}ですか。
- ② 会長^{かいちょう}、先ほど^たから、田中様^{なかさま}がお待ち^{まち}です。
- ③ 社長^{しゃちょう}、何^{なに}をおさがし^{さがし}ですか。

ポイント

「Vていらっしゃいます」の簡潔^{かんけつ}な言い方^{いひかた}。「お持ち^{もち}です」は「持^もっていらっしゃいます」の意味^{いみ}。

This is an abbreviated form of V-ていらっしゃいます. The phrase お持ちです (you have) means the same thing as the more formal 持^もっていらっしゃいます (you have).

这是「Vていらっしゃいます」的简洁说法。
「お持ちです」是「持^もっていらっしゃいます」的意思。

敬

五言

三五口

けんじょう あらわ

謙讓を表す特別な動詞 [Special humble verbs / 表示谦恭的动词]

尊敬を表す特別な動詞
[Special honorific verbs]
[表示尊敬的动词]

A ^{そんけい}尊敬する ^{あいて}相手にかかわる ^{こうい}行為

A. Actions dealing with a respected person
A有表示敬意对象的行为

B 尊敬する相手のない行為

B. Actions that do not deal with respecting another person
B没有表示敬意对象的行为

行きます
来ます
います
食べます
飲みます
します
言います
見ます
寝ます
会います
見せます

おも
思います
し
知っています
か
借ります
聞きます
しつもん
質問します
ほうもん
訪問します
あげます
もらいます
くれます
～です
あります
Vています

Vてください
Vていきます
Vてきます
N
イA／ナA

いらっしゃいます
いらっしゃいます
いらっしゃいます
召し上がります
召し上がります
なさいます
おっしゃいます
ご覧らんになります
お休みになります

ご存じです

くださいます
 *～でいらっしやいます
 Vていらっしやいます
 *おVです
 おVください
 Vていらっしやいます
 Vていらっしやいます
 おN・ごN
 おイA／ナA
 ごナA

いただきます
いただきます
いたします
もう
申し上げます
はいけん
拝見します

- *お目にかかります
- *お目かけます
- *ご覧らんにいます

- *^{はいしゃく}拝借します
- * (先生から) うかがいます
- * (先生に) うかがいます
- * (お宅に) ^{たく}うかがいます

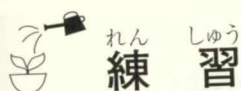
さしあげます
いただきます

まいります
まいります
おります
いただきます
いただきます
いたします
申します

*^{ぜん}存じます
*存じております

～でございます
でございます
Vております

* Vてまいります
* Vてまいります



問題 () の中のことばを敬語（おっしゃいます、申します、お話しになります、お話しします、など）にして書きなさい。「れる、られる」の形は使いません。

1. 学生：先生、けさの新聞を① _____ ましたか。（読む）

先生：ええ、読みましたよ。

2. 社員A：XY社の社長は何時に② _____ ますか。（着く）

社員B：11時に③ _____ ます。（来る）

社員A：11時ですね。わかりました。

社員A：部長、部長もXY社の社長と④ _____ ますか。（会う）

部長：ええ、わたしもお話したいと思っています。

.....

社員A：XY社の社長は⑤ _____ ました。（帰る）

社長は「食事もおいしかった」と⑥ _____ ました。（言う）

3. 学生：先生、その本は重いから、わたしが⑦ _____ ます。（持つ）

先生：ああ、ありがとう。じゃ、おねがいします。

4. （日本語学校のパーティーで）

学生：先生、何を⑧ _____ ますか。（食べる）

先生のお好きなものをわたしが⑨ _____ ます。（取る）

先生：ありがとう。じゃ、おすしを少しおねがいします。

学生：先生、夏休みに旅行に⑩ _____ ますか。（行く）

先生：ええ、いなかへ帰ろうと思っています。キムさんはどうしますか。

学生：わたしはアルバイトがありますので、東京に⑪ _____ ます。（いる）

でも、来月国から母が⑫ _____ ます。（来る）

5. （デパートのエレベーターの中で）

A：お待ちいたしました。⑬ _____ ます。（7階だ）

レストラン、スポーツ用品、時計、めがねなどがございます。

レストランをご利用の方はこちらで⑭ _____ くださいませ。（降りる）

コラム 8

文末に気をつけよう [Watch Out for Sentence Endings / 注意句尾变化]

○暑いから、まどを開けましょう。

○暑くて、眠れません。

日本語には文末に、下のような文 A [1 ~ 7] B [a ~ o] を続けることができない文型がある。

There are sentence patterns in Japanese where sentence endings like A (1-7) and B (a-o) cannot be appended. | 日语中，下列句子，不能与 A [1 ~ 7] B [a ~ o] 等句型接续。

A 話す人の意志・気持ちを表す文

[Sentences that indicate the speaker's volition or feelings / 表达说话人意志、心情的句子]

- | | | |
|-------------------------------|---------------------------|---|
| あつ暑くて、まどを
暑い <u>と</u> 、まどを | 1 (わたしが) 開け <u>ましょう</u> 。 | 意志 [Volition / 意志] |
| | 2 (わたしが) 開け <u>ます</u> 。 | 意志表明
[Manifestation of will / 表明意志] |
| | 3 さあ、開け <u>よう</u> 。 | 決意表明
[Manifestation of determination / 表明決心] |
| | 4 開けるつもり <u>です</u> 。 | 意図 [Intention / 意图] |
| | 5 開けようと思っ <u>て</u> います。 | 意図 [Intention / 意图] |
| | 6 開けることにな <u>す</u> 。 | 決心 [Resolution / 决心] |
| | 7 開けたい <u>です</u> 。 | 希望 [Hope / 希望] |

B 相手への働きかけのある文 [Sentences that urge the listener / 作用于听话者的句子]

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------|--|
| あつ暑くて、まどを
暑い <u>と</u> 、まどを | a 開ける <u>な</u> 。 | 禁止 [Prohibition / 禁止] |
| | b 開けてはいけ <u>ません</u> 。 | 禁止 [Prohibition / 禁止] |
| | c 開け <u>ろ</u> 。 | 命令 [Imperative / 命令] |
| | d 開けな <u>さい</u> 。 | 命令 [Imperative / 命令] |
| | e 開けてくだ <u>さい</u> 。 | 依頼 [Request / 请求] |
| | f 開けま <u>しょう</u> 。 | 勧誘 [Solicitation / 劝诱] |
| | g さあ、開け <u>よう</u> 。 | 勧誘 [Solicitation / 劝诱] |
| | h 開けま <u>しょうか</u> 。 | 申し出 [Offer / 提出] |
| | i 開けま <u>せんか</u> 。 | 提案 [Proposal / 建议] |
| | j 開けたらどう <u>です</u> か。 | 提案 [Proposal / 建议] |
| | k 開けてほ <u>しい</u> です。 | 要求 [Demand / 要求] |
| | l 開けてもい <u>い</u> です。 | 許可 [Permission / 许可] |
| | m 開けなければな <u>り</u> ません。 | 指示 (義務)
[Directive (obligation) / 指示 (义务)] |
| | n 開けたほうがい <u>い</u> ですよ。 | 忠告 [Advice / 忠告] |
| | o 開けなくてもい <u>い</u> ですよ。 | 指示 (不必要)
[Directive (unnecessary) / 指示 (不必要)] |

ま と め

Important grammatical points / 小结

1 こ・そ・あ

2 「は」と「が」

3 Vて・Vないで・Vずに・Vなくて

4 Vている

5 Vていく・Vてくる

🎵 1 話す人と相手とが、実際に、または心理的に、現時点の同じ領域にいるとき
(共有型)

★話す人と相手の共通の領域にあるもの ⇨こ

When the speaker and listener are in the same temporal plane actually or psychologically (commonality)

★When things are common to the area of the speaker and listener, use こ.

说话人和听话人实际上或者在心理上处在同一范围时(共有型)

★在说话人和听话人共同的范围里的事物
→こ

① A: これはあなたの本ですか。

B: いいえ、これはマキさんのです。

② (図書館の前で)

A: この建物は図書館ですか。

B: ええ、これは図書館です。



③ (電車の中で)

A: ここはどこですか。原宿ですか。

B: ここは新宿ですよ。原宿は次の次の駅です。

④ A: 毎日こんなに雨が降っていやですね。

B: こんな天候、めずらしいね。

⑤ (2人で音楽を聞きながら)

A: あ、この音楽、前に1度どこかで聞いたことがあります。

B: これは「春」という曲です。



🎵 2 話す人と相手とが、実際に、または心理的に、対立する領域にいるとき (対立型)

★話す人の領域のもの ⇨こ ★相手の領域のもの ⇨そ

When the speaker and listener are in opposing areas, either actually or psychologically. (contrast)

说话人和听话人实际上或者在心理上处在对立范围时(对立型)

★When things are in the speaker's territory,
use こ.

★When things are in the listener's territory,
use そ.

★在说话人范围内的事物→こ

★在听话人范围内的事物→そ

① A: これはあなたの本ですか。

B: いいえ、それはタンさんのです。

② (携帯電話で)

A: もしもし、今どこにいるの? そこはどこ?

B: ここは横浜。今、Tデパートにいるんです。

③ A: きのう駅で友だちに会ったんです。

B: その人はあなたと同じ学校の人ですか?

④ (テレビを見ながら)

A: この歌手、ぼくの子どものときからの友だちなんだけど……。

B: その話、もう3度聞いたよ。



🎧 3 話す人と相手が実際に、または心理的に、同じ領域にいて、2人が外の領域の共通のものを指示しているとき

★話す人と相手の外の領域のもの →あ

When pointing out things in common in an area outside that of both speaker and listener, who are in the same area, either actually or psychologically.

★When things are in an area outside that of either the speaker or listener, use あ.

说话人和听话人实际上或者在心理上处在同一范围，两者谈及其他范围共同的事物时

★说话人和听话人以外的范围→あ

① A: みなさん、あちらに見えるあの高い建物は都庁でございます。

B: ああ、あれが都庁ですか。

② A: ほら、あそこに大きい木があるでしょう。あそこまで走ろう。

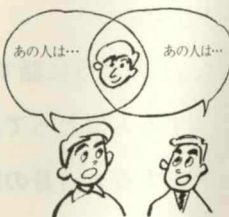
B: あそこまで? あんなに遠くまで?

③ (同級生との会話)

A: 前にわたしたちのクラスにタンさんという人がいたでしょう。

あの人を覚えていますか。

B: ええ、あの人は、今どこに住んでいるんでしょうね。



- ④ A: ^あきのう ^{たなか}会った田中さんのことだけど、あの人、^と駅でずいぶんおこっていましたね。
 B: ええ、あんなにおこっていたけれど、あそこで^いあ言われても^こ困りますね。

ポイント

^{きょうつう}共通のものを^{しじ}指示していても、^{ちか}すぐ近くということを^{きょうちよう}強調する場合は、^{ばあ}そを使うことが多い。

- (タクシーの中で)
 ◆ ^{きやく}客: ^{うんでんしゆ}運転手さん、その^{かど}角を右に^ま曲がってください。
 運転手: わかりました。その角ですね。

In many cases, そ is used when emphasizing that something is very near, even if the thing being indicated is common to both speaker and listener. →◆

即使是表示共同的事物，在强调距离很近时，也经常使用そ。→◆

④ 話す人が、^{あいて}相手が^し知らないだろうと^{おも}思うことについて^い言うとき

★話す人の話の中に出てくるもの ⇨ そ

This is used when the speaker thinks the listener does not know about the subject.

说话人认为听话人对所提及的事物不知道的时候

★For things that appear in what the speaker says, use そ.

★说话人谈话中出现的事物→そ

- ① ^{なつやす}夏休みに^{かえ}国に帰って^あ友だちに会いました。その友だちもらいねん日本に来るそうです。
 ② ^{せんしゅうしずおかけん}先週 ^{うみ}静岡県の海に行きました。そこには^{かぞく}家族で毎年行きます。
 ③ ^{てがみ}きのう国の友だちから手紙が来ました。それには、その友だちの^{しごと}仕事のこといろいろ書いてありました。
 ④ きょねんの1月のある日、わたしは^{ながの}長野に行きました。その日は^{おおゆき}大雪でした。



ポイント

1. ①のように話す人の話の中に出てくるものは、^{とお}遠くのものでもそを使う。しかし、話をする人にとって^{みちか}身近なこと、^{とくべつ}特別な^{かんしん}関心や^{かんじょう}感情をもっていることはこを使う。また、話をする人自身の^{どしん}記憶を^{きおく}思い^{おも}起こすときは、あを使うことが多い。

◆・最近、携帯電話を使う人が多くなりました。きょうはこのことについて少し話し合ってみましょう。

・先月の15日、わたしはヤンさんと海に行きました。この日はわたしの誕生日だったので……

・(日記) 子どものころのことをよく思い出す。あのころは楽しかった。

2. 次の2つの文を比べてみよう。

◆・前にわたしのクラスにタンさんという人がいました。その人は……

(話す人だけが知っている人)

[When it is someone only the speaker knows. / 只有说话人知道的人]

・前にわたしたちのクラスにタンさんという人がいたでしょう。あの人は……

(相手も知っている人)

[When it is someone the listener also knows. / 对方也知道的人]

1. In cases such as number ①, even if the thing the speaker is discussing is far away, そ is used. The prefix こ is used, however, for things close to the speaker or for special feelings or interests. Furthermore, there are many cases where あ is used when the speaker is recalling his own memories. →◆

2. Compare the following two sentences.

→◆

1. 发话人谈话中出现的事物，即使是距离较远也用そ（如：例句①）。但是，如果是说话人身边的事物或者是说话人抱有特别的关心、感情的事物用こ。另外，如果话题是说话人自身的追忆时用あ。→◆

2. 比较下边的两个句子 →◆

「は」と「が」



★「は」は、話題を示す。名詞だけでなく、いろいろな品詞の後につく。

★「が」は、いつも名詞や名詞相当語（の、こと）の後につく。

★The particle は indicates the topic. It can follow all parts of speech, not just nouns.

★The particle が always follows nouns or nominals (words made into nominals by using の or こと).

★「は」提示主题。不仅可以跟在名词后边，也可以跟在各种词类后边。

★「が」要跟在名词或者相当于名词（如：の、こと）的词类后边。

例 1 ★はの後 ⇨ 伝えたい情報を言う。

★がの前 ⇨ 初めて話題に出す、伝えたい情報を言う。

★The speaker conveys the information he or she wishes to convey after the particle は.

★The speaker gives information before the particle が on a topic broached for the first time.

★は 的后边→想要传达的信息。

★が 的前边→话题中第一次出现的信息。

① A：これはわたしのテープですか。

B：いいえ。これはわたしのテープです。あれがあなたのです。

② ことは森さんが会長になりました。森さんはこの学校の卒業生です。

③ きょう、リンさんのお母さんが日本へ来ます。リンさんは空港へむかえに行きます。

④ むかしむかし、おじいさんとおばあさんが住んでいました。ある日、おじいさんは山へ行きました。おばあさんは川へ行きました。

ポイント

次の文を比べてみよう。[Compare the following sentences. / 比较下面的句子。]

a 田中さんはパーティーに来ます。

b 田中さんがパーティーに来ます。

- 🔑2 ★疑問詞の前 ⇨は 答えもはで答える。
 ★疑問詞の後 ⇨が 答えもがで答える。

★The particle は precedes an interrogative.
 Answers are also given using は.
 ★The particle が follows the interrogative.
 Answers are also given using が.

★疑问词的前边→は 回答也用は。
 ★疑问词的后边→が 回答也用が。

- ① A: あの方^{かた}はどなたですか。
 B: あの方^{たなか}は田中さんです。
 ② A: 入り口^{いりぐち}はどこですか。
 B: 入り口はむこうです。
 ③ A: どの方^{かた}が田中さんですか。
 B: あの方が田中さんです。
 ④ A: 何日^{いつか}が休みですか。
 B: 毎月5日と15日が休みです。

🔑3 ★取り立てて話題にするとき ⇨は

★When speaking of a topic, use は。 ! ★强调话题时→は

- ① A: あ、いいくつをはいていますね。
 B: ええ、このくつ^{いもうと}は、妹がくれたんです。
 ② A: 中山^{なかやま}さんはいつも何時ごろ朝ご飯^{あさはん}を食べますか。
 B: わたし、朝ご飯は食べないんです。コーヒーだけ飲みます。でも、昼ご飯^{ひる}はたくさん食べるんですよ。
 ③ A: きょう、市役所^{しやくしょ}に行きましたか。
 B: いえ、きょうはいそがしかったんです。市役所には、あさって行きます。

ポイント

きのう 横浜で 姉と 映画を見てから、東京で 買い物をしました。

上の文は普通の文だが、特に話題として取り立てたい部分があるときは、その言葉にはをつけて前に出す。(をの後にはをつけてと、をは消える。) →コラム7「助詞『は』『が』『を』が消える！」(p152)

The sentence above is a normal sentence, but when there is a special part that the speaker wishes to make into a topic, the particle は is used to mark it. (If the particle は is given after an を, the を is omitted).

→ Column 7, The Particles は, が and を Disappear!, p.152

上面的例句中，有特别需要强调的部分时，在要强调的部分后边接「は」、将其提到前边。

(后接「を」时，要去掉「を」)

→专栏7「助词 “は” “が” “を” 的消失」(p152)

- ◆ { A: きのう横浜で買い物をしたんですか。
B: いえ、横浜では、姉と映画を見たんです。買い物は東京でしたんです。

4 ★否定したい部分をはっきり示したいとき ⇨は

★When the speaker wishes to clearly indicate the phrase he wishes to negate, は is used.

★明示要否定的部分时→は

- ① A: きのうカンさんに会いましたか。
B: いいえ、カンさんには会いませんでしたよ。
② わたしのへやにテレビはありません。
③ わたしはあの人とは結婚しません。

5 ★対比して示すとき ⇨は

★When indicating contrasts, use は.

★表示对比时→は

- ① 風は強く吹っていますが、雨はまだ降っていません。
② このへんは昼間はうるさいですが、夜は静かです。
③ 紅茶は飲みますが、コーヒーは飲みません。

- ④ わたしは、スーパーでは肉や野菜を買います。デパートでは、服やくつを買います。

→コラム7「助詞『は』『が』『を』が消える！」(p152)

[→Column 7, The Particles は, が and を Disappear!, p.152/→专栏7「助词 “は” “が” “を” 的消失」(p152)]

6 「N₁はN₂が」

★N₁→話題とするもの ⇨は

★N₂→N₁の部分、感情や能力などの対象、所有するもの ⇨が

N₁はN₂が

★N₁: The topic is indicated by は.

★N₂: Parts of N₁, objects of feelings or abilities, other things belonging to that topic →が.

在「N₁はN₂が」句型中、

★N₁→成为话题的部分→は

★N₂→N₁、感情、能力等的对象、所有→が

「N₁はN₂が」という文型で、よく使うものには次のようなものがある。

In the pattern N₁はN₂が, the following are often used.

「N₁はN₂が」句型中经常使用以下的事物。

a 話題になるものの部分など [Parts of the topic./成为话题的部分等]

① きりんは首が長いです。

② あの人は目がきれいです。

③ 日本は山が多いです。



b 感情などの対象 [The object of feelings, etc./感情等的对象]

① わたしはこの町が好きです。

② わたしは新しいかばんがほしいです。

③ わたしは今あまいものが食べたいです。

④ わたしはおばけがこわいです。

⑤ わたしは地震が心配です。

⑥ わたしは頭が痛いです。

c 能力などの対象 [The object of abilities, etc./能力等的对象]

① ミチコさんは歌がじょうずです。

② あの子は水泳がとくいです。

- ③ わたしは車の^{うんてん}運転ができません。
- ④ あなたはこの漢字^{かんじ}の読み方^{かた}がわかりますか。

d ^{しよゆう}所有するものなど [Things belonging to the topic, etc./所有物等]

- ① わたしはきょうお金^いがありません。
- ② 林さん^{はやし}は北海道^{ほっかいどう}にも家^{いえ}があります。
- ③ 中村さん^{なかむら}は力^{ちから}があります。
- ④ わたしはきょう熱^{ねつ}があります。
- ⑤ この建物^{たてもの}は高さ^{たかさ}がどのくらいありますか。

🎵 7 ★ ^め目や^{みみ}耳に入ることを^{びやうしや}描写するとき ⇨が

★When describing something one sees or hears, use が.

★描写听到、看到的事物时→が

- ① ああ、桜^{さくら}がきれいですねえ。
- ② あ、あぶない、車^{はし}が走^{はし}ってくる。
- ③ ベル^べがなっていますよ。急^{いそ}ぎましょう。
- ④ あ、鳥^{とり}が水^{みづ}を飲んでいます。



🎵 8 ★ ^{めいし}名詞を^{せつめい}説明する文の中の^{ぶん}主語^{しゆご} ⇨が

★For the subject in a phrase that explains about a noun, use が.

★名词修饰句节中的主语→が

- ① あの^い人が^い言った話はうそです。
- ② みなさん、わたし^がが^えかいた絵^えを見てください。
- ③ き^あのうわたし^あが^あ会^あったのは、りえさんのお姉^{ねえ}さんです。
- ④ わたし^がが^はじめて日本へ来たのは、3年前^{ついでち}の4月1日です。→コラム2「^{めいし}名詞を^{せつめい}説明するときは——^{しやうしよく}名詞修飾」(p67)

[→Column 2, When Explaining Nouns... Nominal Modifiers, p.67/→专栏 2「说明名词时——名词修饰」(p67)]

🔔 9 ★複文では、主文の主語 ⇨ は
副文の主語 ⇨ が

★In complex sentences, the subject is indicated by は. In subordinate clauses, use が.

★复句中主句的主语→は 从句的主语→が

- ① わたしは、ハルさんが来てからいっしょに食べます。
② あなたがパーティーに出席すれば、パーティーはにぎやかになるでしょう。
③ わたしがいくら頼んでも、リーさんはてつだってくれませんでした。

ポイント

わたしは ユミさんが泣いたので びっくりしました。

社員たちは 社長が来ると 立ってあいさつします。

🔔 10 ★「…と思います」、「…と言いました」などの文では、「…」の中のは、がは、もとの文のまま

★In sentences that have the phrases …と思います, …と言いました, etc., the particles は and が remain unchanged in what precedes those phrases.

★「…と思います」「…と言いました」等句中、「…」部分的是、が原封不变。

- ① あの人は、きょうカンさんは来ないと言いました。
② わたしは、田中さんはもう帰ったと思います。
③ わたしは、妹はアメリカで勉強したほうがいいと考えています。

ポイント

「…と思います」、「…と言いました」の「…」の部分は、引用であるから独立した文と考える。だから🔔9は使わなくてもいい。→11課 I-3. 「…と（言います）」(p104)

Here, since what precedes the phrases …^{おも}と思います and …^いと言いました (…)^い are quotes, which are considered independent clauses, ㉟9 are not necessary.

→ Lesson 11, I-3. (…^いと言います), p.104

「…^いと思います」「…^いと言いました」等句中的「…」部分，由于是引用，所以作为独立的句子来考虑。因此 ㉟9 不适用。→第11课 I-3.「…^いと言います」(p104)

村田さん^{むらた}は チンさん^いはいい人だ と言いました。

わたしは この国の人たち^いはよくテレビを見る と思います。

3

Vて・Vないで・Vずに・Vなくて

1 Vて — 動作・作用の順番を表す。

The pattern V-て indicates the order of an action or effect. Vて — 表示动作、作用的顺序

- ① 電気を消して、へやを出ます。
- ② A駅まで電車で行って、B駅で地下鉄に乗り換え、C駅で降ります。
- ③ すみませんが、コピーを10まいとって、木村さんのところへ持って行ってください。
- ④ パーティーでは、まず木村さんがあいさつして、それから、みんなでかんぱいしました。
- ⑤ お金を入れると、赤いランプがついて、コーヒーが出てきます。
- * ⑥ (日記) 9月6日 — 友だちにEメールを送り、12時ごろ寝た。

ポイント

1. 2つ以上の動作・作用の前後関係をはっきり言うときは、「Vてから」を使う。

→ 1課 5. 「Vてから」(1) (p18)

- ◆ { A: きのう、仕事の後で、何をしましたか。
B: 図書館に寄って、スーパーで買い物して、うちへ帰りました。
- ◆ { A: きのう、学校の後で、すぐうちへ帰りましたか。
B: いいえ、スーパーで買い物してから、帰りました。

- * 2. ⑥のように、書き言葉では、て形のかわりに、ます形 (Vますの「ます」のない形) を使うこともある。

1. When one wishes to state clearly the relationship of the timing of two or more actions or events, use V-てから. → Lesson 1-5. (V-てから)(1), p.18 → ◆

* 2. There are times in written Japanese when the ます form of the verb (the ます verb without the ます) is used instead of the て form, as in number ⑥.

1. 明确表示两个以上的动作、作用的先后顺序, 而不是以同样的分量表达两个以上的动作、作用时, 使用「Vてから」。→ 第1课 5. 「Vてから」(1) (p18) → ◆

* 2. 在书面语中, 也可以使用「ます」形 (Vますの去掉「ます」的形式) 代替て形 (如例句⑥)。

2 Vて・Vないで・Vずに — 動作・作用の対や対比を表す。

The patterns V-て, V-ないで and V-ずに indicate comparisons or contrasts of actions or effects.

Vて, Vないで, Vずに — 表示動作、作用的対称和対比

- ① 毎日、7時にうちを出て、6時ごろうちへ帰ります。
- ② 日本の学校の1年は、4月に始まって、3月に終わる。
- ③ わたしは昼は学校へ行って、夜は子どもたちに英語を教えています。
- ④ 火曜日は田中さんが来る日ですが、きょうは田中さんは来ないで、山田さんが来ました。
- ⑤ ことしの夏休みは、山へ行かずに、海へ行くことにした。
- ⑥ 山田さんはパソコン教室に参加せずに、自分で勉強してみると言っています。
- * ⑦ へやに入ると、後ろのドアが閉まり、前のドアが開いた。

ポイント

1. 「Vずに」の「Vず」は、ない形の古い形。V~~ない~~+ず→Vず (例外: しない→せず)
- * 2. → 1. 「Vて」の (ポイント) 2.

1. The V-ず portion of the pattern V-ずに is an ancient negative form. It is made in the following way: V-~~ない~~+ず→V-ず.

Exceptions: しない→せず.

* 2. → (ポイント) 2. in 1. (V-て)

1. 「Vずに」的「Vず」是不い形的古语形式。V~~ない~~+ず→Vず (例外: しない→せず)

* 2. → 1. 「Vて」的 (ポイント) 2.

3 Vて・Vないで・Vずに — どんな状態で動作・作用が起こるかを表す。

The patterns V-て, V-ないで and V-ずに show how an action or effect occurs.

Vて, Vないで, Vずに — 表示動作、作用在什么样的状态下发生

- ① 女の子たちが芝生にすわって、おしゃべりしています。
- ② もっと口を大きく開けて歌いなさい。
- ③ 父はいつも、ソファに横になって、テレビを見ています。
- ④ 暑いので、子どもはふとんをかけないで寝ています。
- ⑤ 母はかさを持たないで出かけました。



- ⑥ 切手をはらずに手紙を出してしまいました。

4 Vて — 動作の手段・方法・きっかけを表す。

The pattern V-て indicates the means, methods or reasons for an action. | Vて — 表示动作的手段、方法、开端

- ① 兄は毎朝、歩いて工場へ行きます。
 ② 姉はアルバイトをして、お金をためています。
 ③ 何回も紙に書いて、漢字を覚えます。
 ④ この魚は煮て食べると、おいしいですよ。
 ⑤ 兄はいつもおもしろいことを言って、家族をわらわせます。

5 Vて・Vなくて — 原因・理由を表す。

The patterns V-て and V-なくて show the reasons or causes of something. | Vて、Vなくて — 表示原因、理由

→ 4課 I-2. 「～てなど」 (p41)

1 動作や作用が進行中・継続中であることを表す。

This verb form shows that an action or effect is in the process of progressing or continuing. 表示動作、作用正在进行中。

- ① 父はへやで新聞を読んでいます。
- ② わたしが家に帰ってきたとき、子どもたちは庭であそんでいました。
- ③ 北海道では雪が降っています。
- ④ 冷たい風が吹いています。

ポイント

1. 動詞は継続動詞を使う。 → コラム 1 「継続動詞か、瞬間動詞か」 (p22)
2. ③④のように自然現象を表すのにも使う。

1. Verbs of continuation are used.
→ Column 1, Verbs of Continuation?,
Verbs of Momentariness?, p.22
2. This form is also used in describing natural
phenomena, as in numbers ③ and ④.

1. 使用持续动词。 → 专栏 1 「持续动词・
瞬间动词」 (p22)
2. 也可以用于表示自然现象 (如: 例句③④)

2 習慣や行為の反復を表す。

This form shows habit or repetition of action. 表示习惯、行为的反复。

- ① 父は毎週2回テニスをしています。
- ② わたしは毎年、富士山にのぼっています。
- ③ 今でも、戦争のためにおおぜいの子どもたちが死んでいます。
- ④ 弟はドイツの大学でヨーロッパの歴史を勉強しています。
- ⑤ 大山さんはタイの大学で教えています。
- ⑥ 小林さんは貿易会社の社長をしています。

ポイント

①②は習慣的な行為を表す。瞬間動詞も使える。④～⑥は所属、職業、身分などを表す。

Numbers ① and ② demonstrate customary action. Verbs of momentariness can also be used. Numbers ④ to ⑥ express affiliation, occupation and social standing.

例句①②表示习惯性行为。也可以使用瞬间动词 例句④～⑥表示所属、职业、身分等。

3 動作・作用の結果の状態がそのまま続いていることを表す。

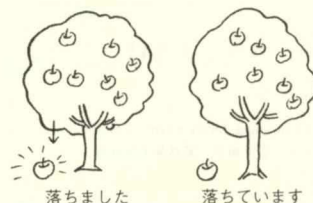
This form expresses the idea that the state of the result of an action or effect continues.

表示动作・作用的结果保持原状。

① りんごが落ちています。

② 門の電気がつきました。

ほら、電気がついているでしょう。



③ マリさんは赤いスカートをはいています。

④ 田中さんはあのめがねをかけている方です。

⑤ 遠山さんは今フィリピンに行っています。マニラで日本語を教えています。

⑥ ブラウンさんは今、シドニーから日本に来ています。月末まで日本にいます。

⑦ タンさんは先月からタイに帰国しています。今、日本にいません。

⑧ 田中さんは結婚しています。子どもが2人います。

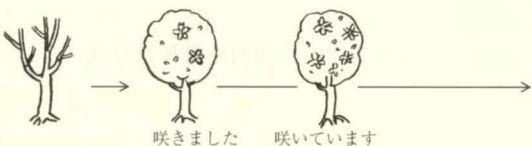
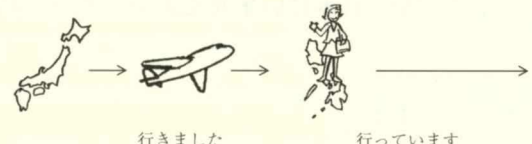
⑨ 今の高校生はみんな携帯電話を持っています。

⑩ A: 田中さんの電話番号を知っていますか。

B: いいえ、知りません。

ポイント

1. 「瞬間動詞十ている」

	例 文 [Sample sentences / 例句]	動詞の種類 [Type of verb] ／ 动词的种类	動詞の例 [Verb example] ／ 动词的例
①②	① さくらが咲いた。その結果が残って、きれいに咲いている。 [The cherry blossoms have bloomed. They remain and are blooming beautifully.] ／ 樱花开了。盛开着的花朵保持盛开的样子。  咲きました 咲いています	主体の変化を表す自動詞 [Intransitive verbs expressing change in the subject.] ／ 表示主体变化的自动词	咲く、はれる、死ぬ、落ちる、止まる、つく
③④	③ 朝、スカートをはいた。その結果がそのまま残っている。 [In the morning, I wore a skirt. The result of that action is that I am still wearing it.] ／ 早上，穿上裙子。其结果原样保留。  はきました はいています	着脱の他動詞 [Transitive verbs of putting on or taking off clothes.] ／ 穿脱的他动词 服装を表す [Expressing dress] ／ 表示衣着	着る、はく、脱ぐ、かける、かぶる
⑤⑥⑦	⑤ フィリピンに行って、そのまま今もフィリピンにいる。 [He or she went to the Philippines and is still there. / 去菲律宾，现在一直在菲律宾。]  行きました 行っています	往來動詞 [Verbs of mobility] ／ 往来动词	行く、来る、帰る、もどる
⑧⑨⑩	何かを得て、そのまま保持している状態。 [Having acquired something, one still has it. / 获得什么后，原样保留保持某种状态]  結婚しました 結婚しています		知る (→ ポイント 2.)、 わかる、持つ

2. 「知る」は肯定・否定の形に注意。

- ◆ { ×知ります。 ×知っていません。
 ○知っています。 ○知りません。

3. →14課 I-1. 「Vています」(p130) →コラム1 「継続動詞か、瞬間動詞か」(p22)

1. Verbs of Momentariness + ている.

2. Watch out for the forms of affirmation and negation of the verb 知る ("to know"). →◆

3. → Lesson 14, I-1. (V-ています), p.130
 → Column 1, Verbs of Continuation?
 Verbs of Momentariness?, p.22

1. 「瞬間動詞+ている」

2. 注意「知る」の肯定・否定形式。→◆

3. →第14課 I-1. 「Vています」(p130)
 →专栏1 「持續動詞・瞬間動詞」(p22)

4 未完了を表す。

Indicating incompleteness.

！ 表示未完成。

① どの大学を受けるかまだ決めていません。

② A: 朝ご飯を食べましたか。

B: いいえ、まだ食べていません。

③ A: もう、4時になりましたか。

B: いいえ、まだなっていません。

ポイント

1. 「Vていない」の形で、ものごとの完了していない結果がその後(現在)の状態に影響を及ぼしていること、当然そうなるはずのことがまだ未完了だという意味。

2. 単純に過去のことについて話す場合は、過去形を使う。

- ◆ { ・きのうは朝ご飯を食べましたか。
 ×いいえ、食べていません。
 ○いいえ、食べませんでした。

1. This pattern (V-ていない) carries the nuance that something that naturally should occur has not yet been completed, or that the result of some event not being completed, affects the present situation.
2. When talking about the simple past, the past tense is used. →◆

1. 用「Vていない」的形式表示事物尚未完成, 其结果影响到目前的状态。本该完成的事项尚未完成的意思。
2. 单纯谈及过去的事物时使用过去时。→◆

5 はじ めからの外見や性質などの状態を表す。

This indicates the state of outer appearances or qualities that existed from the beginning. 表示起始的外观、性质等状态。

- ① 弟は父によく似ています。
- ② 500メートルぐらい行くと、この道は少し左に曲がっています。
- ③ この道は海の方までつづいています。

ポイント

*ほかの例は「優れている、面している」などがある。

*Other examples include: 優れている (to be superior) and 面している (to be facing). *这类动词还有「優れている、面している」等。

*6 歴史的なことから・経歴・経験などを記録として述べる言い方。

This pattern is used to record historical facts, careers or experiences. 作为记录叙述历史事件・经历・经验等。

- ① アポロ11号は1969年に月に着陸している。
- ② モーツァルトは12歳のときに、オペラを作曲している。
- ③ ひろしは3年前にも同じ病気をしている。

Vていく・Vてくる

- 1 順次性 — ある地点で何かをして、それから移動する。

Sequencing

The agent does something at some point in time and then moves from there.

顺序性 — 在某地点做某事，然后移动。

- ① 中国へ行く前に中国語を勉強していきます。
 ② 病院へ行く途中で、お見舞いの花を買っていきましょう。
 ③ 森さん、あした、ここへ来るとき駅で地図をもらってきて。



- 2 行って、そこで何かをして、また帰ってくる。

The agent goes and does something and then returns.

去某地，在那里做某事之后再回来。

- ① えっ、もうお茶の時間ですか。じゃ、ちょっと手をあらってきます。
 ② もう12時ですね。じゃあ、わたしはお弁当を持っていないので、あそこの食堂で食べてきます。
 ③ あっ、コーヒーの豆がない。ちょっと待っていてください。すぐ近くの店で買ってきますから。



- 3 移動する手段・状態、移動のときに並行して行うことを表す。

This form indicates a means or state of movement or that the agent is doing some action during the movement.

表示移动的手段・状态、移动的同时所进行的其他行为。

- ① 時間がないから、タクシーに乗っていきましょう。
 ② 飛行機の中で眠って来ました。
 ③ あしたは、お弁当を持ってきてください。
 ④ 日曜日に弟を動物園へ連れて行きました。

4 移動の意味をもつ、対の動詞について、話す人への接近、離反を表す。

This construct (the contrasting verbs of movement+ていく、てくる) shows the proximity or estrangement toward or from the speaker.

具有移动的意思，接续相对应的动词，表示接近或远离说话人。

- ① 授業が終わって、学生たちが教室から出てきます。
- ② 授業が始まって、学生たちが教室に入っていきます。
- ③ 授業が始まって、学生たちが教室に入ってきます。
- ④ 授業が終わって、学生たちが教室から出ていきます。



ポイント

話す人の視点の位置によって「ていく・てくる」が変わる。話す人は①②では教室の外にいる。③④では教室の中にいる。移動の意味をもつ、対の動詞とは「入る・出る、上がる・下りる、のぼる・くだる、乗る・降りる」など。

The usage of ていく and てくる changes, depending on the speaker's point of view. In numbers ① and ②, the speaker is outside of the classroom. In numbers ③ and ④, the speaker is inside the classroom. The contrasting verbs of movement to which it is appended include: 入る・出る, 上がる・下りる, のぼる・くだる, 乗る・降りる, etc.

根据说话人视点位置的变化交替使用「ていく・てくる」。例句①②中，说话人在教室外；例句③④中，说话人在教室里。表示移动的意思，相对应的动词有「入る・出る、上がる・下りる、登る・くだる、乗る・降りる」等。

5 移動動詞や移動の意味をもつ動詞に方向性を与え、話す人や話題にしている人への接近、離反を表す。

This construct gives directionality to verbs of movement and to verbs that have the nuance of movement, and indicates proximity or alienation from the speaker or the person who is the topic of conversation.

向移动动词、具有移动意义的动词提示方向，表示接近和远离说话人或主语。

- ① ほら、マリがこちらの方^{ほう}へ走^{はし}ってきますよ。
- ② わたしが大きな声^{こゑ}を出したので、犬^{いぬ}はおどろいて逃^にげていきました。
- ③ 秋^{あき}になると、夏^{なつ}の鳥^{とり}は南^{みなみ}の国^{くに}へ飛^とんでいきます。
- ④ この川^{かわ}は富士山^{ふじさん}からこの町^{まち}へ流^{なが}れてくるのです。
- ⑤ 美しい女^{うつく}の人がとなりのへやに引^ひ越^こしてきました。
- ⑥ ジムが話しはじめると、みんながジムのところへ集^{あつ}まってきました。

ポイント

移動動詞^{いどうどうし}は「歩^{ある}く、走^{はし}る、通^{とお}る、飛^とぶ、流^{なが}れる」など。単^{たん}独^{どく}では方^{ほう}向^{こう}性^{せい}がないので方^{ほう}向^{こう}を示^{しめ}したい場合^{ばあい}には「Vていく・Vてくる」の形^{かたち}で使^{つか}う。

- ◆ { △マリは「さよなら」と言^いって、駅^{えき}の方^{ほう}へ歩^{ある}きました。
○マリは「さよなら」と言^いって、駅^{えき}の方^{ほう}へ歩^{ある}いていきました。

Verbs of movement include 歩^{ある}く、走^{はし}る、通^{とお}る、飛^とぶ、流^{なが}れる etc. By themselves, they do not show directionality. If the speaker wishes to indicate directionality, he or she must append the verbal suffixes V-ていく and V-てくる to the verb in question. →◆

移動動詞有「歩^{ある}く、走^{はし}る、通^{とお}る、飛^とぶ、流^{なが}れる」等。単^{たん}独^{どく}使用^し時^{とき}缺^{けつ}乏^{ぱく}方^{ほう}向^{こう}性^{せい}，因^い此^こ在^あ要^{よう}指^し示^し方^{ほう}向^{こう}時^{とき}使^{つか}用^{よう}「Vていく・Vてくる」这^こ一^{いつ}形^{かたち}式^{しき}。→◆

6 話^わす人^{だいに}や話^わ題^{だい}にしている人^{ひと}へのも^もの^{もの}ご^{ごと}の接^{せつ}近^{きん}を表^{あらわ}す。

This indicates proximity of something to the speaker or the person who is the topic of conversation.

表示事物向说话人或主语的接近。

- ① となりのへやからいつもいいにおいがしてきます。
- ② 小学校^{ちが}が近^{ちか}いのでいつも子どもたちの元^{げん}氣^きな声^{こゑ}が聞^{きこ}え^えてきます。

* 同^{どう}級^{きゅう}生^{せい}が手^て紙^{がみ}でひとみさんの結^{けつ}婚^{こん}を知^しら^らせ^せて^てき^きま^まし^した。

* 九^{きゅう}州^{しゅう}に^にい^いる妹^{いもうと}がみか^{みか}んを^を送^{おく}っ^てき^きま^まし^した。

* きょうもマリ^{マリ}の^のと^ところ^{ころ}に^にイ^イタ^タリ^リア^アか^から^ら電^{でん}話^わが^がか^かか^かっ^てき^きま^まし^した。

ポイント

この使い方に「Vていく」の形はない。①②は感覚の表現（においや声）に「Vてくる」がついたもの。

The pattern V-ていく is not used in conjunction with this usage. In numbers ① and ②, expressions of sensation (smells, voices) are appended with V-てくる.

这种用法没有「Vていく」的形式。①②是带「Vてくる」表示感觉(如:味道、声音)的句子。

7 変化の出現、開始を表す。

Indicates an appearance or a beginning of change.

表示变化的出现、开始

- ① あ、またおなかが痛くなってきた。
- ② あーあ、眠くなってきた。
- ③ 寒いと思ったら、ほら、雪が降ってきましたよ。

ポイント

話す人の意志とは関係なく、自然発生的に起こることに使う。心理的、感覚的現象の体感がある場合が多い。「Vていく」の形はない。

This form is used when something happens spontaneously, unrelated to the speaker's will. It is often used in cases when there are psychological or sensation phenomena. This construct does not take the pattern V-ていく.

用于表示与说话人的意志无关，自然而然地发生的事项。在心理上、感觉上的现象有实际感受。没有「Vていく」的形式。

8 変化を表す。

Expresses continuation of change.

表示变化。

→10課4. 「Vてきますなど」(p98)

9 時間的継続を表す。

Expresses continuation of time.

表示时间的继续

- ① 森さんは若いころからずっと、カメラの仕事をしてきました。
- ② 今まで都会で生活してきました。これからはいなかで生活します。
- ③ これからもこの仕事をつづけていくつもりです。
- ④ きょうまで1人でがんばってきました。これからはあなたといっしょになかよくやっていきましょう。

ポイント

「Vてきた」は過去から現在まで続いていること、「Vていく」は現在から未来へ続くことを表す。話す人の視点は現在、またある一定の時にある。「今まで、これから」などの言葉とともによく使う。

The pattern V-てきた expresses a continuation of some action from the past to the present, while the pattern V-ていく shows continuation from the present into the future. The speaker's point of view is the present or some defined point in time. It is often used with words like 今まで (up till now), これから (from now on), etc.

「Vてきた」表示从过去到现在持续的事项，
「Vていく」表示从现在到将来的持续的事项。
说话人的视点放在现在或者某个特定的时间。
经常与「今まで、これから」等词语一起使用。

索引 INDEX

あ

	課	級	頁
～間	1-8	③	21
～間に	1-8	③	21
Nをあげます	17-1	③	167
～後	1-4	④	17
～後で	1-4	④	17
Nをいただきます	17-2	③	168
お～	20-8	③	200
おVいたします (先生、おかばんをお持ちいたします)	20-6	③	199
おVください	7-4	③	71
おVください	20-4	③	197
おVします (先生、おかばんをお持ちします)	20-6	③	199
おVです	20-9	③	201
おVになります	20-2	③	195
Vおわります	13 II-3	③	126

か

	課	級	頁
～が (調べましたが、わかりません)	4 II-1	④	45
Nは～が、Nは	2-7	③	29
可能動詞 (ここは5時までつかえます)	6-2(1)	③	62
可能動詞 (漢字が読めます)	6-2(1)	③	62
可能動詞 (このナイフはよく切れます)	6-2(2)	③	65
可能の意味のある自動詞 (富士山がよく見えます)	6-3	③	65
～かもしれません	15-4	③	148
～から (あついから、まどを開けて)	4 I-1	④	40
Vてから (手をあらってから食べます)	1-5(1)	④	18
Vてから (日本に来てから3年たちました)	1-5(2)	③	18
～がります (けむりをいやがります)	5 I-3	③	52
イAくします	10-2	④	96
Nをください	7-1	④	70
Nをくださいます	17-3	③	170
Nをくださいません	7-3	④	71
イAくなります	10-1	④	96

Nをくれます 17-3 ③……170

謙譲を表す特別な動詞 (私が先生に申し上げます)

	20-5	③……197
ご～	20-8	③……200
Vたことがあります	3 II-1	③…… 36
Vることがあります	3 II-2	③…… 37
Vないことがあります	3 II-2	③…… 37
Vることができます	6-1	③…… 61
Vることにします	12 II-2	③……117
Vないことにします	12 II-2	③……117
Vることになります	12 II-3	③……118
Vないことになります	12 II-3	③……118

さ

	課	級	頁
Nをさしあげます	17-1	③	167
V (さ) せていただけますか	18-4	③	182
V (さ) せてください	7-5	③	72
V (さ) せてくださいますか	18-4	③	182
V (さ) せてくれますか	18-4	③	182
V (さ) せてもらえますか	18-4	③	182
V (さ) せます (子どもにへやをそうじさせます)	18-1	③	178
V (さ) せます (子どもに好きなものを食べさせます)	18-2	③	180
V (さ) せます (楽しい話をして友だちをわらわせます)	18-3	③	181
Vさ(せら)れます (課長におそくまで仕事をさせられました)	19-5	③	190
～し (安いし、おいしいから)	4 I-4	③	44
Nをしています (赤い顔をしています)	14 I-6	③	136

自動詞 (可能の意味のある) (富士山がよく見えます)

	6-3	③..... 65
トはつ 自発 (家族のことが思い出されます)	6-5	* ③..... 66
～にします	10-2	④..... 96
イAくします	10-2	④..... 96
Nがします (ねこの鳴き声がします)	14 I -5	③.....136
～すぎます	2-6	③..... 29
～そうです (おいしそうです)	14 I -3(1)	③.....133
Vそうです (ボタンが取れそうです)	14 I -3(2)	③.....134

～そうです (予報によると、雨が降るそうです)

11 I -2 ③……103

～そうです (早く帰れそうです)

14 I -3(3) ③……135

尊敬を表す特別な動詞 (先生がおっしゃいました)

20-1 ③……194

た

Vたいです

5 I -2 ④……51

Vたことがあります

3 II -1 ③……36

Vだします

13 II -4 ③……127

Vたほうがいいです

8 II -1 ③……82

Vるため (に) (勉強するために来ました)

5 II -2 ③……56

Nのため (に) (子どものための本)

5 II -5 ③……58

～ため (に) (大雪のため、電車がおくれました)

4 I -5 ③……44

～たら (安かったら、買います)

16-1 ③……155

Vたら (夏休みになったら、国へ帰ります)

16-4 ③……159

Vたら～た (ドアを開けたら、犬がいました)

16-7(1) ③……161

Vたら～た (タローと呼んだら、犬は走ってきました)

16-7(2) ③……162

Vたら～た (食事をしていたら、林さんが来ました)

16-7(3) ③……163

～たら～ (のに) (もしきっぷを忘れていたら、入れなかった)

16-9 ③……164

Vたらいいです

8 II -4 ③……84

～たらいいです (晴れたらいいですね) 5 I -4 ③……53

疑問詞+Vたらいいですか (何を買ったらいいですか)

8 II -3 ③……84

Vたらどうですか

8 II -2 ③……83

～たり～たりします (暑かったり寒かったりします)

3 I -2 ④……34

～たり～たりです (暑かったり寒かったりです)

3 I -2 ④……34

VたりVたりします (本を読んだりテレビを見たりします)

3 I -1(1) ④……33

VたりVたりします (出たり入ったりします)

3 I -1(2) ④……34

VたりVたりします (来たり来なかったりします)

3 I -2 ④……34

VたりVたりです (来たり来なかったりです)

3 I -2 ④……34

～だろう (あしたはたぶんいい天気だろう)

15-1(1) ④……144

～だろう (きみもあしたは休みだろう)

15-1(2) ④……145

～だろう (これ、見て。いい色だろう)

15-1(2) ④……145

～だろうと思います

15-2 ③……146

Vつづけます

13 II -2 ③……126

Vるつもりです

12 I -3 ③……113

Vないつもりです

12 I -3 ③……113

～て (暑くて、ねむれません)

4 I -2 ④……41

～で (心配で、ねむれません)

4 I -2 ④……41

Vてあげます

17-4 ③……171

Vてあります (ホテルを予約してあります)

14 I -2 ④……131

Vてあります (名前が書いてあります)

14 I -2 ④……131

Vていきます (風が強くなっていくでしょう)

10-4 ③……98

Vていただきます

17-5 ③……173

丁寧を表す特別な動詞 (田中でございます)

20-7 ③……200

Vています (時計が止まっています) 14 I -1 ④……130

Vておきます (ちょっと、ここにおいておきます)

13 I -3 ③……124

Vておきます (行く前に道をしらべておきます)

13 I -3 ③……124

Vないでおきます (朝食を食べないでおきます)

13 I -3 ③……124

Vないでおきます (母に言わないでおきます)

13 I -3 ③……124

Vてから (手をあらってから食べます) 1-5(1) ④……18

Vてから (日本に来てから3年たちました)

1-5(2) ③……18

Nができます

6-1 ③……61

Vることができます

6-1 ③……61

Vてきます (外国人がふえてきました) 10-4 ③……98

Vてください

7-2 ④……70

Vてくださいます	17-6	③……174	～と～（のに）（林さんも来られるとよかったのに）	16-9	③……164
Vてくださいませんか	7-3	④……71	NとNとどちら	2-3	③……27
Vてくれます	17-6	③……174	Vるといいです	8Ⅱ-4	③……84
Vてさしあげます	17-4	③……171	～といいです（晴れるといいですね）	5Ⅰ-4	③……53
Vてしまいます（きょうじゅうに全部読んでしまいます）	13Ⅰ-2(1)	③……122	「……」と（言います）（マリは「おはよう」と言いました）	11Ⅰ-3	③……104
Vてしまいます（忘れてしまいました）	13Ⅰ-2(2)	③……123	禁止形と（言います）（父は酒を飲むと言います）	11Ⅰ-5	③……105
～でしょう（あしたはいい天気でしょう）	15-1(1)	④……144	……と（言います）（マリはおはようと言いました）	11Ⅰ-3	③……104
～でしょう（これ、見て。いい色でしょう）	15-1(2)	④……145	命令形と（言います）（母は体を大切にしろと言います）	11Ⅰ-5	③……105
～でしょう（林さんもあしたは休みでしょう）	15-1(2)	④……145	NというN（キウイという鳥）	11Ⅰ-1	④……102
～てはいけません	9-2	③……90	～とき	1-1	④……14
～てはいけません	9-2	③……90	Vるところです	1-6	③……19
Vてほしいです	5Ⅰ-5	③……54	Vたところす	1-6	③……19
Vてみます	13Ⅰ-1	③……122	Vているところす	1-6	③……19
～でも（子どもでも使えます）	16-5	③……159	Vようとします	12Ⅰ-6	③……116
～ても（読んでも、わかりません）	16-5	③……159	な	課	級
～でもいいです（おそばでも何でもいいです）	9-1(2)	③……89		頁	
～でもいいです（せまくてもいいです）	9-1(2)	③……89	Vるな（書くな、食べるな）	7-7	③……74
Vてもいいです（飲んででもいいですか）	9-1(1)	③……88	Vないことがあります	3Ⅱ-2	③……37
～でもかまいません（おそばでも何でもかまいません）	9-1(2)	③……89	Vないことにします	12Ⅱ-2	③……117
Vてもかまいません（おふろに入ってもかまいません）	9-1(1)	③……88	Vないことになります	12Ⅱ-3	③……118
～てもかまいません（せまくてもかまいません）	9-1(2)	③……89	Vないつもりです	12Ⅰ-3	③……113
Vてもらいます	17-5	③……173	Vないでおきます（朝食を食べないでおきます）	13Ⅰ-3	③……124
Vてやります	17-4	③……171	Vないでおきます（母に言わないでおきます）	13Ⅰ-3	③……124
～と（春になると、花がさきます）	16-3	③……157	Vないでください	7-2	④……70
Vると（兄は上着を着ると、出て行きました）	16-8	③……163	Vないでほしいです	5Ⅰ-5	③……54
Vると～た（ドアを開けると、犬がいました）	16-7(1)	③……161	Vないほうがいいです	8Ⅱ-1	③……82
Vると～た（タローとよぶと、犬は走ってきました）	16-7(2)	③……162	Vないように（かぜをひかないように注意して）	5Ⅱ-4	③……57
Vると～た（食事をしていると、林さんが来ました）	16-7(3)	③……163	Vないようにします	12Ⅰ-5	③……115
			Nの中でNがいちばん	2-5	③……28
			Vながら	1-2	④……16
			～なくて（わからなくて、困ります）	4Ⅰ-2	④……41
			～なくてはいけません	9-3	③……91

～なくてはなりません	9-3	③……	91
～なくてもいいです (あしたは来なくてもいいです)	9-4(1)	③……	92
～なくてもいいです (広くなくてもいいです)	9-4(2)	③……	92
～なくてもかまいません (きょう決めなくてもかまいません)	9-4(1)	③……	92
～なくてもかまいません (広くなくてもかまいません)	9-4(2)	③……	92
V なくなります	10-3	③……	97
～なければいけません	9-3	③……	91
～なければなりません	9-3	③……	91
V なさい	7-8	③……	74
～なら (ビデオを買うなら、秋葉原がいいですよ)	16-6	③……	160
～なら (ば) (もしひまなら、映画を見に行きませんか)	16-2	③……	156
～なら (ば) (いいところなら、行きたいです)	16-2	③……	156
～になります	10-1	④……	96
イA くなります	10-1	④……	96
V なくなります	10-3	③……	97
V るようになります	10-3	③……	97
V に (行きます) (くつを買いに行きます)	5Ⅱ-1	④……	55
V にくいです	6-4	③……	66
～にします	10-2	④……	96
N にします	12Ⅱ-1	③……	117
V るようにします	12Ⅰ-5	③……	115
V ることにします	12Ⅱ-2	③……	117
～になります	10-1	④……	96
N になります	12Ⅱ-1	③……	117
V ることになります	12Ⅱ-3	③……	118
～ので (元気なので、安心しました)	4Ⅰ-3	③……	42
～のです (あたまりたいのです)	11Ⅱ-1	③……	106
N の中でN がいちばん	2-5	③……	28
～のに (冬の山は危険なのに)	4Ⅱ-2	③……	46
V るのに (切るのに使います)	5Ⅱ-3	③……	57
～のは～です	11Ⅱ-2	③……	107

は

課	級	頁
～ば (天气がよければ、行きます)	16-2	③……156
～ば～ (のに) (ああ、もっと勉強すればよかった)	16-9	③……164
N は～が、N は	2-7	③……29
N はN が (マリは目がきれいです)	14Ⅰ-4	③……135
V ばいいです	8Ⅱ-4	③……84
～ばいいです (晴ればいいですね)	5Ⅰ-4	③……53
疑問詞+V ばいいですか (どこで降りればいいですか)	8Ⅱ-3	③……84
V たばかりです	1-7	③……20
V はじめます	13Ⅱ-1	③……125
～はずがありません	15-7	③……151
～はずです (4時に着くはずですよ)	15-5(1)	③……149
～はずです (寒いはずですよ。0度ですから)	15-5(2)	③……150
N よりN のほうが	2-2	③……26
V たほうがいいです	8Ⅱ-1	③……82
V ないほうがいいです	8Ⅱ-1	③……82
N がほしいです	5Ⅰ-1	④……50
V てほしいです	5Ⅰ-5	③……54
V ないでほしいです	5Ⅰ-5	③……54
N はN ほど～ません	2-4	③……27

ま

課	級	頁
～前に	1-3	④……17
V ましょう (お茶を飲みましょう)	8Ⅰ-1	④……79
V ましょうか (コーヒーを飲みましょうか)	8Ⅰ-4	③……80
V ましょうか (てつだいましょうか)	8Ⅰ-5	③……81
V ませんか (いっしょに行きませんか)	8Ⅰ-2	④……79
V ませんか (うちへ来ませんか)	8Ⅰ-3	④……80
～まま	14Ⅰ-7	③……137
命令形 (止まれ、食べろ)	7-6	③……73
N も～し、N も	3Ⅰ-3	④……35
N をもらいます	17-2	③……168

や

課	級	頁
V やすいです	6-4	③……66

Nをやります	17-1	③……167
Vよう (さあ、いっしょに行こう)	8 I -1	④…… 79
Vよう	12 I -1	③……112
～ようです (この薬を飲むと眠くなるようです)	15-6	③……150
～ようです (そろそろお時間のようです)	15-6	③……150
Nのようです (あのビルは船のようです)	14 II -1	③……139
Vよう ^{おも} と思います	12 I -2	③……112
Vようとします (お風呂に入ろうとしたとき)	12 I -4	③……115
Vようとしません	12 I -6	③……116
NのようなN (京都のような町)	14 II -3	③……140
Vるように (わかるように話して)	5 II -4	③…… 57
Nのように (京都のように古い)	14 II -3	③……140
Vないように (かぜをひかないように注意して)	5 II -4	③…… 57
Vるようにします	12 I -5	③……115
Vないようにします	12 I -5	③……115
～ように (と) (言います)	11 I -4	③……105
Vようになります	10-3	③…… 97
NはNより	2-1	③…… 25
NよりNのほうが	2-2	③…… 26

ん

～んです (あたまでいたいんです)

課	級	頁
11 II -1	③	……106

ら

課	級	頁
Nらしいです (夏らしい一日)	14 II -2	③……139
～らしいです (じこがあったらしいです)	15-3	③……147
V (ら) れます (母にしかられました)	19-1	③……185
V (ら) れます (人に足をふまれた)	19-2	③……187
V (ら) れます (子どもに泣かれて、眠れませんでした)	19-3	③……188
V (ら) れます (4月に入学式が行われます)	19-4	③……189
V (ら) れます (会長は8日に帰られます)	20-3	③……196
Vることがあります	3 II -2	③…… 37

練習問題の解答 ANSWERS

- 1** I ①間 ②ながら ③ばかり ④ところ ⑤から ⑥前に ⑦後で
II ⑧行く ⑨行った ⑩なった ⑪歌い ⑫食べる ⑬飲んだ ⑭あらって ⑮出かける ⑯出た
⑰した ⑱している
- 2** ①と ②と ③ほど ④より ⑤は ⑥は ⑦は ⑧より ⑨より ⑩どちら ⑪どちら
⑫のほうが ⑬いちばん ⑭のほうが
- 3** I ①ついたり ②消えたり ③よかった ④聞いた ⑤いない ⑥出かける
II ⑦泳いだり ⑧のぼったり ⑨したし ⑩食べられるし ⑪飲んだり ⑫飲まなかったり
- 4** I ①なくて ②ないで ③ないで ④なくて ⑤なくて
II ⑥あったので ⑦事故で ⑧夏休みなのに ⑨できないから/できませんから ⑩あるのに
⑪暑いし
- 5** I ①買い ②来る ③のぼり ④ほし ⑤はかる ⑥聞こえない ⑦勉強する ⑧買った
II ⑨会いたい ⑩会いたがって ⑪間に合うように ⑫おくれないうように ⑬行くのに
⑭乗るために
- 6** I ①乗れ ②書け ③読め ④飲め ⑤買え ⑥入れ ⑦帰れ ⑧飛べ ⑨食べられ ⑩吸え
II ⑪売れます ⑫わかりました ⑬見えません ⑭聞こえました ⑮見られます ⑯動きません
⑰書けます ⑱つれます ⑲入りません ⑳やすい ㉑にくい
- 7** I ①持ってきて ②吸わないで ③出し ④払い ⑤消して ⑥切らないで ⑦泳ぐ ⑧書き
⑨休ませて ⑩押して
II ⑪作ってください ⑫お待ちください ⑬入れないでください ⑭わたるな ⑮わたりなさい
- 8** I ①行きませんか ②行きましょうか ③聞きましょうか ④聞いたらどうですか
II ⑤来ませんか ⑥いきましょうか ⑦止めないほうがいいですよ ⑧止めたらいいですか
⑨止めたらどうですか
- 9** I ①送って ②捨てて ③来なくて ④書かなくて ⑤短くて ⑥英語で
II ⑦毎日でもなくてもいいです ⑧取らなければなりません ⑨取らなくてもいいですか
⑩見てはいけません
- 10** I ①大きく ②ひまに ③悪く ④乗れる ⑤しなく ⑥古く ⑦カーテンに ⑧あまく
⑨なって
II ⑩なりました ⑪ようになりました ⑫きました ⑬いくでしょう ⑭きました
⑮ようになりました ⑯なりました ⑰いくでしょう
- 11** I ①で ②だ ③と ④の/ん ⑤の/ん ⑥は ⑦の/ん ⑧の ⑨と ⑩の
II ⑪わたし/ぼく ⑫いる ⑬母 ⑭来る ⑮いけない ⑯たいせつにする
- 12** I ①する ②止めよう ③通う
II ④つもりです ⑤と思っています ⑥しました ⑦なりました ⑧つもりだ
⑨ことになりました ⑩しました ⑪ことにしましょう
- 13** I ①読んで ②読み ③はいて ④食べ ⑤そうじて ⑥話し ⑦話し ⑧泣き ⑨閉めないで
II ⑩はじめて ⑪おわりました ⑫つづけて ⑬しまいました ⑭み ⑮おきました
⑯しまいました
- 14** I ①つまらな ②いや ③よさ ④食べた ⑤むずかしくなさ ⑥止み ⑦歌手の ⑧夏
⑨かけた ⑩はだかの
II ⑪買ってあります ⑫かざってあります ⑬においがします ⑭形をしています

⑮開いています ⑯開けてあります

15

I ①なった ②かわいい ③好きではない ④入院した ⑤社長 ⑥おくれる ⑦落とした
⑧帰った ⑨18歳の ⑩入っている

II ⑪じょうずでしょう ⑫治るだろう ⑬休みのはずです ⑭あったらしいです ⑮寒いだろう
⑯あるはずです/あるはずだ ⑰続くでしょう ⑱降ったらしいです

16

I ①取れ ②話せ ③あって ④しずかでなけれ ⑤買う ⑥飲む

II ⑦行くなら ⑧まわすと ⑨降っても ⑩なったら ⑪よければ ⑫つけでも

17

I ①もらいました ②くれました ③あげました ④もらいました ⑤くれました ⑥あげました
⑦あげました

II ⑧森さんはわたしにかさを貸してくれました。 ⑨川田さんはまゆみさんを車で送ってあげまし
た。 ⑩わたしは母に洋服を買ってもらいました。 ⑪大川先生はわたしの作文をなおしてくださ
いました。 ⑫わたしはマリさんの荷物を持ってあげました。

18

⑬先生は学生に作文を書かせました。 ⑭先生は子どもたちを並ばせました。 ⑮お父さんは子ども
に自分の荷物を持たせました。 ⑯社長は社員を日曜日も働かせました。 ⑰先生は学生にテープレ
コーダーを使わせました。 ⑱両親は子どもを(に)友だちとスキーに行かせました。 ⑲社長は社
員に会議室でたばこを吸わせませんでした。 ⑳タムさんはおもしろい話をしてみんなをわらわせま
した。 ㉑マリさんはうそをついて友だちをおこらせました。 ㉒社員は急に会社をやめて社長を困
らせました。

19

I ①愛され ②すわれ ③来られ ④持っていかれ ⑤開かれ ⑥紹介され ⑦閉められ
⑧わられ ⑨ぬすまれ ⑩しかられ ⑪降られ ⑫泣かれ

II ⑬行かされ/行かせられ ⑭作られ/作らせられ ⑮待たされ/待たせられ ⑯させられ
⑰聞かされ/聞かせられ ⑱書かされる/書かせられる ⑲覚えさせられる

20

①お読みになり ②お着きになり ③いらっしゃい ④お会いになり ⑤お帰りになり ⑥おっしゃ
い ⑦お持ちし/お持ちいたし ⑧召し上がり ⑨お取りし/お取りいたし ⑩いらっしゃい ⑪おり
⑫まいり ⑬7階でござい ⑭お降り

参考文献 REFERENCES

教科書

- ・東京外国語大学留学生日本語教育センター編 (1998)『初級日本語』凡人社
- ・東京外国語大学留学生日本語教育センター編 (1998)『中級日本語』凡人社
- ・東京外国語大学留学生日本語教育センター編 (1998)『進学する人のための日本語初級』国際学友会
- ・国際学友会日本語学校編 (1997)『進学する人のための日本語初級 教師用指導書』国際学友会
- ・国際学友会日本語学校編 (1985)『日本語Ⅱ』国際学友会
- ・海外技術者研修協会編 (1993)『しんにほんごのきそ』ⅠⅡ スリーエーネットワーク
- ・文化外国語専門学校日本語科著・編 (1987)『文化初級日本語』ⅠⅡ 文化外国語専門学校
- ・文化外国語専門学校日本語科著・編 (1990)『文化初級日本語 教師用指導手引書』ⅠⅡ 文化外国語専門学校
- ・筑波ランゲージグループ (1992)『SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE』ⅠⅡ 凡人社
- ・岡野喜美子ほか著 早稲田大学国際教科書センター編 (1994)『TOTAL JAPANESE』CONVERSATION1・2, GRAMMAR AND CONVERSATION NOTES
- ・アメリカカナダ十一大学連合日本研究センター (1971)『INTEGRATED SPOKEN JAPANESE I』VOLUME ONE,TWO
- ・対外日本語教育振興会編 (1980)『Intensive Course in Japanese』Elementary Course (株)ランゲージサービス
- ・筑波大学日本語教育研究会編 (1983)『日本語表現文型・中級』Ⅰ・Ⅱ 株式会社イセブ

資料

- ・国際交流基金・日本国際教育協会、編集・著作 (1994)『日本語能力試験出題基準』凡人社

書籍

- ・河原崎幹夫監修 (1995)『辞書でひけない日本語文中表現』北星堂書店
- ・菊池康人 (1997)『敬語』(講談社学術文庫1268) 講談社
- ・北川千里・井口厚夫 (1988)『助動詞』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
- ・北条淳子 (1989)『複文文型』『談話の研究と教育Ⅱ』国立国語研究所
- ・金田一春彦編 (1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
- ・工藤真由美 (1997)『アスペクト・テンス体系とテキスト』ひつじ書房
- ・倉八順子 (1999)『日本語の表現技術』読解と作文 初中級 古今書院
- ・阪田雪子・倉持保男 (1975)『教師用日本語教育ハンドブック文法Ⅱ』国際交流基金
- ・国立国語研究所 (1987)『現代の助詞・助動詞』秀英出版
- ・柴田武他編 (1982)『ことばの意味 辞書に書いてないこと』(1・2・3) 平凡社
- ・張威 (1998)『結果可能表現の研究』(日本語研究叢書10) くろしお出版
- ・寺村秀夫 (1978)『日本語の文法』(上) 国立国語研究所
- ・寺村秀夫 (1980)『日本語の文法』(下) 国立国語研究所
- ・寺村秀夫 (1984)『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』くろしお出版
- ・寺村秀夫編 (1988)『ケーススタディ日本文法』桜楓社
- ・富田隆行 (1991)『基礎表現50とその教え方』凡人社
- ・富田隆行 (1991)『文法の基礎知識とその教え方』凡人社
- ・富田隆行 (1993)『教授法マニュアル70例』上・下 凡人社
- ・富田隆行 (1997)『続・基礎表現50とその教え方』凡人社
- ・東京YMCA日本語学校編 (1992)『入門日本語教授法』創拓社
- ・生田目弥寿編・著 (1995)『現代日本語表現文典』凡人社
- ・仁田義雄・益岡隆志 (1989)『日本語のモダリティ』くろしお出版
- ・仁田義雄 (1991)『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房
- ・仁田義雄編 (1995)『複文の研究』(上・下) くろしお出版
- ・姫野昌子 (1999)『複合動詞』ひつじ書房
- ・野田尚史 (1991)『はじめての日本語文法』くろしお出版
- ・丸山敬介 (1994)『教えるためのことばの整理』1・2 京都日本語教育センター
- ・益岡隆志・田窪行則 (1989)『基礎日本語文法』くろしお出版
- ・益岡隆志 (1991)『モダリティの文法』くろしお出版
- ・益岡隆志編 (1993)『日本語の条件表現』くろしお出版
- ・益岡隆志・野田尚史・沼田善子編 (1995)『日本語の主題と取り立て』くろしお出版
- ・町田健 (1989) N A F L 選書『日本語の時制とアスペクト』アルク
- ・宮島達夫・仁田義雄編 (1995)『日本語類義表現の文法』上・下 くろしお出版
- ・明治書院企画編集部編 (1997)『日本語誤用分析』明治書院
- ・明治書院企画編集部編 (1997)『続日本語誤用分析』明治書院
- ・森田良行 (1983)『日本語の表現』創林社
- ・森田良行 (1984)『日本語の発想』冬樹社
- ・森田良行 (1989)『基礎日本語辞典』角川書店
- ・森田良行 (1985)『誤用文の分析と研究』明治書院
- ・森田良行 (1995)『日本語の視点』創拓社
- ・吉川武時 (1989) N A F L 選書『日本語文法入門』アルク

辞典

- ・日本語教育学会編 (1987)『日本語教育事典』大修館書店
- ・市川保子 (1997)『日本語誤用例文小辞典』凡人社
- ・砂川有里子ほか (1998)『日本語文型辞典』くろしお出版
- ・牧野成一・筒井通雄 (1986)『A DICTIONARY OF BASIC JAPANESE GRAMMAR』The Japan Times
- ・牧野成一・筒井通雄 (1995)『A DICTIONARY OF INTERMEDIATE JAPANESE GRAMMAR』The Japan Times

著者

●友松悦子 (ともまつ・えつこ)

拓殖大学留学生別科非常勤講師。『日本語テスト問題集－文法編』(凡人社 共著)、『どんな時どう使う日本語表現文型500』(アルク 共著)、『どんな時どう使う日本語表現文型500短文完成練習帳』(アルク 共著)、『ひらけ日本語』(凡人社 共著)、『チャレンジ日本語〈読解〉』(国書刊行会 共著)、『初級日本語文法総まとめポイント20』(スリーエーネットワーク 共著) など。

●宮本 淳 (みやもと・じゅん)

(学)大原学園大原日本語学院教務主任。『日本語テスト問題集－文法編』(凡人者 共著)、『どんな時どう使う日本語表現文型500』(アルク 共著)、『どんな時どう使う日本語表現文型500短文完成練習帳』(アルク 共著)、『チャレンジ日本語〈読解〉』(国書刊行会 共著) など。

●和栗雅子 (わくり・まさこ)

『初級日本語問題集 語彙・文法－20のテーマ』(凡人社 共著)、『日本語テスト問題集－文法編』(凡人社 共著)、『どんな時どう使う日本語表現文型500』(アルク 共著)、『どんな時どう使う日本語表現文型500短文完成練習帳』(アルク 共著)、『日本語の教え方ABC』(アルク 共著)、『チャレンジ日本語〈読解〉』(国書刊行会 共著)、『実力日本語(上)練習帳』(東京外国語大学留学生センター編著 共著)、『読むトレーニング 基礎編 日本留学試験対応』(スリーエーネットワーク 共著)、『初級日本語文法総まとめポイント20』(スリーエーネットワーク 共著) など。

どんなときどう使う 日本語表現文型200

200 Essential Japanese Expressions:
A Guide to Correct Usage of Key Sentence Patterns

2000年2月20日初版発行 2008年11月1日13刷発行

著者 友松悦子 宮本 淳 和栗雅子
発行者 平本照麿
発行所 株式会社 アルク
〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12
電話 03-3323-5514 (日本語書籍編集部)
03-3327-1101 (カスタマーサービス部)

編集協力 水光社
印刷所 萩原印刷株式会社
翻訳 Jenine Heaton 鄒 彦紅
校正 安田 緑 Julie Levin 沈 成英
イラスト 工藤 勝
装丁・デザイン 鈴木洋子



© 2000 Etsuko Tomomatsu, Jun Miyamoto, Masako Wakuri

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り換えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

PC : 7000191

ISBN : 978-4-7574-0174-7

日本語を教えたいたあなたに贈る応援マガジン

月刊

日本語

アルク
www.alc.co.jp

定価740円(税込)
毎月9日発売

日本語教育の情報誌『月刊日本語』は、旬の日本語教育事情や日本語教育能力検定試験対策など、日本語教師という仕事を真剣に考えている人に役立つ記事が満載です。

たとえば、こんな記事が盛りだくさん

- 日本語教育の旬の話題を毎月特集!
- 「日本語教育能力検定試験」対策
- マンガで知る異文化ギャップ
- 留学生が日本文化を体験!
- 日本語教育機関見学記

※連載は予告なく終了することがあります。



便利でお得な年間購読をおすすめします

- 毎月発売日ごろに確実にお届け。日本国内なら送料無料です。
- クラブアルク会員に無料で登録され、情報誌『マガジンアルク』を購読期間中無料でお届けします。
- アルクの出版物・通信講座を割引価格で購入できます。(一部商品は除きます。)
- 会員専用ウェブサイト「My ALC」が利用できます。

※上記の特典は、小社に直接お申し込みいただいた場合にのみ有効です。

購読期間：12カ月(毎月1冊、12冊配本)

購読料：8,862円

(本体8,440円+税)

お支払い方法：

クレジットカード(一括払いのみ)

コンビニ・郵便払込(一括払い、手数料無料)

お申し込みは通話料無料のフリーダイヤルで

0120-120-800

(24時間受付)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

オンラインショップでもお申し込みいただけます。

http://shop.alc.co.jp/

NAFL 日本語教師養成プログラム

抜群の検定試験合格率！

世界のどこにいても、 活躍できる仕事『日本語教師』



海外の日本語学習者は、133カ国、
298万人（※）と予想以上の多さ。

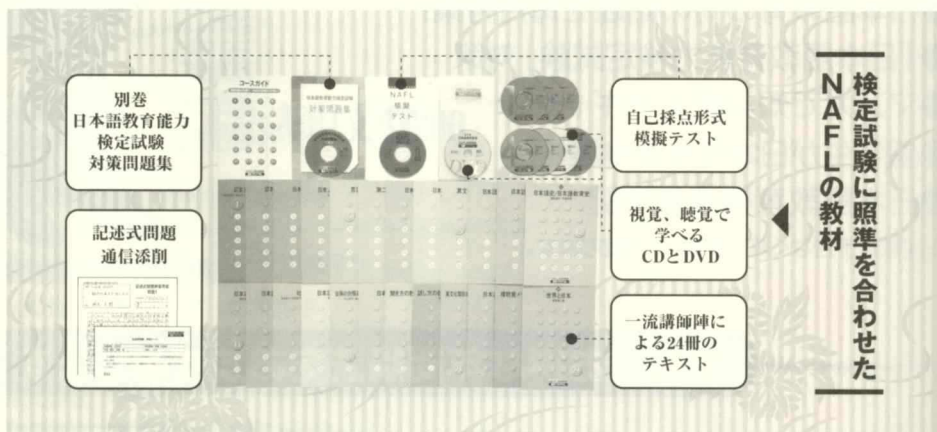
「日本語教師」は、日本国内ではもちろんのこと、世界中でニーズの高い仕事です。日本語教師になれば、世界各国の人と“日本語”での国際交流が可能。日本語や日本の文化を教える国際的でやりがいのある仕事です。

※2006年 国際交流基金調べ

日本語教師になるためには・・・

日本語教師になるための登竜門と言われているのが、年に一回、実施されている「日本語教育能力検定試験」。合格率が20%前後という難関試験ですが、数多くの日本語学校が、教師を採用する上で、この検定試験合格を採用基準としています。NAFLは「日本語教育能力検定試験」にピッタリと照準を当てた通信講座。これまでに7万人以上が受講し、数多くの修了生が、日本語教師として国内や海外で活躍しています。

日本語教育能力検定試験に関する情報は ≫ <http://www.jees.or.jp/jtct/index.htm>



別巻
日本語教育能力
検定試験
対策問題集

**記述式問題
通信添削**

**自己採点形式
模擬テスト**

**視覚、聴覚で
学べる
CDとDVD**

**一流講師陣による24冊の
テキスト**

**検定試験に照準を合わせた
NAFLの教材**

受講者の声

NAFLで検定合格！
韓国の高校で日本語を
教えています！



渡邊利香さん

ソウルの南、華城市にある高校に勤務しています。就職活動では、履歴書に「日本語教育能力検定試験 合格」と書けるようになってからは、面接に来てくださるとの連絡が増えました。その結果、自分の希望に合った職場に出会うことができました。笑顔で生徒が話しかけてくれたり、「先生ありがとう」と言われた時など、「ああ、日本語教師になってよかったな」と思います。

受講料 98,700円（税込）

標準学習期間 12カ月（短期修了も可能）

教材構成 コースガイド/テキスト24冊/別巻テキスト1冊（CD付き）/CD7枚/DVD1枚/NAFL模擬テスト1回（自己採点形式。CD、解答と解説付き）/『月刊日本語』12冊（毎月1冊）/実力診断テスト24回/記述式問題の添削指導2回/修了証（修了時）
※お申し込み受付後、3営業日以内に、教材を一括で発送センターより出荷いたします。

※『月刊日本語』のみ毎月のお届けとなります。

お支払い方法 クレジットカード（一括払い・分割払い）

代金引換（代引手数料630円、一括払いのみ）

コンビニ・郵便払込（手数料無料、一括払いのみ）

※クレジットカード払い（一括・分割）をご希望の方は、右記インターネット、またはフリーダイヤル0120-120-800（24時間受付）にて承ります。

**お申し込み、資料（無料）のご請求は
今すぐ下記の方法で！**

■通話料無料のフリーダイヤル（24時間受付）

0120-120-800

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■アルク・オンラインショップ

<http://shop.alc.co.jp>

※ご提供いただく個人情報は、資料の発送および小社からの商品情報をお送りするために利用し、その目的以外での使用はいたしません。

ISBN978-4-7574-0174-7
C0081 ¥2300E



9784757401747

定価 本体2,300円＋税



1920081023004

日露青年交流センター
**Японо-Российский центр
молодёжных обменов**